はじめに

このたびは、《BJ-W7000》をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
この取扱説明書は本製品の機能と操作方法、および使用上の注意について記載しております。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後もいつでも使用できるように大切に保管してください。

この取扱説明書の中で⚠と表記されている事項は安全にご使用いただくための注意です。
取扱説明書の指示を必ずお守りください。

おことわり

- 本書に記載されている仕様は、予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を許可なく複製することは、禁止されています。
- 本書で記載されている内容以外の操作を行った結果についての損傷は、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社提供のソフトウェアまたは本書の欠陥の結果発生する必然的な損傷について、一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りまたは記載もれなどお気付きのことがありましたら、お買い求めになった販売店にご連絡ください。

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

目 次

第4章　基本的なプリントのしかた

第5章　メニューとパラメータの詳細

第6章　用紙の選択と取り扱い

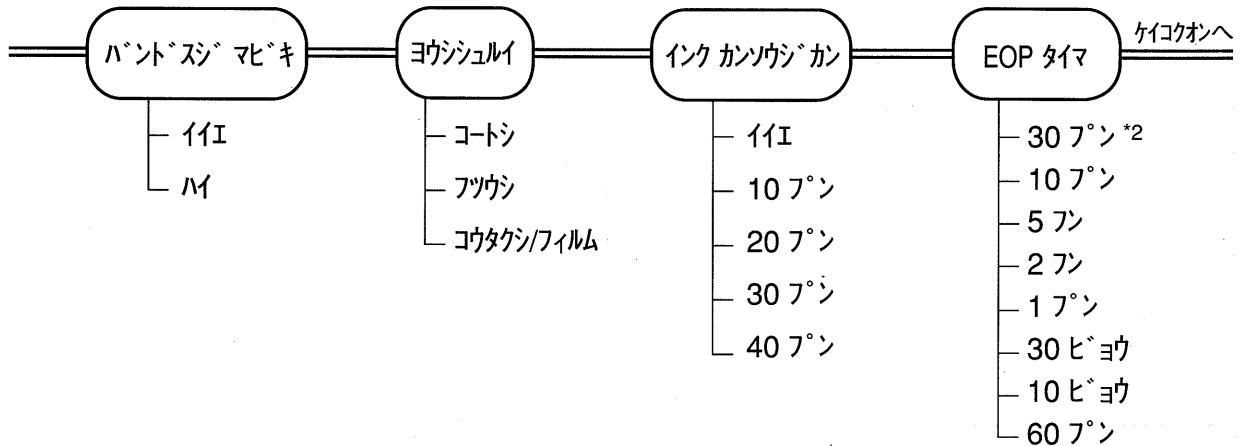
第7章 用紙のセット

第8章 困ったときは

第9章　保守と点検

付　録

メニューガイド

本プリンタのメニュー項目の流れは、次のようになっています。
各メニューの詳細は「第5章メニューとパラメータの詳細」をご覧ください。

*1 ： ｲﾝｼﾞｼｭｳﾊｽｳ（印字周波数）は、通常10.0kHzで使用します。

*2 ： EOP ﾀｲﾏｰ（データ終了タイマー）は、通常30 ﾌﾟﾝ（30分）で使用します。

取扱説明書の使いかた

この取扱説明書の各ページの操作説明は、次のような構成になっています。

操作説明
番号順に操作を説明しています。

機能名（タイトル）

参照ページ
関連する説明のあるページを示しています。

BJカートリッジ／インクタンクの交換

プリントの画像が全体的にかすれていたり、特定の色だけが出なくなったりした場合は、新しいカートリッジ／インクタンクに交換します。

ご注意 ●プリントの品質はカートリッジの状態に大きく左右されます。カートリッジを取り付ける際は、開封したまま放置したり、ヘッド表面や電極部分に触れたりしないよう注意してください。（→カートリッジ／インクタンクの取り扱い上の注意：P.3-3）

BJカートリッジ／インクタンクの選択と取り付け

■カートリッジ／インクタンクの交換のしかた

カートリッジ／インクタンクを次の手順で交換します。ここでは、シアンのカートリッジ／インクタンクを交換する場合を例に説明します。
手にインクが付かないように、付属の手袋をはめて交換を行ってください。

1 メッセージディスプレイに"オフライン"が表示されていることを確認します。
表示されていない場合は、オンラインキーを押すと表示させることができます。

ご注意 ●インク残量表示が小文字の状態でプリントしていても、画像の濃度やサイズによっては途中でインク切れになることがあります。
インク切れになった後も、プリント動作を続け、プリント後「ー（換線）」表示になります。
（→メッセージ一覧と対処方法：P.8-3）

ダストカバーが開いていると、キャリッジは移動しません。また、キャリッジが移動中にダストカバーを開けると、メッセージディスプレイに"カバー ガ アイテイマス"と表示されます。すぐにダストカバーを閉めてください。

2 右または左矢印キーを押して、キャリッジをプラテン上に移動させます。

3 キャリッジが停止すると、メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

[ヘッド　ト　ボトル　／　カ

3-4

3-5

注意事項
操作上の注意事項や禁止事項などが書かれています。

メッセージ
プリンタのメッセージディスプレイに表示されるメッセージを確認できます。長いメッセージについては［　］で示しています。

補足説明（参考）
操作の補足説明や参考事項などが書かれています。

この取扱説明書内のマークについて

警告　取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意　取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

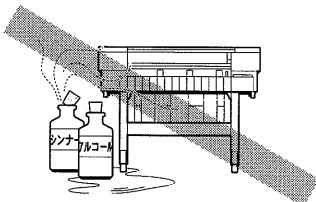
操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項、また操作上の重要事項や禁止事項などが書かれています。機械の故障や損傷を防いだり、誤った操作をしないために必ずお読みください。

操作の参考となることや補足事項が書かれています。
お読みになることをおすすめします。

第 1 章

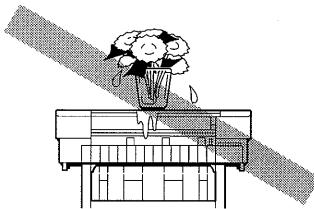
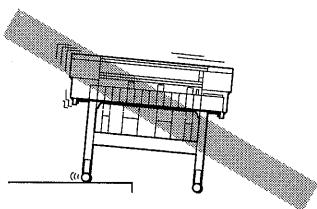
ご使用の前に

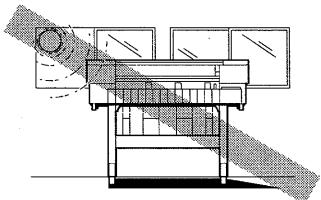
この章では、本プリンタの各部の名称と機能や取り扱い上の注意、電源の入れかた／切りかた、プリンタの状態など、ご使用前に理解していただきたい事項について説明します。

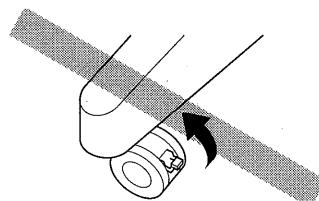
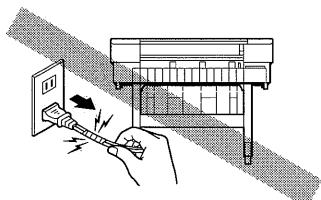
⚠安全にお使いいただくために

本プリンタを安全にお使いいただくために、下記の項目を必ずお守りください。

■設置について

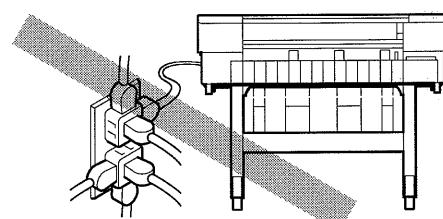
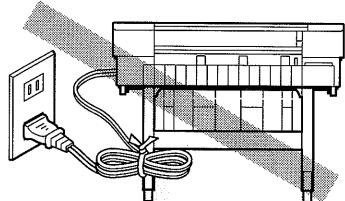
⚠警告

● **アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。**
引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

● **機械の上に次のような物を置かないでください。**
これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
・ネックレスなどの金属物
・コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器
万一、これらが機械内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

⚠注意

● **傾いた所など不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。**
倒れたりして、けがの原因になることがあります。

● **機械の上に重い物をのせないでください。**
置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。

● **機械を次のような場所に設置しないでください。**
火災や感電の原因になることがあります。
・湿気やほこりの多い場所
・直射日光のあたる場所
・高温の場所
・火気に近い場所
・水気のある場所

● **設置したあとは、本体固定用のストッパを外さないでご使用ください。**
機械が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

■電源について

⚠警告

● **電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、電源コードをひっぱったり、無理に曲げたりしないでください。**
傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

● **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
感電の原因になります。

● **タコ足配線は行わないでください。**
火災や感電の原因になります。

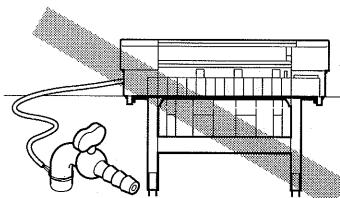
● **電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。**

火災や感電の原因になります。

● **電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。**

しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。

● **同梱されている電源コード以外は使用しないでください。**

火災や感電の原因になります。

● **アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。**

[アース線を接続してよいもの]

・コンセントのアース端子

・接地工事（第1種～第3種）が行われているアース端子

・銅棒を65cm以上地中に埋めたもの

[アース線を接続してはいけないもの]

・水道管

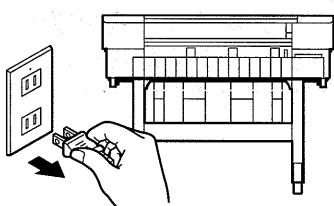
配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。

ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

・ガス管

ガス爆発や火災の原因になります。

・電話線のアースや避雷針

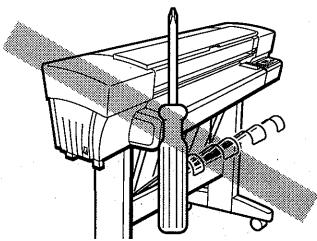
落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

⚠注意

● **AC100V以外の電源・電圧を使用しないでください。**
火災や感電の原因になることがあります。

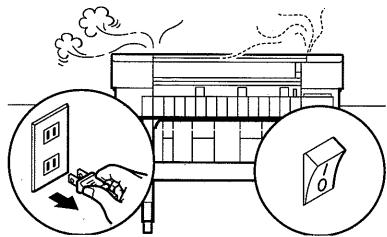
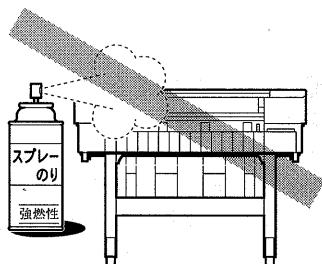
● **電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。**
電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。

● **原則的に延長コードは使用しないでください。**
火災や感電の原因になることがあります。（やむを得ず延長コードを使用する場合は、100V15A以上のものを使用してください。）また、使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。

● **いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグのまわりには物を置かないでください。**
非常時に電源プラグが抜けなくなります。

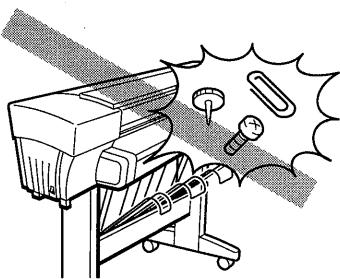
● **アース線を接続してください。**
アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

■取り扱いについて

⚠警告

● **機械を分解したり、改造したりしないでください。**

内部には高温の部分があり、火災の原因になります。
また、感電の原因にもなります。

● **異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜きお買い求めの販売店、または担当サービスにご連絡ください。**

そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

● **機械の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。**

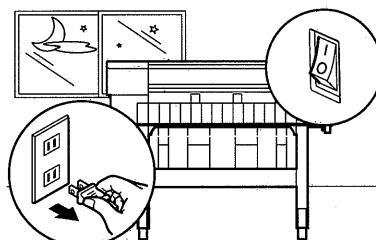
スプレーのガスが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

● **機械を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。**

電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

● **機械内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。**

これらが機械内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

これらが機械内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

● **取り外したチューブ接続針をそのまま放置しないでください。**

接続針に付いているインクで機械内部が汚れ、手にインクが付くことがあります。

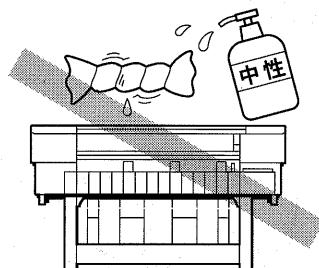
● **プリント中は機械の中に手を入れないでください。**

内部で機械が駆動しているため、けがの原因になることがあります。

● **夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切ってください。**

また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

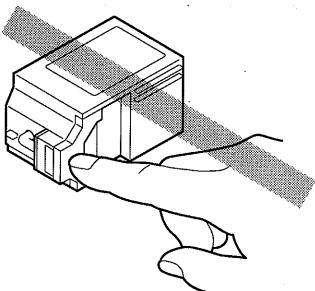
■保守・点検について

⚠警告

● **清掃のときは、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。**
火災や感電の原因になります。また、清掃中に機械が動くとけがの原因となります。

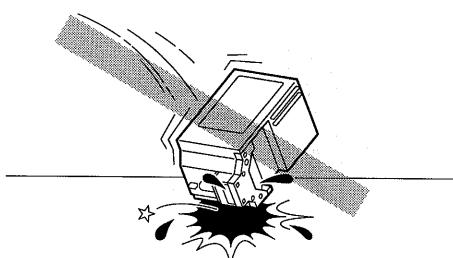
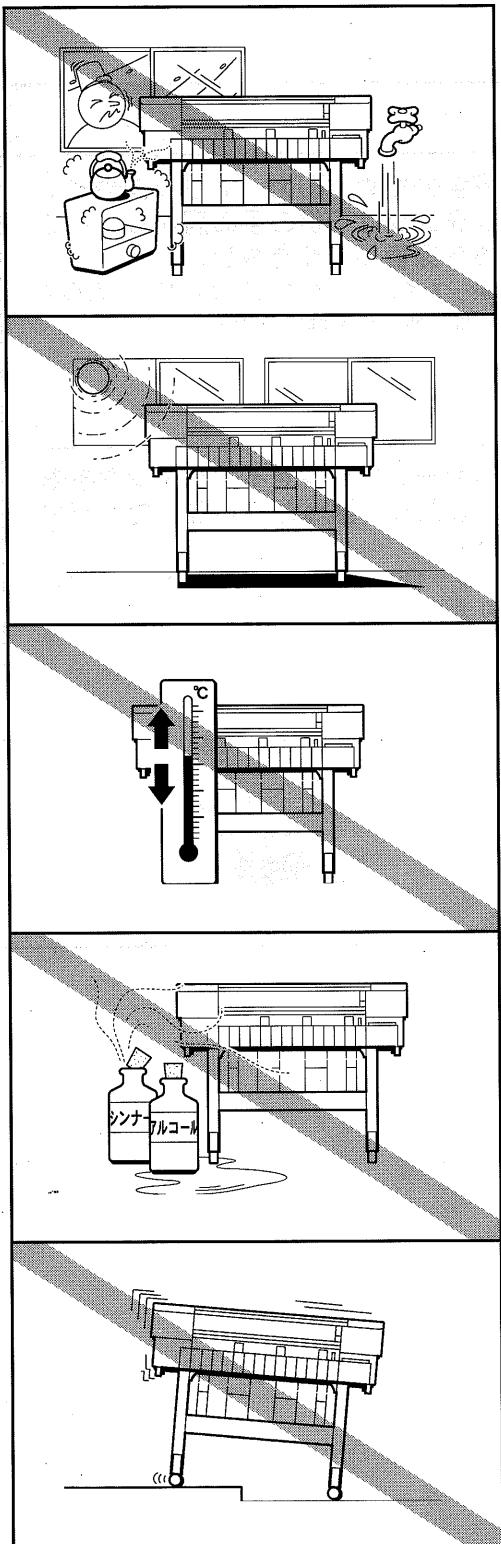
● **清掃のときは、中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。**
引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

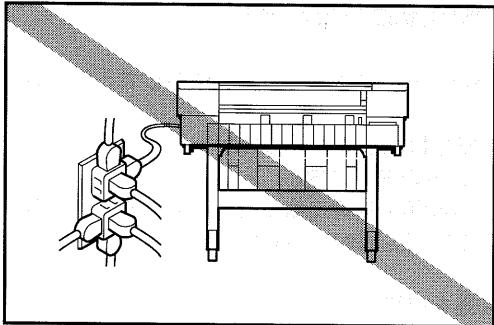
● **清掃など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。**
やけどや感電の原因になることがあります。

● **紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、つまっている用紙の上のインクが衣服や手に触れないように取り除いてください。**
衣服や手が汚れると、落ちなくなることがあります。

● **ロール紙の交換や用紙をセットするとき、また紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。**

■消耗品について

⚠注意

● **プリント後、BJカートリッジの金属部分にはさわらないでください。**
熱くなっているため、やけどの原因になることがあります。

● **インクタンクを取り外す場合は、インクタンクのキャップをはめて保管してください。**
キャップをはめないと、インクが垂れて周囲や衣服を汚すことがあります。

● **安全のため、BJカートリッジやインクタンクは子供の手の届かないところへ保管してください。**
誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、直ちに医師にご相談ください。

● **BJカートリッジやインクタンクを落としたり、振ったりしないでください。**
インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

設置場所のご注意

■次のような場所への設置は避けてください。

- 低温、乾燥または高温、多湿の場所
  水道の蛇口、湯沸器、加湿器、エアコン、ヒータ、ストーブなどの近く。（温度17.5℃～27.5℃、湿度25％～75％の環境でご使用ください。）

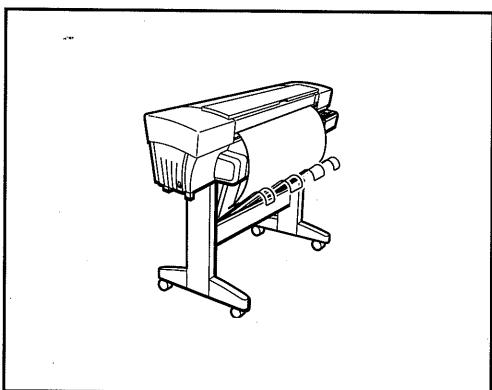
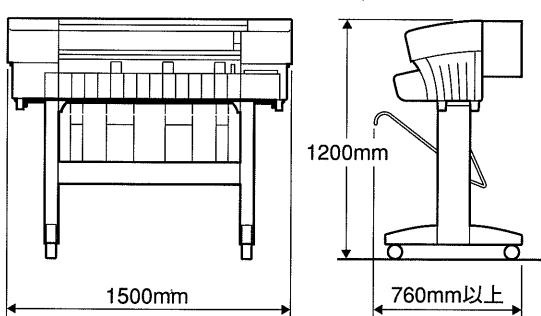
- 直射日光の当たる場所
  やむを得ない場合はカーテンなどで遮光してください。

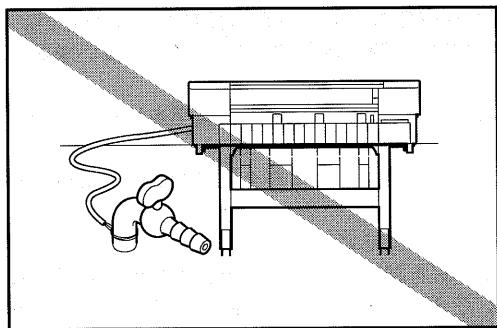
- 温度が急激に変化する場所

- ホコリ、チリなどの多い場所
- アルコール、シンナーなどの近く

- 振動の多い場所
- 床や土台が不安定な場所

- エアコンや扇風機の風などが直接あたる場所

- ラジオ、テレビなどの電子機器の近くに設置した場合、雑音やチラツキなどの受信障害が生じることがあります。別系統の電源を使用し、できるだけ離して設置してください。

■電源は安全な場所から

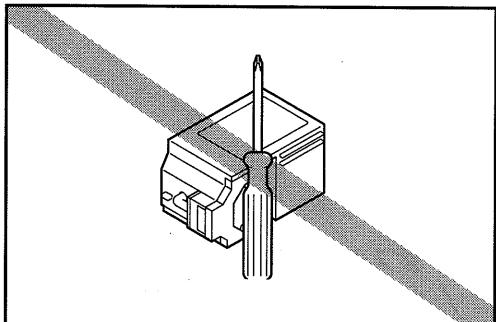
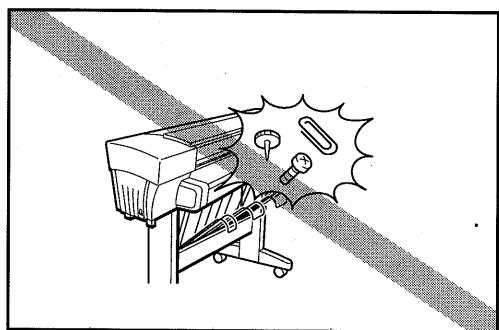
- 電源は100Vのコンセントから接続してください。100V以外の電源を使用する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 同じコンセントには、他の電気製品を接続しないでください。
- テーブルタップなどによるタコ足配線はしないでください。
  火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、重い物をのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると火災の原因になります。

■設置スペースにはゆとりを

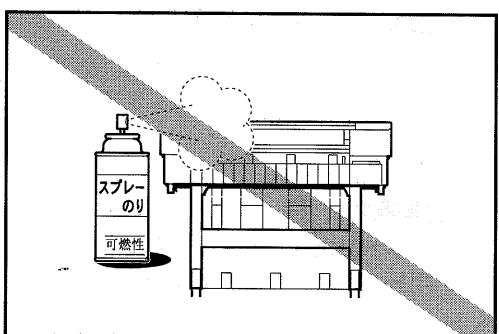
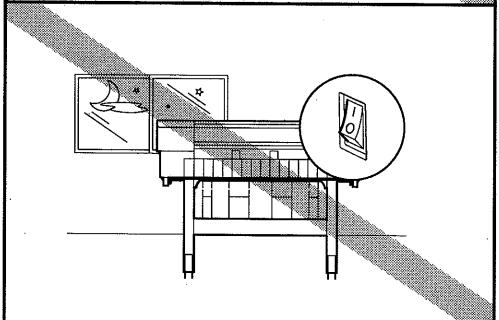
- 機械の前後には操作に十分なスペースをとってください。

- 長い用紙を使用しているときに、用紙が床についてしまうと床のチリやホコリを運び故障の原因になります。用紙が床につかないように注意してください。また、機械の周囲は常にきれいにしてください。

■アース線の接続を忘れずに

● 感電防止のため必ずアース線を接続してください。

<アース線を接続してよいもの>
- コンセントのアース端子
- 第1種〜第3種の接地工事が行われているアース端子
- 銅棒を65cm以上地中に埋めたもの

<アース線を接続してはいけないもの>
- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 水道管（配管の途中がプラスチックになっている場合があり、その場合はアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。）
- 電話線のアースや避雷針（落雷のときに大量の電流が流れ危険です。）

■移動、移転の際はご連絡を

● 移動、移転の際は、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

取り扱い上のご注意

● この取扱説明書に記載されていないことは行わないでください。

● 機械、BJカートリッジやインクタンクを分解したり、改造したりしないでください。

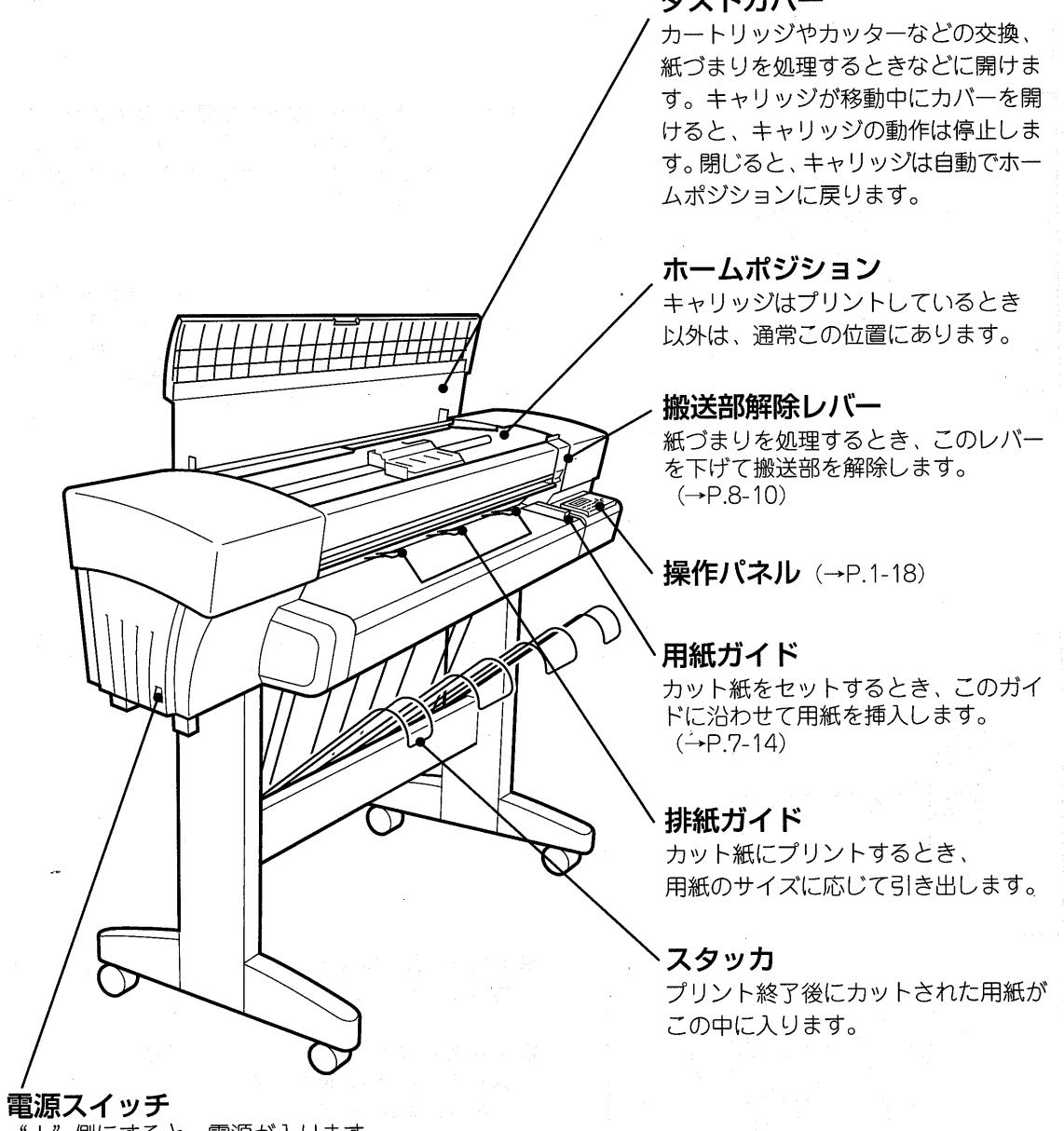
● 機械の内部にクリップなどの異物を落とさないでください。また、水などの液体をこぼさないでください。これらが危険な電圧部分に接触したり、短絡させたりすると火災や感電の原因になることがあります。

● 機械が正常に動かないときは、本書の「第8章 困ったときは」を参照してください。 また、万一異常な音や煙が発生したり異臭がした場合は、直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、担当サービスにご連絡ください。また、いつでも引き抜けるよう、電源プラグの周りには物を置かないようにしてください。

● BJカートリッジやインクタンクのインクが衣服につくと、落ちないことがあります。取り扱いの際は注意してください。

● 機械の近くでは、可燃性のスプレーのりなどは使用しないでください。引火の危険性があります。

● 夜間など長時間機械をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。

● 機械内部の用紙を搬送する力は強力です。電源が入っているときに機械内部へ髪の毛や洋服の袖などが巻き込まれないように注意してください。

● キャリッジなど本プリンタの駆動している部分には、危険ですので手を触れないでください。

各部の名称と機能

本プリンタの各部の名称と機能について説明します。

■本体各部

＜前面＞

ダストカバー
カートリッジやカッターなどの交換、紙づまりを処理するときなどに開けます。キャリッジが移動中にカバーを開けると、キャリッジの動作は停止します。閉じると、キャリッジは自動でホームポジションに戻ります。

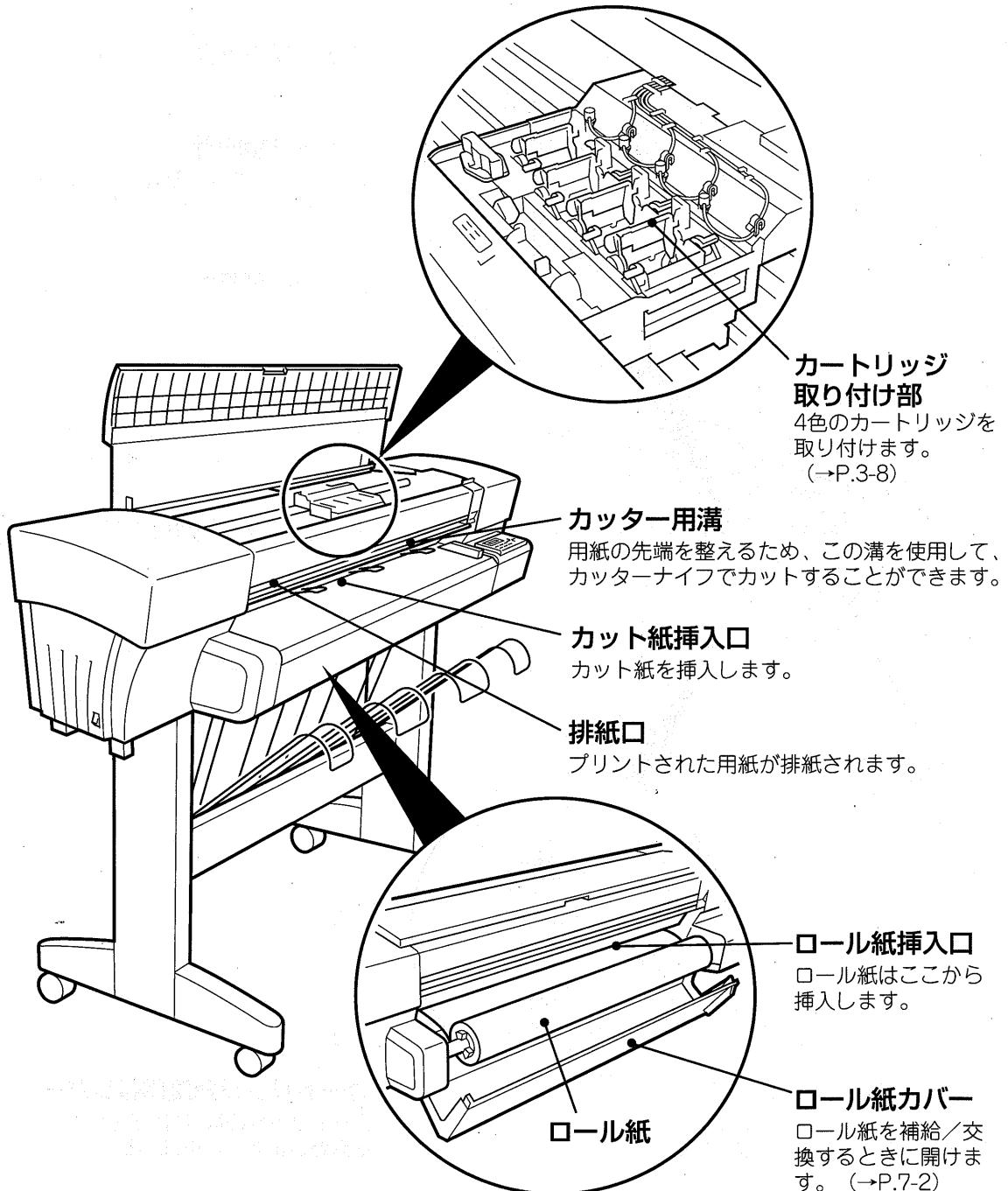
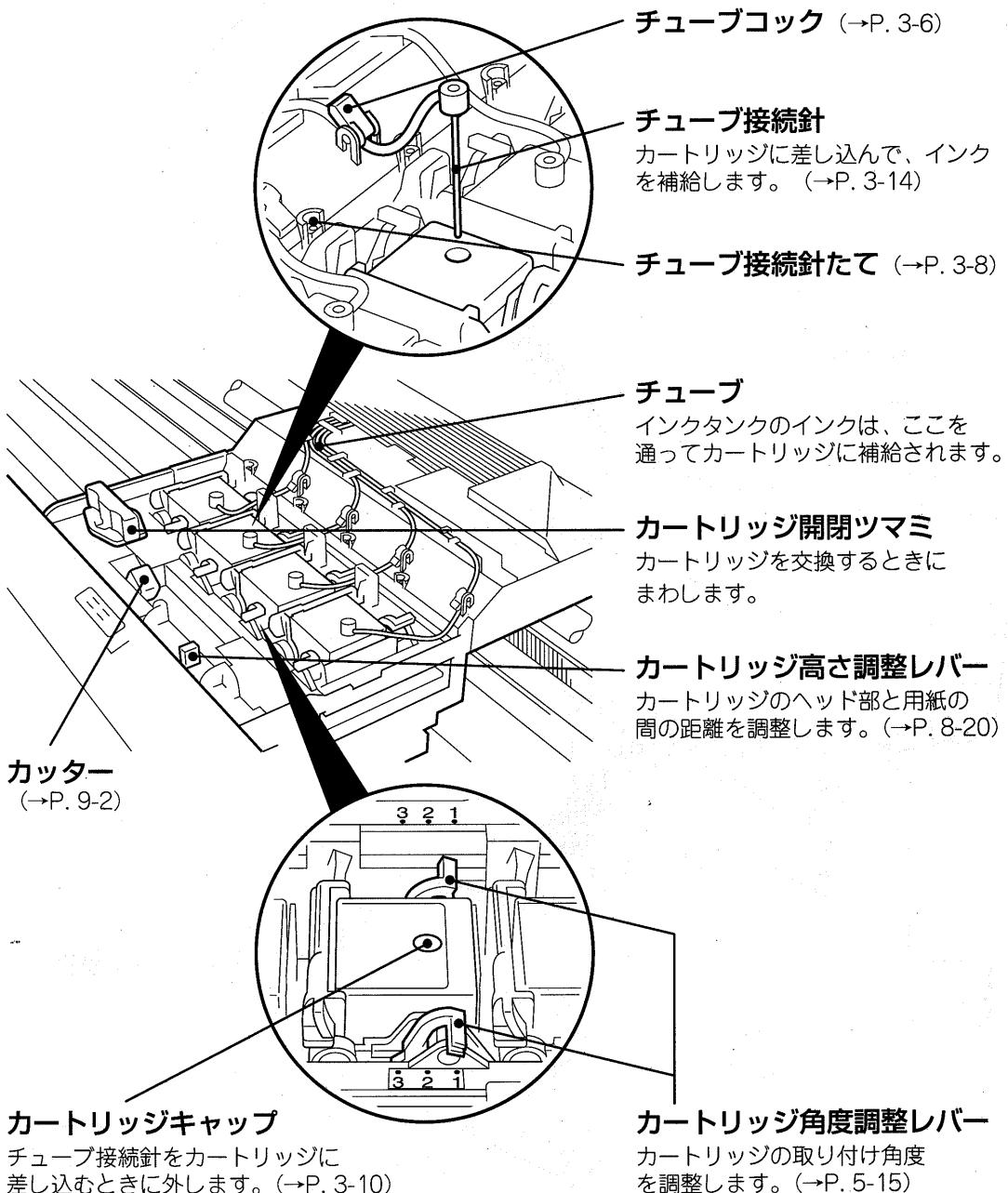
ホームポジション
キャリッジはプリントしているとき以外は、通常この位置にあります。

搬送部解除レバー
紙づまりを処理するとき、このレバーを下げて搬送部を解除します。
（→P.8-10）

操作パネル （→P.1-18）

用紙ガイド
カット紙をセットするとき、このガイドに沿わせて用紙を挿入します。
（→P.7-14）

排紙ガイド
カット紙にプリントするとき、用紙のサイズに応じて引き出します。

スタッカ
プリント終了後にカットされた用紙がこの中に入ります。

電源スイッチ
“｜”側にすると、電源が入ります。

キャリッジ部（→P.1-16）
カートリッジ
取り付け部
4色のカートリッジを
取り付けます。
（→P.3-8）
カッター用溝
用紙の先端を整えるため、この溝を使用して、
カッターナイフでカットすることができます。
カット紙挿入口
カット紙を挿入します。
排紙口
プリントされた用紙が排紙されます。
ロール紙挿入口
ロール紙はここから
挿入します。
ロール紙カバー
ロール紙を補給／交
換するときに開けま
す。（→P.7-2）
ロール紙

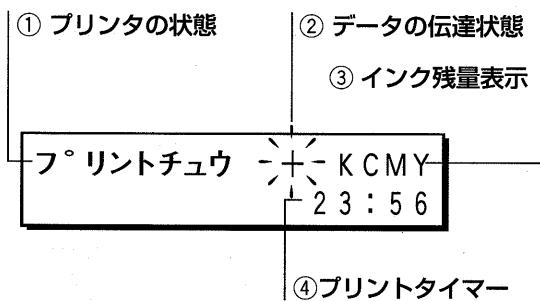
<キャリッジ部>

チューブコック（→P. 3-6）
チューブ接続針
カートリッジに差し込んで、インクを補給します。（→P. 3-14）
チューブ接続針たて（→P. 3-8）
チューブ
インクタンクのインクは、ここを通ってカートリッジに補給されます。
カートリッジ開閉ツマミ
カートリッジを交換するときにまわします。
カートリッジ高さ調整レバー
カートリッジのヘッド部と用紙の間の距離を調整します。（→P. 8-20）
カッター
（→P. 9-2）
3 2 1
3 2 1
カートリッジキャップ
チューブ接続針をカートリッジに差し込むときに外します。（→P. 3-10）
カートリッジ角度調整レバー
カートリッジの取り付け角度を調整します。（→P. 5-15）

<後面>

インクタンクケース
4色のインクタンクを取り付けます。（→P. 3-14）
アース線接続部
アース線を接続します。
電源コード差し込み部
電源コードを接続します。
パラレルインタフェースコネクタ
インタフェースケーブルを接続します。

■操作パネル各部

<table>
<tr><td>①メッセージディスプレイ</td><td colspan="2">メニュー、パラメータ、エラーメッセージなどプリンタの状態を表示します。（→P. 1-20）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②プリントモード表示</td><td colspan="2">選択されているプリントモードが点灯します。（→P.4-4）</td></tr>
<tr><td>高品位モード</td><td>標準モードに比べて、より美しくプリントできます。
標準モードでバンドスジが目立つときに使用します。</td></tr>
<tr><td>標準モード</td><td>通常はこのモードでプリントします。</td></tr>
<tr><td>高速モード</td><td>標準モードより速くプリントできます。
画像品質よりも速さを優先するときに選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">③カラー出力表示</td><td colspan="2">カラーモードを選択すると点灯します。（→P. 4-4）</td></tr>
<tr><td>点　灯</td><td>カラーでプリントします。</td></tr>
<tr><td>消　灯</td><td>モノクロでプリントします。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">④データ受信表示</td><td colspan="2">データを受信すると点灯します。（→P. 4-6）</td></tr>
<tr><td>点　灯</td><td>データを受信しています。</td></tr>
<tr><td>消　灯</td><td>データを受信していません。</td></tr>
<tr><td>⑤エラー表示</td><td colspan="2">エラーが起きると点灯します。（→P. 8-2）</td></tr>
<tr><td>⑥パイロットランプ</td><td colspan="2">電源を入れると点灯します。（→P.1-24）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">⑦矢印キー</td><td>(上矢印キー)
(下矢印キー)</td><td>メニューを選択するときに押します。(→P.4-3)
また、ロール紙を任意に搬送させることもできます。(→P.4-7) 手前に送るときは(下矢印キー)を、戻すときは(上矢印キー)を押します。</td></tr>
<tr><td>(左矢印キー)
(右矢印キー)</td><td>パラメータを選択するときに押します。(→P.4-3)
また、カートリッジを交換するときなどに、このキーを押してキャリッジをプラテン上に移動させます。</td></tr>
<tr><td>⑧メニューキー</td><td colspan="2">メニューの設定を行うときに押します。(→P.4-3)</td></tr>
<tr><td>⑨オンラインキー</td><td colspan="2">オンライン←→オフライン、プリントチュウ←→ポーズの切り替えを行います。また、メニュー設定画面からオフライン/ポーズに戻るときに押します。(→P.1-22)</td></tr>
<tr><td>⑩プリントモードキー</td><td colspan="2">プリントモードを選択するときに押します。(→P.4-4)</td></tr>
<tr><td>⑪キャンセルキー</td><td colspan="2">プリント中にオンラインキーを押して、“ポーズ”を表示させた後、このキーを押すとプリントを中止します。(→P.4-9)</td></tr>
<tr><td>⑫ロール紙/カット紙選択キー</td><td colspan="2">ロール紙またはカット紙を選択するときに押します。(→P.7-5、7-13)</td></tr>
<tr><td>⑬カット紙表示</td><td colspan="2">カット紙を選択すると点灯します。(→P.7-13)</td></tr>
<tr><td>⑭ロール紙表示</td><td colspan="2">ロール紙を選択すると点灯します。(→P.7-5)</td></tr>
<tr><td>⑮ロール紙カットキー</td><td colspan="2">プリント後にロール紙をカットするとき、またはロール紙の先端を整えたいときにこのキーを押してカットします。(→P.4-7、7-10)</td></tr>
</table>

■メッセージディスプレイについて

メッセージディスプレイには、次のような情報（メッセージ）が表示されます。

- プリンタの状態（→P.1-22）
- メニューとパラメータの設定状態（→P.1-23）
- 保守・点検に関する情報（→P.1-23）

●メッセージディスプレイの見かた

①プリンタの状態

プリンタには、プリントチュウ、ポーズ、オンライン、オフラインの4つの状態があります。（→プリンタの状態：P.1-22）

②データの伝達状態

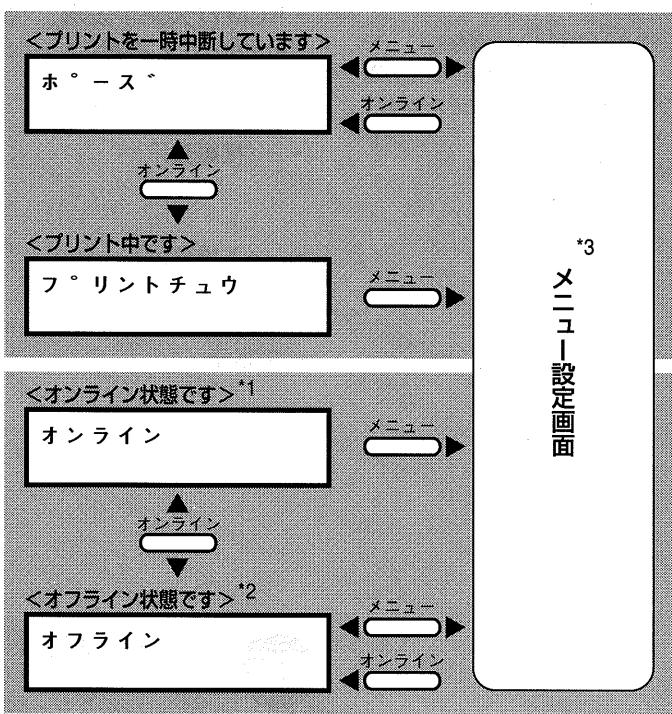
＋と＊が交互に点滅	：受信したデータをプリンタの内部で処理し、プリントしています。
－と？が交互に点滅	：データの受信が正常に行なわれていません。
何も表示していない	：データを受信していません。

・インクボトルの交換については、「BJカートリッジ／インクタンクの交換」（→P.3-4）をご覧ください。
・インクタンクのインクがなくなっても、カートリッジを使って少しの間プリントを続けることができます。（→カートリッジを使ってプリントする：P.3-18）

②**インク残量表示**
取り付けられているインクタンク（K：ブラック、C：シアン、M：マゼンタ、Y：イエロー）各色のインク残量を表示します。

- KCMY（大文字表示）：各インクが十分にあります。
- kcmy（小文字表示）：インクが少なくなっています。新しいカートリッジとインクタンクに交換してください。。
- ー（横線表示）：インクがありません。新しいカートリッジとインクタンクに交換してください。
- _（下線表示）：カートリッジが取り付けられていません。カートリッジを取り付けてください。
- ？表示：カートリッジに異常があるか、破損しているカートリッジが取り付けられています。再度取り付け直してください。
それでも？表示が消えない場合は、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

ご注意
インク残量表示が小文字の状態でプリントしていても、画像の濃度やサイズによっては途中でインク切れになることがあります。インク切れになった後も、プリント動作を続け、プリント後「ー（横線）」表示になります。
（→メッセージ一覧と対処方法：P.8-3）

プリントタイマーの表示は60分を越えると、時間：分で表示します。

④**プリントタイマー**
プリント時間を表します。
（この例では、プリントタイマーは23分56秒です。）

●プリンタの状態

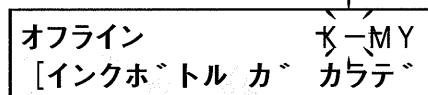
プリンタには、プリントチュウ、ポーズ、オンライン、オフラインの4つの状態があります。

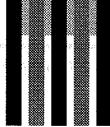
*1 用紙をセットすると、自動で"オンライン"に切り替わります。コンピュータからデータを受信すると、"プリントチュウ"に切り替わり、プリントを開始します。

*2 コンピュータからデータを受信することはできますが、プリントを開始しません。"オンライン"に切り替わったときにプリントを開始します。

*3 プリント中には設定できないメニューがあります。

●メニューとパラメータの設定状態の表示例

メニュー ―― ヨウシ シュルイ
パラメータ ―― コートシ

「ヨウシ　シュルイ」メニューが「コートシ」に設定されている表示例です。

●保守・点検に関する表示例

本機のメッセージディスプレイ上ではインクタンクのことを「インクボトル」と表示しています。

プリンタが正常に動作できないときに、保守・点検に関するメッセージが表示されます。

[ｲﾝｸﾎﾞﾄﾙ ｶﾞ ｶﾗﾃﾞｽ：ｼｱﾝ]

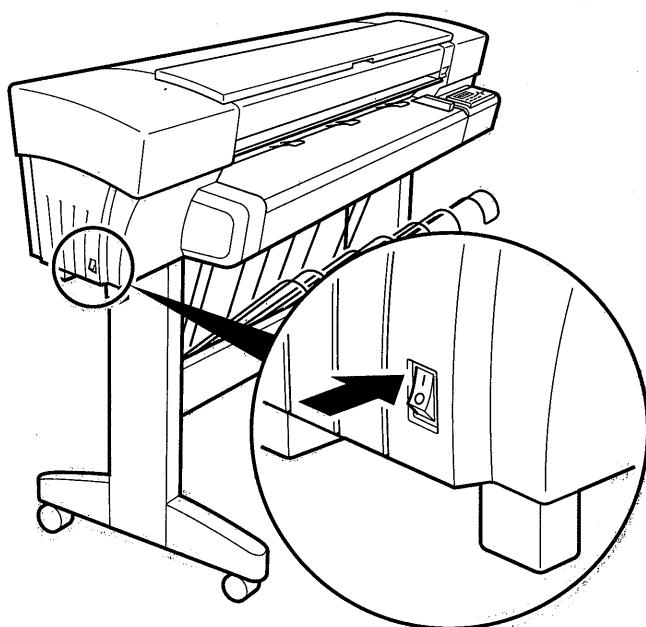
シアンインクタンクのインクがなくなった表示例です。

電源を入れる／切る

電源の入れかた、および電源の切りかたについて説明します。

■電源の入れかた

1 電源プラグが確実にコンセントに差し込まれているか確認します。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

●アース線が接続されていることを確認してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

2 コンピュータの電源を入れて、プリンタの電源スイッチの“｜”側を押して電源を入れます。

電源スイッチは、本体左側面にあります。

電源を入れたとき、プリンタが自動的にヘッドクリーニングを行う場合があります。ヘッドクリーニングは約40秒で終了します。

2-1 電源を入れると、操作パネル上の全表示が点滅し、プリンタ内部の自己診断を始めます。このとき、メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

```
シバ゛ラクオマチクタ゛サイ
        I:Ver. XX. XX
```

```
シバ゛ラクオマチクタ゛サイ
        E:Ver. XX. XX
```

このメッセージが表示されているときは、電源を切らないでください。電源を切ると、プリンタが正しく動作できなくなることがあります。万一、誤って電源を切った場合は、約10秒後、電源を入れ直してください。

2-2 自己診断が終了し、異常がなければ、メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

```
オフライン              KCMY
[ヨウシ ヲ セットシテクタ゛サ
```

[ﾖｳｼ ｦ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ]

このメッセージが表示されると、用紙を挿入できます。

エラーメッセージが表示されたときは、「第8章　困ったときは／エラーメッセージが表示されたとき」(→P.8-2)をご覧ください。

◆電源を入れたときにロール紙がセットされていた場合

用紙が搬送され、プリントできる状態になると、メッセージディスプレイに“オンライン”が表示されます。

◆電源を入れたときにカット紙がセットされていた場合

用紙が排紙され、メッセージディスプレイに‘ヨウシ　ヲ　トリノゾイテクダサイ’が表示されます。
用紙を取り除いてください。

■電源を切る

1 **キャリッジがホームポジションにあることを確認します。**

キャリッジがホームポジションにない場合は、「紙づまりが起きたとき」（→P.8-10）を参照して、キャリッジをホームポジションに戻します。

カートリッジのヘッドについては、「BJカートリッジ／インクタンクの選択と取り扱い」（→P.3-2）をご覧ください。

ご注意

カートリッジのヘッド部は、ホームポジションにあるときに乾燥するのを防ぐためキャッピングされます。
ヘッド部が乾燥すると、インクが凝固してノズルの目づまりの原因となりますので、必ず、キャリッジがホームポジションにあることを確認してから電源を切ってください。

2 **プリンタの電源スイッチの“O”側を押して電源を切り、コンピュータの電源を切ります。**

電源を切った後、キャリッジには触れないでください。
プリンタの故障の原因になります。

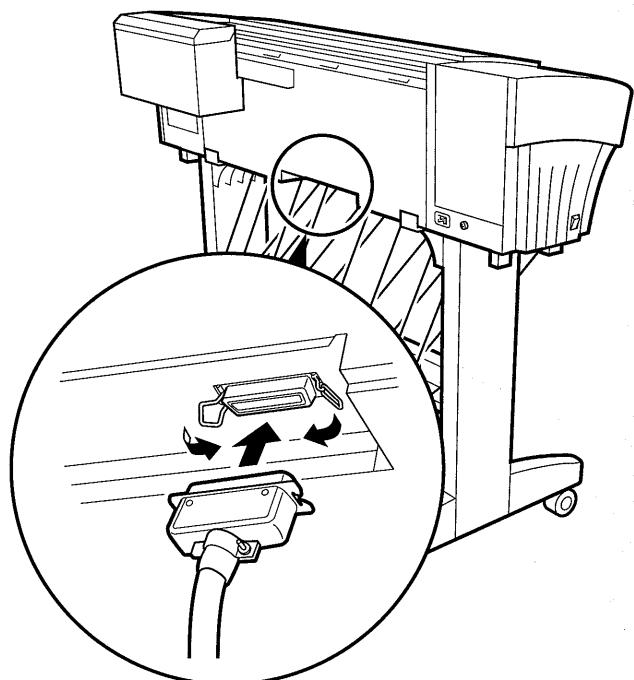
第2章

インタフェースケーブルの接続

この章では、インタフェースケーブルの接続について説明します。

インタフェースケーブルの接続

本プリンタは、次のインタフェースが標準仕様になっています。

●パラレルインタフェースコネクタ

本プリンタのパラレルインタフェースは、IEEE1284準拠のコンパチブルモード、ニブルモードおよびECPモードに対応しています。
パラレルインタフェースコネクタは、36ピンのメス型コネクタになっています。

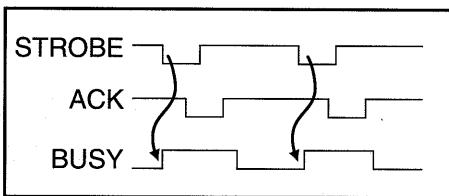
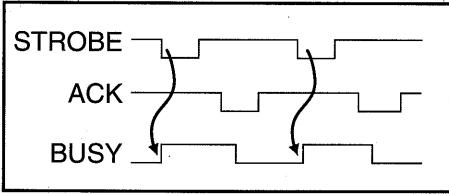
ご注意
●3.6m以内のパラレルインタフェースケーブルをご使用ください。
●ケーブルを接続するときは、プリンタとコンピュータの電源を切ってください。

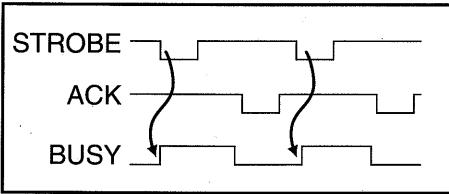
■パラレルインタフェースケーブルの接続のしかた

1 パラレルインタフェースケーブルをプリンタ底面のコネクタに接続します。

2 コネクタ両側の止め具でコネクタを固定します。

3 コンピュータの電源を入れて、プリンタの電源を入れます。

■パラレルインタフェースの通信モードを切り替える

コンピュータとの通信がうまく行えないとき、データを転送してもデータ受信表示は点灯しません。

プリンタとの通信がコンパチブルモードのコンピュータを使用する場合、コンピュータへBUSY信号とACK信号を出力するタイミングに合わせて、プリンタを設定することができます。
通常は「A−B」に設定しておきますが、コンピュータとの通信がうまく行えないときに限り、設定を変更します。

＜設定の種類＞

・A-B

・A-B-A

・B-A

●設定変更のしかた

1 プリンタの電源を切ります。
（→電源を切る：P.1-26）

2 オンラインキーとメニューキーを押しながら、電源を入れます。

メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

```
Busy−Ack
  A−B  (Default)
```

3 右または左矢印キーを押して、「A-B-A」または「B-A」を選択します。

```
Busy−Ack
      A−B−A
```

上または下矢印キーを押しても、パラメータを確定することができます。

4 オンラインキーまたはメニューキーを押すと、メッセージディスプレイに‘Changed..’が表示され、選択したパラメータが確定されます。

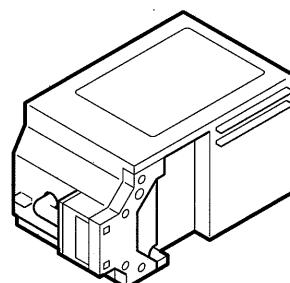
約2秒後、プリンタは通常モードになります。

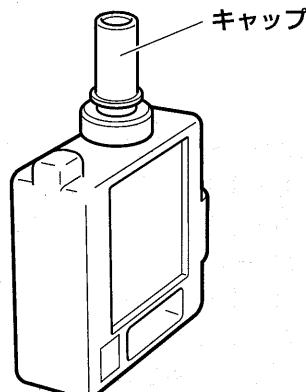
第3章

BJカートリッジ／インクタンクの選択と取り付け

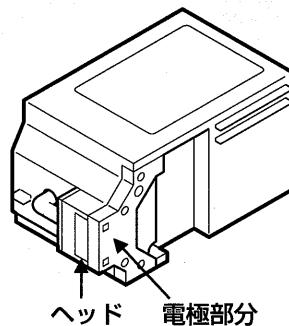
この章では、本プリンタで使用するBJカートリッジ／インクタンクの種類や取り扱い上の注意、交換目安および交換方法について説明します。

BJカートリッジ／インクタンクの選択と取り扱い

本プリンタには、ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの4色の専用カートリッジとインクタンクがセットで用意されており、モノクロとカラーの両方のプリントに対応します。
ここでは、本プリンタに用意されている4種類のカートリッジ／インクタンクと取り扱い上の注意について説明します。

カートリッジとインクタンクは、必ず本プリンタ専用のカートリッジ／インクタンク（W7000シリーズ）をお使いください。

■カートリッジ／インクタンクの種類

本プリンタには4色の専用カートリッジとインクタンクが用意されています。

- W7000用サプライキットBlack　（ブラック）
- W7000用サプライキットCyan　（シアン）
- W7000用サプライキットMagenta（マゼンタ）
- W7000用サプライキットYellow　（イエロー）

〈カートリッジ〉

〈インクタンク〉

■カートリッジ／インクタンクの取り扱い上の注意

プリントの品質はカートリッジのヘッド部分の状態に大きく左右されます。カートリッジを取り扱う際は、次のことに注意してください。

注意

- 安全のため、BJカートリッジは子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、直ちに医師にご相談ください。
- BJカートリッジを落としたり、振ったりしないでください。カートリッジ内のインクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。
- インクタンクを取り外す場合は、インクタンクのキャップをはめて保管してください。キャップをはめないと、インクが垂れて周囲や衣服を汚すことがあります。

- カートリッジは、お使いになるまで開封しないでください。開封したまま放置しておくと、ヘッドが乾燥してプリントできなくなることがあります。
- 開封したカートリッジはすぐにプリンタに取り付けてください。そのまま放置されると、ヘッドが乾燥してプリントできなくなることがあります。
- きれいにプリントするため、カートリッジとインクタンクは開封後1年以内に使い切ることをお勧めします。
- カートリッジ／インクタンク（W7000シリーズ）のインクは補充できません。インクがなくなったら新しいサプライキットに交換してください。
- カートリッジやインクタンクを分解したり、インクを補充したりしないでください。故障の原因になります。
- カートリッジを一時的に置くときは、ヘッドを上に向けた状態で置いてください。ヘッドを下に向けて置くと、傷がつき、きれいにプリントできなくなることがあります。
- ヘッド表面や電極部分には触れないでください。故障の原因になります。
- いったん外したオレンジ色のキャップは、カートリッジに取り付けないでください。ヘッドに傷がつき、きれいにプリントできなくなることがあります。

BJカートリッジ／インクタンクの交換

プリントの画像が全体的にかすれていたり、特定の色だけが出なくなったりした場合は、新しいカートリッジ／インクタンクに交換します。

● プリントの品質はカートリッジの状態に大きく左右されます。カートリッジを取り付ける際は、開封したまま放置したり、ヘッド表面や電極部分に触れたりしないよう注意してください。
（→カートリッジ／インクタンクの取り扱い上の注意：P.3-3）

■カートリッジ／インクタンクの交換の目安

次の場合に新しいカートリッジに交換してください。

● メッセージディスプレイにカートリッジ交換に関する表示がされたとき。（→メッセージが表示されたとき：P.8-2）

- ・KCMY（大文字表示）：各インクが十分にあります。
- ・kcmy（小文字表示）：インクが少なくなっています。新しいカートリッジとインクタンクに交換してください。
- ・ー（横線表示）：インクがありません。新しいカートリッジとインクタンクに交換してください。
- ・＿（下線表示）：カートリッジが取り付けられていません。カートリッジを取り付けてください。
- ・？表示：カートリッジに異常があるか、破損しているカートリッジが取り付けられています。再度取り付け直してください。
それでも？表示が消えない場合は、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

● ヘッドクリーニングを行っても、プリント結果が改善されず、クリーナブレードも汚れていないとき。
（→ヘッドクリーニング：P.9-6）
（→クリーナブレードの交換：P.9-8）

インクタンクのインクがなくなっても、カートリッジを使って少しの間プリントを続けることができます。
（→カートリッジを使ってプリントする：P.3-18）

■カートリッジ／インクタンクの交換のしかた

カートリッジ／インクタンクを次の手順で交換します。ここでは、シアンのカートリッジ／インクタンクを交換する場合を例に説明します。
手にインクが付かないように、付属の手袋をはめて交換を行ってください。

1 メッセージディスプレイに“オフライン”が表示されていることを確認します。

表示されていない場合は、オンラインキーを押すと表示させることができます。

ご注意

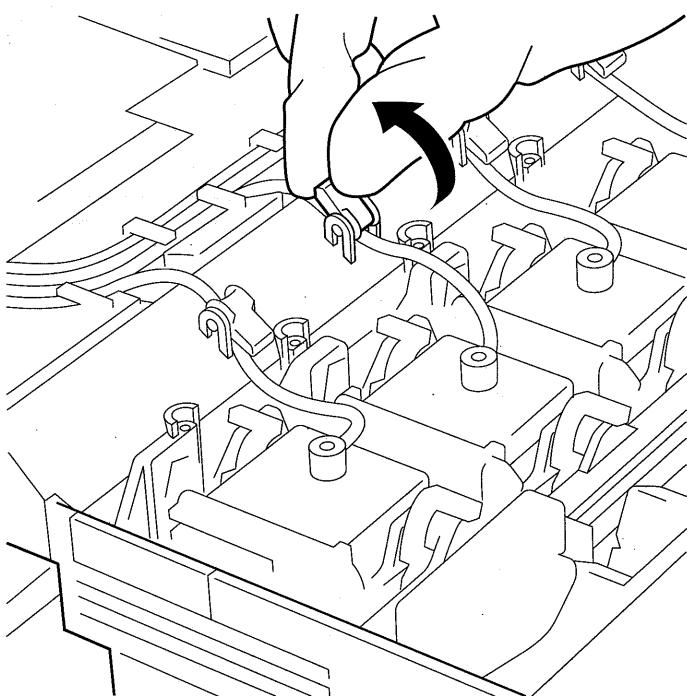
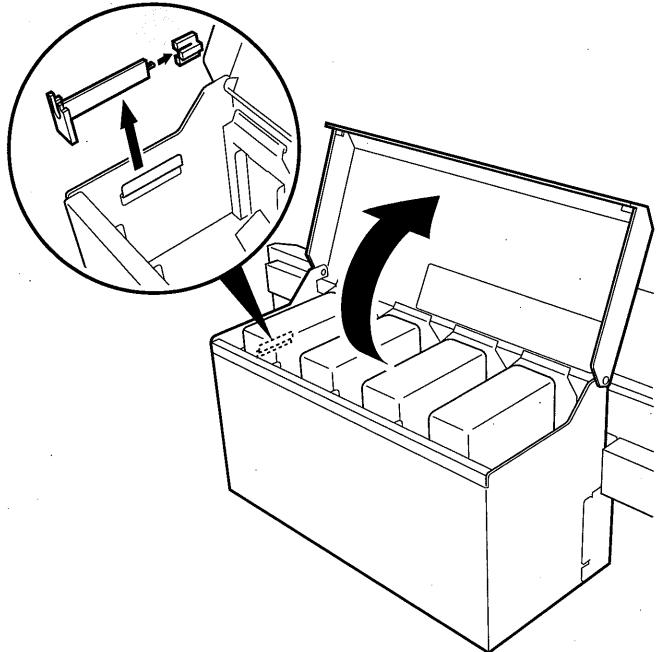
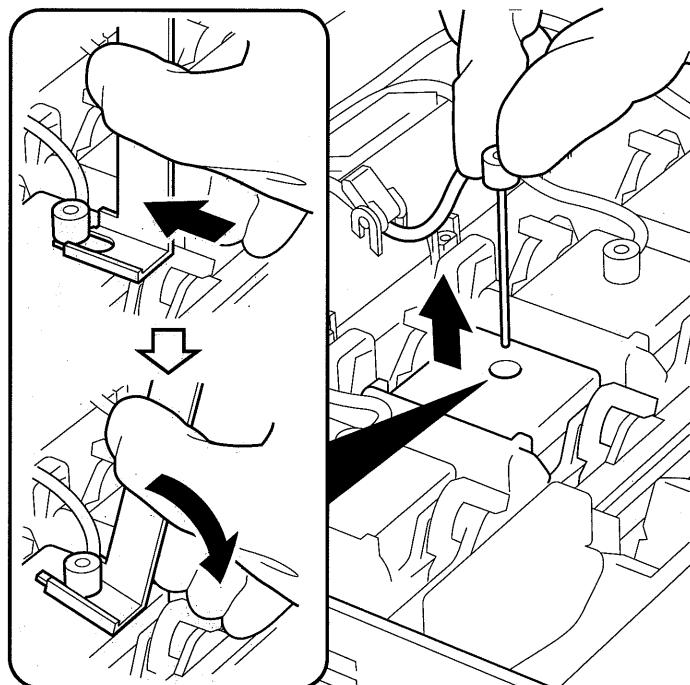
● インク残量表示が小文字の状態でプリントしていても、画像の濃度やサイズによっては途中でインク切れになることがあります。
インク切れになった後も、プリント動作を続け、プリント後「ー（横線）」表示になります。
（→メッセージ一覧と対処方法：P.8-3）

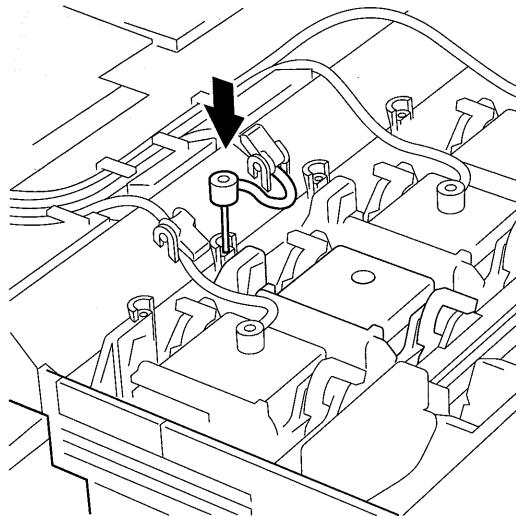
ダストカバーが開いていると、キャリッジは移動しません。また、キャリッジが移動中にダストカバーを開けると、メッセージディスプレイに‘カバー ガ アイテイマス’と表示されます。すぐにダストカバーを閉めてください。

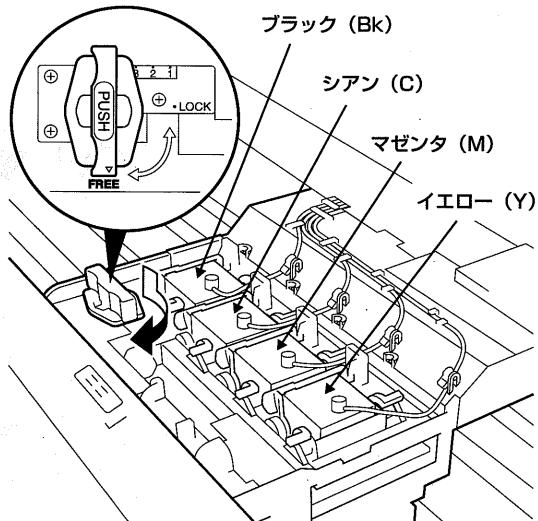
2 右または左矢印キーを押して、キャリッジをプラテン上に移動させます。

3 キャリッジが停止すると、メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

[ﾍｯﾄﾞ ﾄ ﾎﾞﾄﾙ / ｶ

[ﾍｯﾄﾞ ﾄ ﾎﾞﾄﾙ / ｶｯﾀｰ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ]

4 メッセージを確認した後、ダストカバーを開けます。

5 チューブコックを矢印の方向に止まるところまで回します。

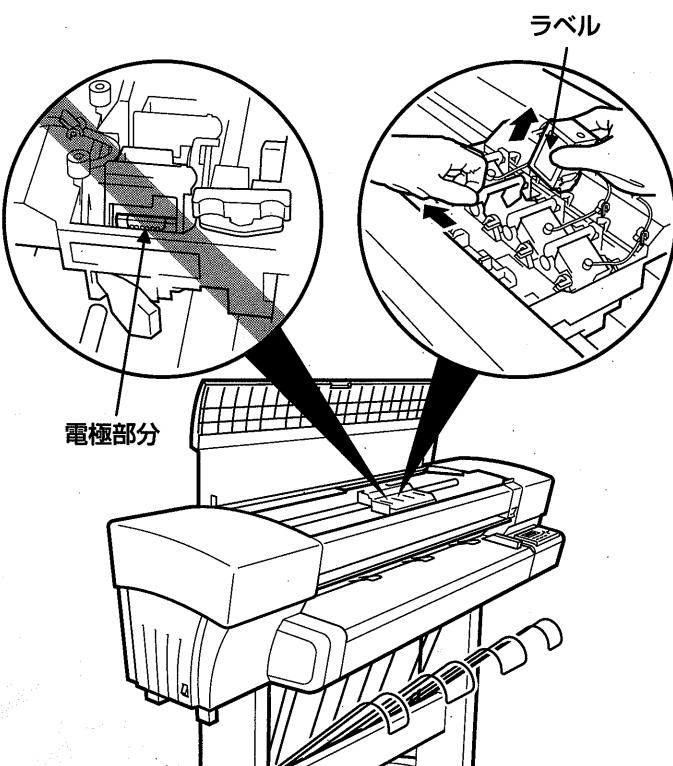
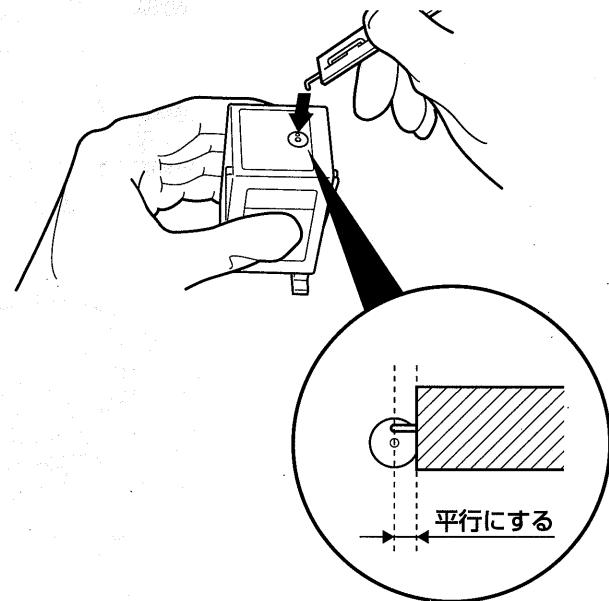
6 インクタンクケースからキャップ外し工具を取り出します。

7 キャップ外し工具を図のようにチューブ接続針に差し込んで、チューブ接続針を静かに取り外します。

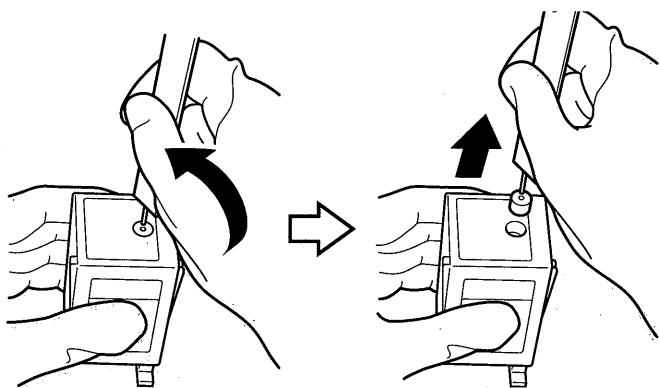
8 取り外したチューブ接続針を、チューブ接続針たての穴にしっかりと差し込みます。

取り外したチューブ接続針をそのまま放置しないでください。接続針に付いているインクで機械内部が汚れ、手にインクが付くことがあります。

9 カートリッジ開閉ツマミを下に押しながら、「FREE」の位置まで矢印の方向に回してカートリッジの取り付け部を解除します。

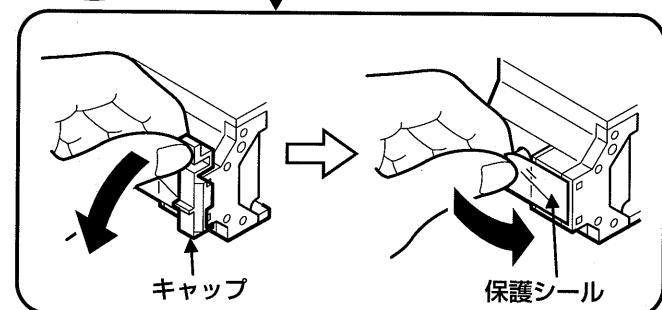
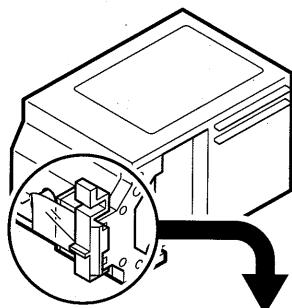
カートリッジを取り付ける位置は、左からブラック（Bk）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の順になっています。

必要なとき以外は、カートリッジ開閉ツマミを回さないでください。

10 カートリッジを取り出します。

注意 プリント後、カートリッジの金属部分には触らないでください。熱くなっているため、やけどの原因になることがあります。

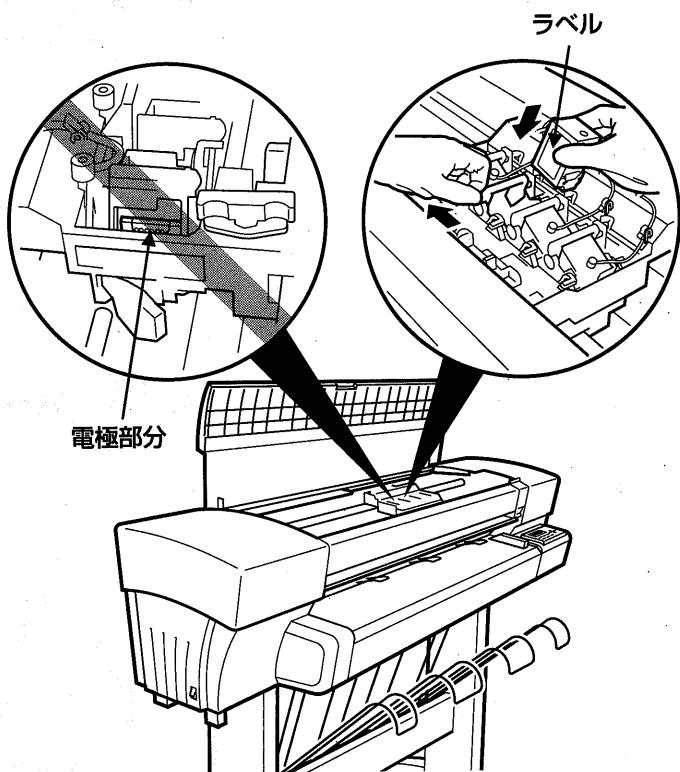
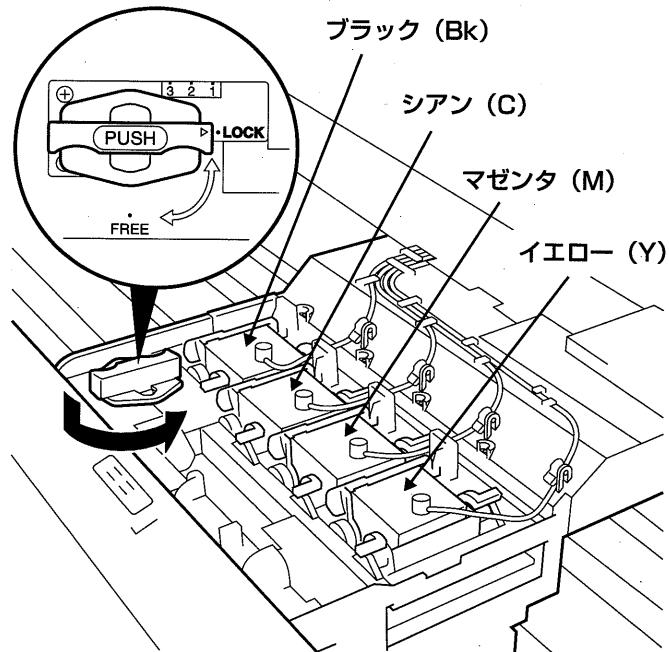
ご注意

- 使い終わったカートリッジは、インクが出ないようにビニール袋などに入れて、不燃物として捨ててください。
- カートリッジを取り出すときは、キャリッジの電極部分には触らないでください。故障の原因になります。

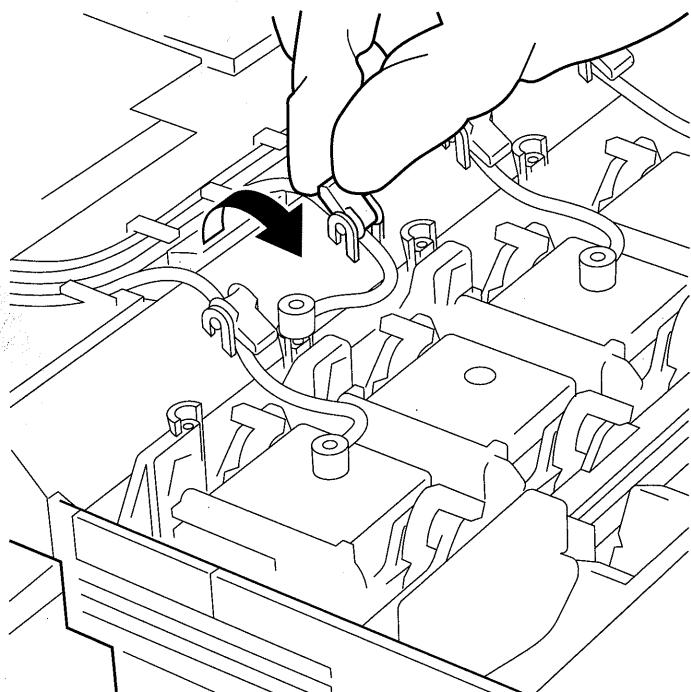
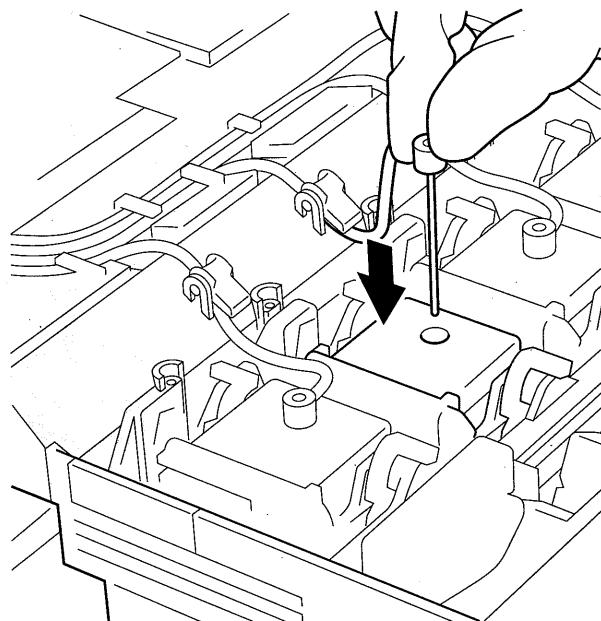
11 新しいカートリッジを開封し、キャップ外し工具の白いキャップを取り、針を図のような向きでカートリッジキャップに差し込みます。

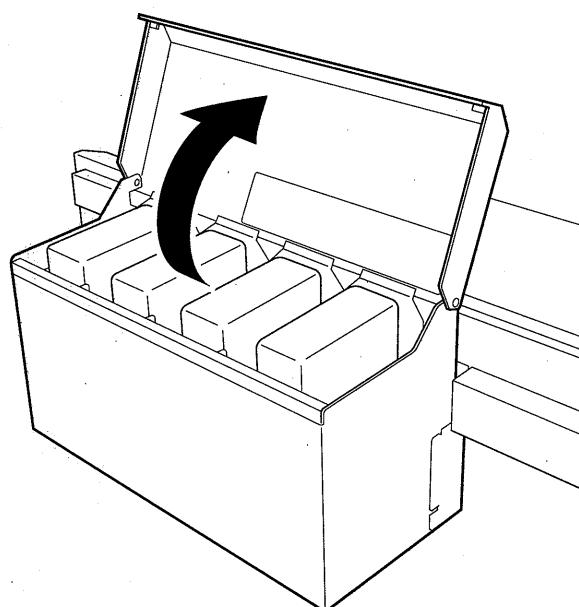
12 キャップ外し工具を垂直に立ててカートリッジキャップを取ります。

13 ヘッド部のオレンジ色のキャップを外し、さらに保護シールをはがします。

注意　BJカートリッジを落としたり、振ったりしないでください。カートリッジ内のインクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

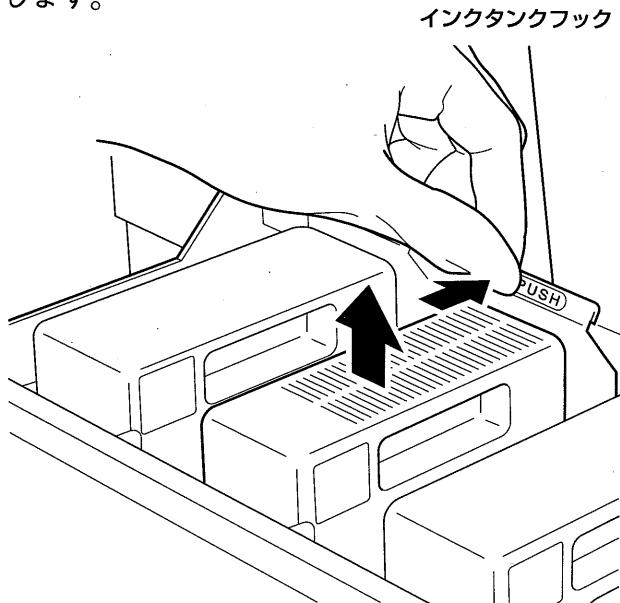
ご注意

- カートリッジのヘッド部分と電極部分には触らないように注意してください。故障の原因となります。
- いったん外したオレンジ色のキャップは、カートリッジに取り付けないでください。
- キャップと保護シールをはがしたカートリッジは、長時間放置せず、すぐにプリンタに取り付けてください。
ヘッドが乾燥してプリントできなくなることがあります。

14 カートリッジのラベルを手前にして、ヘッドを下向きにします。
取り付け部を指で広げながら、カートリッジを奥に突き当たるまで斜めに差し込みます。

ご注意

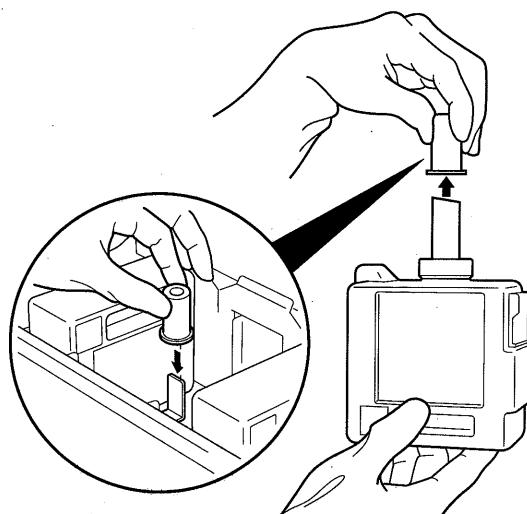
- カートリッジを取り付けるときは、キャリッジの電極部分には触らないでください。故障の原因になります。
- カートリッジのヘッド部分をキャリッジにぶつけないように注意してください。

15 カートリッジ開閉ツマミを下に押しながら、「LOCK」の位置まで戻します。

16 チューブコックを元に戻します。

17 チューブ接続針を、カートリッジキャップが付いていた穴の中心に垂直にしっかりと差し込みます。

カートリッジ／インクタンクを交換した後、自動的にヘッドクリーニングを行います。ヘッドクリーニングは約40秒で終了します。

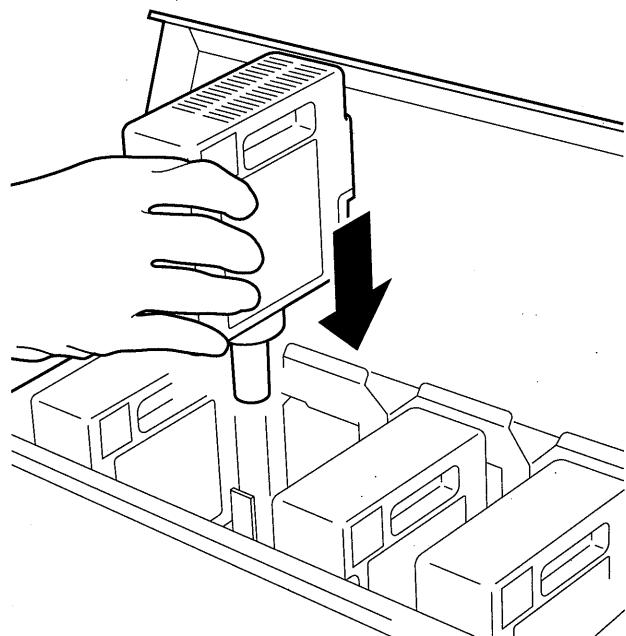
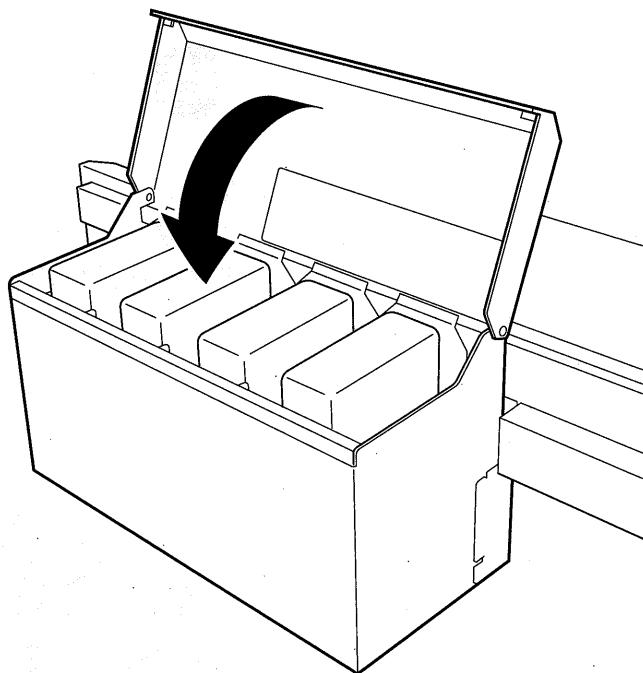
18 ダストカバーを閉めます

キャリッジが右側ホームポジションに戻ります。

● カートリッジのヘッドが乾燥するのを防ぐため、カートリッジを交換した後はすぐにダストカバーを閉めてください。

19 インクタンクケースのふたを開けます。

20 インクタンクフックを押して、インクタンクを取り外します。

注意

● インクタンクを取り外す場合は、インクタンクのキャップをはめて保管してください。キャップをはめないと、インクが垂れて周囲や衣服を汚すことがあります。

ご注意

使い終わったインクタンクは、インクが出ないようにキャップをはめて不燃物として捨ててください。

21 新しいインクタンクを開封し、キャップを取り外します。取り外したキャップは、インクタンクケースの中のキャップたてにたてておきます。

22 インクタンクをインクタンクケースに取り付けます。

23 インクタンクケースのふたを閉めます。

■プリント品位の調整

カートリッジ／インクタンクを交換した後、カートリッジの自動ヘッド調整を行ってください。自動ヘッド調整を行わないと、プリントの画像品質が低下します。
詳しくは、「インジ　チョウセイ（調整）」（→P.5-9）をご覧ください。

■カートリッジを使ってプリントする

インクタンクのインクがなくなったことを示すメッセージ‘インクボトル　ガ　カラデス’がメッセージディスプレイに表示された後、交換するカートリッジ／インクタンクがないとき、現在取り付けられているカートリッジを使って少しの間プリントを続けることができます。
ここでは、シアンインクタンクのインクがない場合を例に説明します。

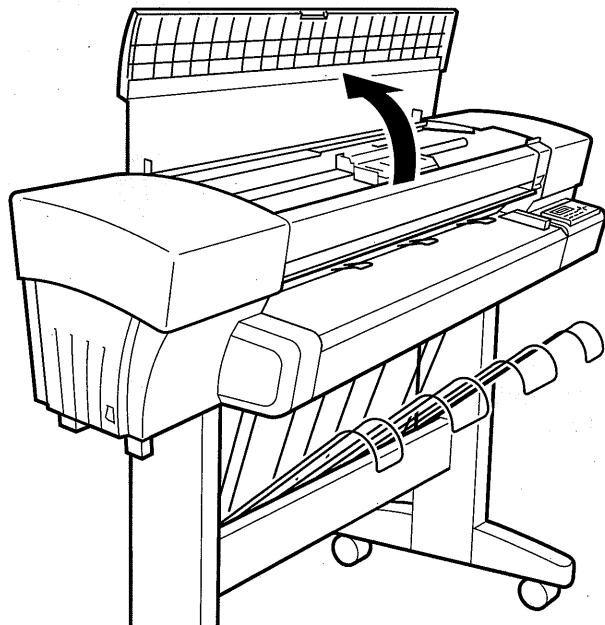
ご注意

カートリッジ内のインクを使ってプリントする場合、インク残量表示は表示されません。
プリントの途中でインク切れになることがありますので、早めに新しいカートリッジ／インクタンクに交換して下さい。
（→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた：P.3-5）

1 メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されていることを確認します。

```
オフライン          K－MY
[インクボ゛トル　カ゛　カラテ゛
```

[ｲﾝｸﾎﾞﾄﾙ ｶﾞ ｶﾗﾃﾞｽ : ｼｱﾝ]

表示されていない場合は、オンラインキーを押すと表示させることができます。

2 右または左矢印キーを押して、キャリッジをプラテン上に移動させます。

3 キャリッジが停止すると、メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

```
オフライン          K－MY
[ヘット゛　ト　ボ゛トル　／　カ
```

[ﾍｯﾄﾞ ﾄ ﾎﾞﾄﾙ / ｶｯﾀｰ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ]

ダストカバーが開いていると、キャリッジは移動しません。また、キャリッジが移動中にダストカバーを開けると、メッセージディスプレイに‘カバー　ガ　アイテイマス’と表示されます。すぐにダストカバーを閉めてください。

4 メッセージを確認した後、ダストカバーを開けます。

5 ダストカバーを開けたまま、ロール紙／カット紙選択キーを押します。

メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

カートリッシ゛　モート゛ イイエ

6 右または左矢印キーを押して、‘ハイ’を表示させます。

7 オンラインキーまたはメニューキーを押します。

メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

オフライン　　　　　K−MY [チューフ゛　カ゛　ハス゛レテイ

[チューフ゛カ゛ハズ゛レテイルコト ヲ カクニン シテクダ゛サイ]

8 シアンカートリッジに差し込んでいるチューブ接続針を取り外します。
（→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた　手順５～８：P.3-6）

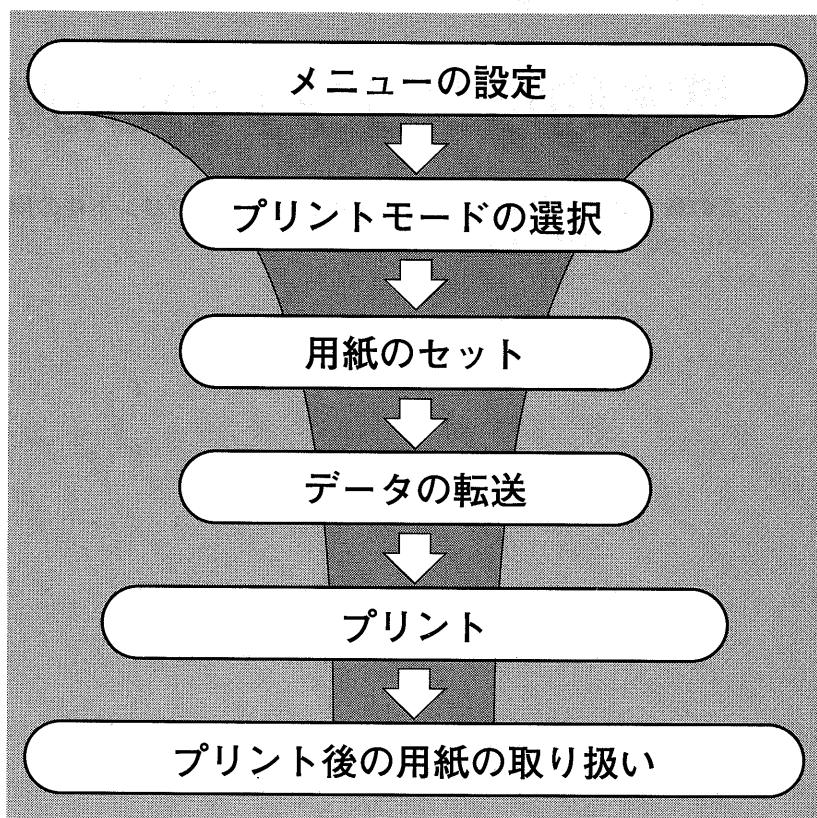
ご注意　チューブ接続針を必ず取り外してください。
チューブ接続針を取り外さないでプリントすると、画像品質が低下する原因になります。

9 ダストカバーを閉めます。

キャリッジが右側ホームポジションに戻り、シアンのインク残量表示が＊になります。

新しいカートリッジ／インクタンクに交換すると、＊表示は消えて通常のインク残量表示が表示されます。

第4章

基本的なプリントのしかた

この章では、基本的なプリントの操作手順と、プリント後の用紙の取り扱いについて説明します。

プリントの手順

基本的なプリントのしかたは、次のような操作手順になります。

■メニューの設定

プリントの目的に合わせて、各メニューを設定します。
ここでは、「オートカット」メニューを「カットライン」に設定する場合を例に説明します。
各メニューとパラメータについての詳細は、「メニューとパラメータの持つ機能」（→P.5-3）をご覧ください。

1 メニューキーを押して、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

メニュー項目は上段に、パラメータは下段に表示されます。

```
ハ゛ーシ゛ョン

```

2 上または下矢印キーを押して、「オートカット」メニューを表示させます。

```
オートカット
　　　　　　　ハイ
```

3 右または左矢印キーを押して、設定／調整したいパラメータを表示させます。

```
オートカット
　　　　　カットライン
```

4 オンラインキーまたはメニューキーを押します。

メッセージディスプレイに表示されているパラメータが確定されます。

上または下矢印キーを押しても、パラメータを確定することができます。続けて他のメニューを変更する場合は、上または下矢印キーを押すと効率的に設定することができます。

■プリントモードの選択

●カラーモード／モノクロモードを選択する

データの内容に合わせて、カラーモードまたはモノクロモードを選択します。
カラーモード／モノクロモードを選択するには、「カラー／モノクロ　モード」メニューを「カラー」または「モノクロ」に設定します。
メニューの設定のしかたについては、「メニューの設定」（→P.4-3）をご覧ください。
（→「カラー／モノクロ　モード」：P.5-5）

＜カラーモード＞
カラーモードに設定しているとき、カラー出力表示が点灯します。カラーモードでは、用紙やプリントモードとの組み合わせによって、より美しいプリントを得ることができます。
（→用紙の種類：P.6-2）

＜モノクロモード＞
モノクロモードに設定しているとき、カラー出力表示が消灯します。ブラック1色でプリントするときにモノクロモードを選択します。

●プリントモードを選択する

プリントの目的に合わせて、プリントの速さや品質を選択できます。
プリントモードを選択するには、メッセージディスプレイに“オフライン”が表示されていることを確認し、プリントモードキーを押します。
プリントモードには次の3種類があります。

●高品位モード
　標準モードに比べて、より美しくプリントできます。
　標準モードでバンドスジが目立つときに選択します。
●標準モード
　通常は、このモードでプリントします。
●高速モード
　標準モードより速くプリントできます。
　画像品質よりも速さを優先するときに選択します。

■用紙のセット

使用する用紙については、「用紙の種類とサイズ」（→P.6-2）をご覧ください。

メニューの設定、プリントモードの選択が終了したら用紙をセットします。
メッセージディスプレイに“オンライン”が表示されます。
用紙のセットのしかたについては、「第7章 用紙のセット」をご覧ください。

■データの転送

メニューの設定、プリントモードの選択、用紙のセットが終了したらコンピュータからデータを転送します。
メッセージディスプレイに“オンライン”が表示されていることを確認し、データを転送してください。表示されていない場合は、オンラインキーを押してください。

- データを転送する前に、コンピュータ側で本プリンタ対応のドライバを選択してください。プリンタドライバの選択を間違えると、期待どおりのプリント結果を得られないことがあります。
- メッセージディスプレイに“オンライン”が表示されていないと、データを転送してもプリンタはプリント動作を開始しません。

■プリント

プリント中は、オンラインキー／メニューキーのみ受け付けます。

コンピュータからデータが転送されてくると、操作パネル上のデータ受信表示が点灯し、その後プリントが始まります。
また、プリント中にメニューの設定を変更したい場合やプリントを中止したい場合は、「プリント中のメニュー設定」(→P.4-8)または「プリントを中止する」(→P.4-9)をご覧ください。

ご注意
ダストカバーが閉じていることを確認してください。ダストカバーが閉じていないと、プリンタはプリント動作を開始しません。
また、プリント中にダストカバーの開閉を行うと、画像の品質が低下する場合があります。

1 プリントを開始すると、メッセージディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

```
プ゜リントチュウ  ＋   KCMY
                       0：10
```

＋と＊の点滅は、受信したデータをプリンタの内部で処理し始めたことを表わします。

ご注意
インク残量表示が小文字の状態でプリントしていても、画像の濃度やサイズによっては途中でインク切れになることがあります。インク切れになった後も、プリント動作を続け、プリント後「－（横線）」表示になります。
（→メッセージ一覧と対処方法：P.8-3）

2 プリントが終了すると用紙が排紙されます。

カット紙……………メッセージディスプレイに‘ヨウシ　ヲ　トリノゾイテクダサイ’と表示されます。用紙の左右両端を持ち、軽く手前に引き抜きます。

ロール紙……………プリントが終了すると、「インク　カンソウジカン（インク乾燥時間）」メニューの設定に応じてインク乾燥時間モードに入り、メッセージディスプレイの上段に‘カンソウチュウ’と表示してインクが乾燥するのを待ちます。このとき、メッセージディスプレイの下段に乾燥時間の残りの時間が表示され、インク乾燥時間が終了すると自動で用紙はカットされます。
ただし、「オートカット」メニューを「イイエ」に設定している場合は、用紙はカットされずプリンタの動作は停止し、次のプリントができる状態になります。任意に用紙をカットしたい場合は、「プリント後、任意にロール紙をカットする」をご覧ください。
また、「オートカット」メニューを「カットライン」に設定している場合は、カットラインを引いた後インク乾燥時間モードに入り、インク乾燥時間が終了すると、次のプリントができる状態になります。

キャンセルキーを押すと、インク乾燥時間モードを途中で中止することができます。
また、ロール紙カットキーを押すとインク乾燥時間モードを中止して、用紙をカットすることができます。

4

●プリントが終了するまで、用紙を取り外さないでください。
●インクが乾燥するまでは、プリント面を触らないでください。
●プラテン上にインクが付着した場合には、水をよく絞った布で拭き、さらに乾拭きしてください。
●用紙がスタッカに入る際のインクかすれを防ぐため、光沢紙または光沢フィルムを使用してプリントする場合は、「オートカット」メニュー設定を「イイエ」にして1枚ずつプリントし、用紙がスタッカに入らないように手で誘導してください。

●プリント後、任意にロール紙をカットする

プリント後、任意にロール紙をカットしたい場合は、データを転送する前に「オートカット」メニューを「イイエ」に設定しておきます。

“オフライン”を表示させた後、下矢印キーを押して後端に余白をつくることができます。
また、下矢印キーで送り出された用紙は、上矢印キーを押して任意の位置まで戻すことができます。

1 オンラインキーを押して、メッセージディスプレイに“オフライン”を表示させます。

2 ロール紙カットキーを押します。

オートカットされる位置と同じところでカットされます。

●プリント中のメニュー設定

プリント中に設定変更／調整できるメニューについて説明します。
プリント中では、変更／調整できるメニューのみ表示されます。
各メニューについては、「メニューとパラメータの持つ機能」（→P.5-3）をご覧ください。

ご注意　プリント中にメニューの設定変更／調整を行う場合、プリンタの動作を停止させなくてはなりません。プリント動作を途中で止めると画像品質が低下することがあります。

●バージョン
現在のエンジンコントローラとイメージコントローラの、ファームウェアに関するバージョンが表示されます。
（→P.5-4）

●オートカット
ロール紙のカット方法について設定できます。
（→P.5-4）

●ヘッドクリーニング
設定後、すぐにヘッドクリーニングを開始します。
（→P.5-5）

●インジ　シュウハスウ（印字周波数）
印字周波数について設定できます。
このメニューは、カラーモードで高速モードを選択している場合やモノクロモードで標準モードまたは高速モードを選択している場合のみ表示されます。（→P.5-6）

●バンドスジ　マビキ（バンド筋低減）
バンド筋を目立たないようにします。
このメニューは、カラーモードで高速モードを選択している場合やモノクロモードで標準モードまたは高速モードを選択している場合のみ表示されます。（→P.5-6）

●インク　カンソウジカン（インク乾燥時間）
プリント終了後のインク乾燥時間について設定できます。
（→P.5-7）

●EOP タイマ（データ終了タイマー）
データに印字終了コマンド（EOPコマンド）がない場合、プリンタはプリント終了後もデータを待ち続けてプリントを終了しないということがあります。その場合、強制的にプリントを終了させるための時間を設定することができます。
（→P.5-8）

●ケイコクオン（警告音）
エラーが起きたときのブザーのON/OFFを設定できます。
（→P.5-8）

●バンドチョウセイ（バンド間調整）
用紙の送り量についての設定ができます。（→P.5-9）

プリント中のメニューの設定は、以下の手順で行ってください。

プリント中は、オンラインキー／メニューキーのみ受け付けます。

1 プリント中にメニューキーを押して、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。
キャリッジがホームポジションに戻りプリント動作が停止します。

ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ

2 上または下矢印キーを押していき、設定変更／調整したいメニューを表示させます。

3 右または左矢印キーを押して、パラメータを選択します。

4 設定が終了したら、オンラインキーを2回押します。
メッセージディスプレイに“プリントチュウ”が表示され、プリントを再開します。

●プリントを中止する

プリント中にプリントを中止する場合は、以下の手順にしたがってください。

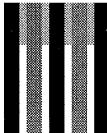
コンピュータ側でプリントの中止を行った後、プリンタ側でプリントを中止してください。

プリント中は、オンラインキー／メニューキーのみ受け付けます。

1 オンラインキーを押して、メッセージディスプレイに“ポーズ”を表示させます。
キャリッジがホームポジションに戻りプリント動作が停止します。

2 キャンセルキーを押します。
カット紙の場合は排紙され、ロール紙の場合は自動でカットされます。

■プリント後の用紙の取り扱い

プリント終了後の用紙の取り扱いについては次のことに注意してください。

●濡れた手でプリント面を触るとインクがにじむ原因となるので触らないでください。

●インクが色あせたり変色したりするのを防ぐため、用紙は直射日光の当たらない場所に保管してください。

●湿度の低い場所に用紙を保管してください。

●残った用紙は湿気を避けるため、包装紙に戻し、直射日光の当たらない場所に保管してください。

●プリント後の用紙は必ずインクが乾燥していることを確認してから取り扱ってください。特に、プリント後の光沢紙や光沢フィルムは乾燥しにくいので、保管する場合は十分なインク乾燥時間を設けてください。インクが乾燥していないとインクが用紙の裏に付着したりプリント面に用紙が接着することがあるので注意してください。

●プリント後の用紙を巻いて保管する場合はプリント面を傷めるので、直径が7cm程度に緩く巻いてください。

第5章

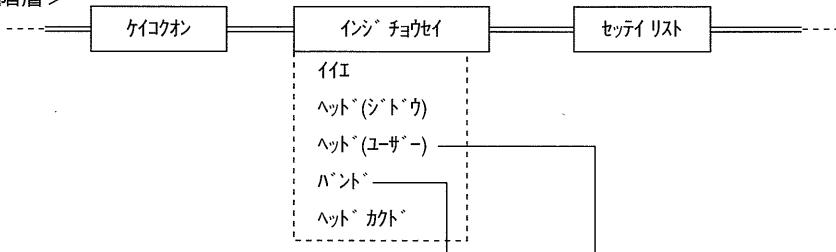
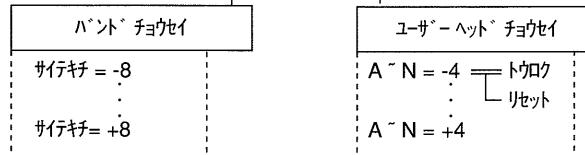
メニューとパラメータの詳細

この章では、メニューとパラメータの詳細およびプリンタを調整するメニューの設定方法について説明します。

メニューとパラメータの概要

本プリンタに接続しているコンピュータのソフトウェアの設定とは別に、お客様の使用状況に合わせてプリンタの操作パネル上で設定ができます。

■メニューの構成

本プリンタのメニュー構成は、全体がリングのようにひとつにつながっています。これらのメニューには、さらにその下に階層を持つものがあります。下図は、その階層を階層別に示したものです。
また、パラメータは、メニューを設定するための選択肢を示します。
各メニュー項目については、「メニューとパラメータの持つ機能」（→P.5-3）をご覧ください。

<例：「**ｲﾝｼﾞﾁｮｳｾｲ**（印字調整）」　メニューを階層別に示したもの>

：メニューの表示

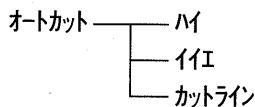
：パラメータの表示

メニューとパラメータの持つ機能

メニューでは、次の項目の設定を変更したりプリンタの状態を見ることができます。
各メニューの詳しい説明は、次ページ以降（P.5-4）をご覧ください。

メニュー	機　能	工場出荷時設定	参照ページ
バージョン	現在のエンジンコントローラとイメージコントローラのファームウェアに関するバージョンを表示します		P.5-4
オートカット	ロール紙のカット方法を設定します	ハイ	P.5-4
ヘッドクリーニング	カートリッジのヘッド部をクリーニングします	イイエ	P.5-5
カラー/モノクロモード	カラーモードまたはモノクロモードを設定します	カラー	P.5-5
インジシュウハスウ（印字周波数）	印字周波数を設定します	10.0kHz	P.5-6
バンドスジ　マビキ（バンド筋低減）	バンド筋が目立たないようにプリントします	イイエ	P.5-6
ヨウシ　シュルイ（用紙種類）	プリントする用紙の種類を設定します	コートシ（コート紙）	P.5-6
インク　カンソウジカン（インク乾燥時間）	プリント終了後のインク乾燥時間を設定します	イイエ	P.5-7
EOP タイマ（データ終了タイマー）	データに印字終了コマンドがない場合、強制的にプリントを終了させるための時間を設定します	30プン（30分）	P.5-8
ケイコクオン（警告音）	エラーが起きたときのブザーのON/OFFを設定します	オン	P.5-8
インジ　チョウセイ（印字調整）	調整用パターンをプリントしたり、プリンタ内部の調整をします	イイエ	P.5-9
セッテイ　リスト（設定リスト）	プリンタの設定状態を確認するためにプリントします	イイエ	P.5-19
Language(ゲンゴ)（言語設定）	メッセージディスプレイに表示する言語を設定します	カタカナ	P.5-20

各メニューとパラメータについて説明します。
2階層以上あるメニューには、それぞれの説明の前にメニューの持つ階層と階層に入るためのキー操作の流れを次のように示しています。

═══ … ▲0（上矢印キー）または 0▼（下矢印キー）

──── … ◀⊂⊃（左矢印キー）または ⊂⊃▶（右矢印キー）

■バージョン

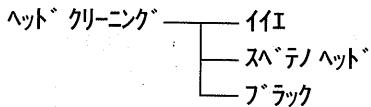
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ──── E:XX.XX I:XX.XX

現在のエンジンコントローラとイメージコントローラの、ファームウェアに関するバージョンが表示されます。

■オートカット

ロール紙を使用してプリントする場合、プリント終了後に用紙を自動的にカットさせるかどうかを設定します。

●ハイ
プリント終了後、プリントのサイズに合わせて自動的に用紙をカットします。

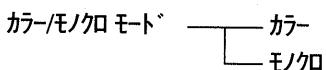
●イイエ
プリント終了後、用紙のカットは行わず、受信したデータを順次連続プリントします。
プリント終了後、任意にロール紙をカットしたい場合は、イイエに設定します。
（→プリント後、任意にロール紙をカットする：P.4-7）

●カットライン
プリント終了後、プリントのサイズに合わせてカットラインを示す点線をプリントします。
用紙をカットせずに複数の画像を一度にプリントするときなどに設定します。

■ヘッドクリーニング

ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ─┬─ ｲｲｴ
　　　　　　　　├─ ｽﾍﾞﾃﾉ ﾍｯﾄﾞ
　　　　　　　　└─ ﾌﾞﾗｯｸ

ヘッドクリーニングのしかたについては、「ヘッドクリーニング」（→：P.9-6）をご覧ください。

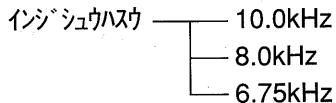
カートリッジのヘッド部をクリーニングします。

●イイエ
ヘッドクリーニングを行いません。

●スベテノ　ヘッド
全色のカートリッジのヘッドクリーニングを行います。

●ブラック
ブラックカートリッジのヘッドクリーニングを行います。

■カラー／モノクロ　モード

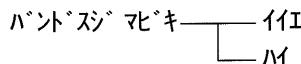
ｶﾗｰ/ﾓﾉｸﾛ ﾓｰﾄﾞ ─┬─ ｶﾗｰ
　　　　　　　　　└─ ﾓﾉｸﾛ

カラーモードまたはモノクロモードのどちらでプリントするかを設定します。

●カラー
カラーモードでプリントします。

●モノクロ
モノクロモードでプリントします。

■インジシュウハスウ（印字周波数）

```
ｲﾝｼﾞｼｭｳﾊｽｳ ──┬── 10.0kHz
             ├── 8.0kHz
             └── 6.75kHz
```

このメニューは、カラーモードで高速モード を選択している場合やモノクロモードで標準モードまたは高速モード を選択している場合のみ表示されます。

印字周波数を設定します。
縦縞模様のある画像をプリントしたとき、きれいにプリントされない場合に印字周波数を下げます。

- ●10.0kHz
- ●8.0kHz
- ●6.75kHz

印字周波数を下げると、プリント時間が少し長くなります。

■バンドスジ　マビキ（バンド筋低減）

```
ﾊﾞﾝﾄﾞｽｼﾞ ﾏﾋﾞｷ ──┬── ｲｲｴ
                └── ﾊｲ
```

このメニューは、カラーモードで高速モード を選択している場合やモノクロモードで標準モードまたは高速モード を選択している場合のみ表示されます。

用紙の種類によってはインクがにじんでバンド間に黒スジが発生してきれいにプリントされないことがあります。
これを防ぐため、バンド境目付近の濃度を薄めてプリントすることによりバンド間の黒スジを低減させます。

- ●イイエ
- ●ハイ

■ヨウシ　シュルイ（用紙種類）

```
ﾖｳｼ ｼｭﾙｲ ──┬── ｺｰﾄｼ
           ├── ﾌﾂｳｼ
           └── ｺｳﾀｸｼ/ﾌｨﾙﾑ
```

プリントする用紙の種類を設定します。

ヨウシ　シュルイ(用紙種類) メニューの設定は確実に行ってください。
設定を間違えると、画像の品質が低下することがあります。

●コートシ(コート紙)
コート紙にプリントするときに選択します。

●フツウシ(普通紙)
普通紙にプリントするときに選択します。

●コウタクシ／フィルム (光沢紙／フィルム)
光沢紙、半光沢紙、光沢フィルム、バックプリントフィルムにプリントするときに選択します。

■インク　カンソウジカン（インク乾燥時間）

インク乾燥時間モード中はメッセージディスプレイに乾燥時間の残り時間が表示されます。
また、キャンセルキーを押すと、インク乾燥時間モードを途中で中止することができ、ロール紙カットキーを押すとインク乾燥時間モードを中止して、用紙をカットすることができます。

プリント終了後のインク乾燥時間を設定します。
光沢フィルムなどのインクが乾燥しにくい用紙を使用した場合や湿度の高い環境で使用した場合にはインクを乾燥させる時間が必要です。ロール紙を使用してプリントした場合、用紙がカットされてスタッカに入る前に、プリンタはインク乾燥時間モードに入り乾燥時間を設けます。
インク乾燥時間の目安は下表を参照してください。

用紙の種類	乾燥時間（分）
普通紙	0
光沢紙	30
半光沢紙	20
厚口コート紙	0
光沢フィルム	20
バックプリントフィルム	10

ご注意　高湿な環境では上記のような乾燥時間を設けてもインクが乾燥しない場合があります。また、用紙がスタッカに入るときに、インクがかすれることがあります。

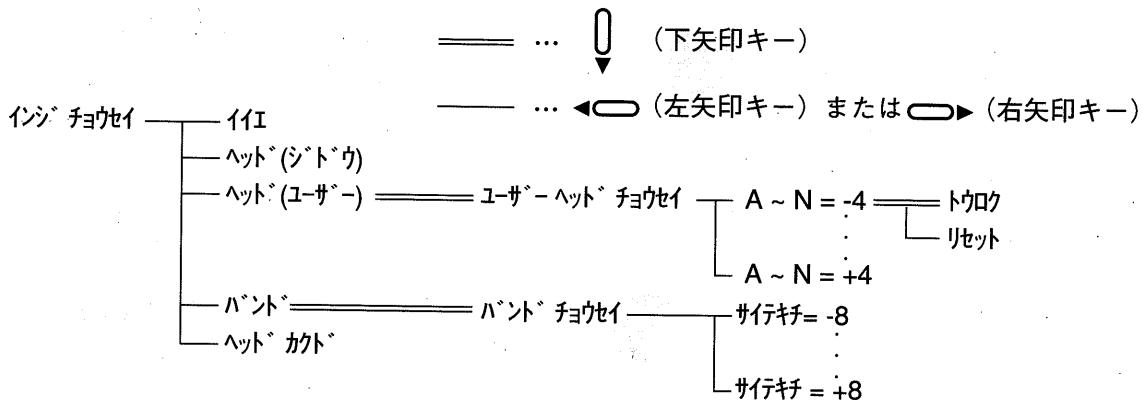
●イイエ
●10　プン（10分）
●20　プン（20分）
●30　プン（30分）
●40　プン（40分）

■EOP タイマ（データ終了タイマー）

データに印字終了コマンド (EOPコマンド) がない場合、コンピュータからのデータ転送が終了しているにも関わらず、プリンタはデータを待ち続けてプリントを終了しないということがあります。
これを防ぐため、強制的にプリントを終了させるまでの時間を設定します。

●30 プン (30分)
●10 プン (10分)
●5 フン (5分)
●2 フン (2分)
●1 プン (1分)
●30 ビョウ (30秒)
●10 ビョウ (10秒)
●60 プン (60分)

■ケイコクオン (警告音)

ｹｲｺｸｵﾝ ── ｵﾝ
　　　　└ ｵﾌ

エラーが起きると、メッセージディスプレイにはエラーの状態を示すメッセージが表示されます。
（→メッセージ一覧と対処方法：P.8-3）

エラーが起きたときのブザーのON/OFFを設定します。

●オン
エラーが起きたときブザーが鳴ります。

●オフ
エラーが起きてもブザーは鳴りません。

■インジ　チョウセイ（印字調整）

プリントする前にあらかじめすべての調整を行っておくと、最高のプリントを得ることができます。
（→最高のプリントを得たいとき：P.5-18）

調整用パターンをプリントしたり、プリンタ内部の調整をします。

●イイエ
調整用パターンをプリントしません。

●ヘッド（ジドウ）（自動ヘッド調整）
キャリッジの水平移動に対して、ブラックカートリッジを基準に各色のカートリッジの軸合わせをプリンタが自動的に調整します。
カートリッジを取り付け／交換したとき、またプリントした画像を見て軸が合っていないときに設定します。
（→自動ヘッド調整のしかた：P.5-10）

●ヘッド（ユーザー）（手動ヘッド調整）
自動ヘッド調整を行っても、プリント結果が改善されないときに設定します。
（→手動ヘッド調整のしかた：P.5-11）

●バンド（バンド間調整）
用紙の搬送方向に対して、定期的に横方向に白いスジや黒いスジが出るときに用紙の送り量を調整します。
（→バンド間調整のしかた：P.5-13）

●ヘッド　カクド（カートリッジの角度調整）
プリントした画像を見て、縦の罫線がずれているときに調整用パターンをプリントします。
（→カートリッジの角度調整のしかた：P.5-15）

●自動ヘッド調整のしかた

カートリッジの高さを◎の位置（右）にセットしないと、自動ヘッド調整を行うことはできません。調整を行う前に、必ずカートリッジ高さ調整レバーの位置を確認してください。
（→カートリッジの高さ調節：P.8-20）

1 A3サイズ縦送り以上の普通紙をセットします。

A3サイズ以下の用紙をセットしても、自動ヘッド調整を行うことはできません。

2 メニューキーを押して、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

ハ゛ージ゛ョン

3 上または下矢印キーを押して、「インジ　チョウセイ（印字調整）」メニューを表示させます。

インシ゛　チョウセイ
イイエ

4 右または左矢印キーを押して、「ヘッド（ジドウ）（自動ヘッド調整）」を表示させます。

インシ゛　チョウセイ
ヘット゛(シ゛ト゛ウ)

5 オンラインキーを押します。

メッセージディスプレイには‘チョウセイチュウ..’が表示され、自動ヘッド調整が始まります。

自動ヘッド調整を開始したら、途中で調整を中止することはできません。

下矢印キーやメニューキーを押して実行させることもできますが、その場合自動で“オンライン”に切り替わりプリントされます。プリントが終了すると、元のメニュー設定画面に戻ります。
上矢印キーを押した場合は、実行されず1つ前のメニューに戻ります。

●手動ヘッド調整のしかた

1 A3サイズ以上の用紙をセットします。

A3サイズ以下の用紙をセットしても、手動ヘッド調整を行うことはできません。

2 メニューキーを押して、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
ハ゛ーシ゛ョン
```

3 上または下矢印キーを押して、「インジ　チョウセイ（印字調整）」メニューを表示させます。

```
インシ゛　チョウセイ
　　　イイエ
```

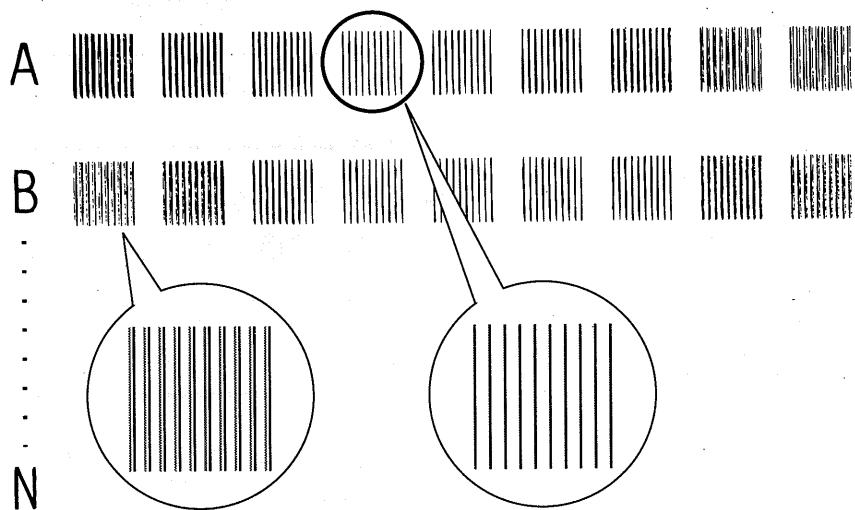
4 右または左矢印キーを押して、「ヘッド（ユーザー）（手動ヘッド調整）」を表示させます。

```
インシ゛　チョウセイ
　　ヘット゛(ユーサ゛ー)
```

5 オンラインキーを押します。

メッセージディスプレイには‘プリントチュウ..’が表示され、手動ヘッド調整用パターンのプリントが始まります。

手動ヘッド調整用パターンのプリントを開始したら、途中でプリントを中止することはできません。

下矢印キーやメニューキーを押して実行させることもできますが、その場合自動で“オンライン”に切り替わりプリントされます。プリントが終了すると、元のメニュー設定画面に戻ります。
上矢印キーを押した場合は、実行されず1つ前のメニューに戻ります。

6 プリントが終わると、調整値入力画面になります。

ユーザ゛ー　ヘット゛　チョウセイ
A　=　0

（調整用パターンの例）

7 Aの−4から＋4まですべてのパターンを見て、線が重なって一番細く見えるものを選択し、右または左矢印キーを押して数値を入力します。

下矢印キーを押していくとA、B、C･･･、Nと調整値入力画面が順に表示されます。B～Nまで、Aと同様に数値を入力します。

・入力した数値は、下矢印キーで次の入力画面を表示させることによって記憶されます。
記憶した数値が、基準値の0として設定されます。
・プリンタがモノクロモードに設定されているときは、A～Fのみ表示されます。

ユーザ゛ー　ヘット゛　チョウセイ
A　=　−1

8 下矢印キーを押していき、メッセージディスプレイに「トウロク（登録）」を表示させます。

「トウロク」を表示させた後、右または左矢印キーを押すと「リセット」が表示されます。
このとき、オンラインキーまたはメニューキーを押すと、入力した数値は取り消され、前の数値に戻ります。

9 オンラインキーまたはメニューキーを押します。

入力した数値が設定され、プリンタ内部で調整されます。

●バンド間調整のしかた

1 A3サイズ縦送り以上の用紙をセットします。

A3サイズ以下の用紙をセットしても、バンド間調整を行うことはできません。

2 メニューキーを押して、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
ハ゛ーシ゛ョン
```

3 上または下矢印キーを押して、「インジ　チョウセイ（印字調整）」メニューを表示させます。

```
インシ゛　チョウセイ
　　　イイエ
```

4 右または左矢印キーを押して、「バンド（バンド間調整）」を表示させます。

```
インシ゛　チョウセイ
　　　ハ゛ント゛
```

5 オンラインキーを押します。

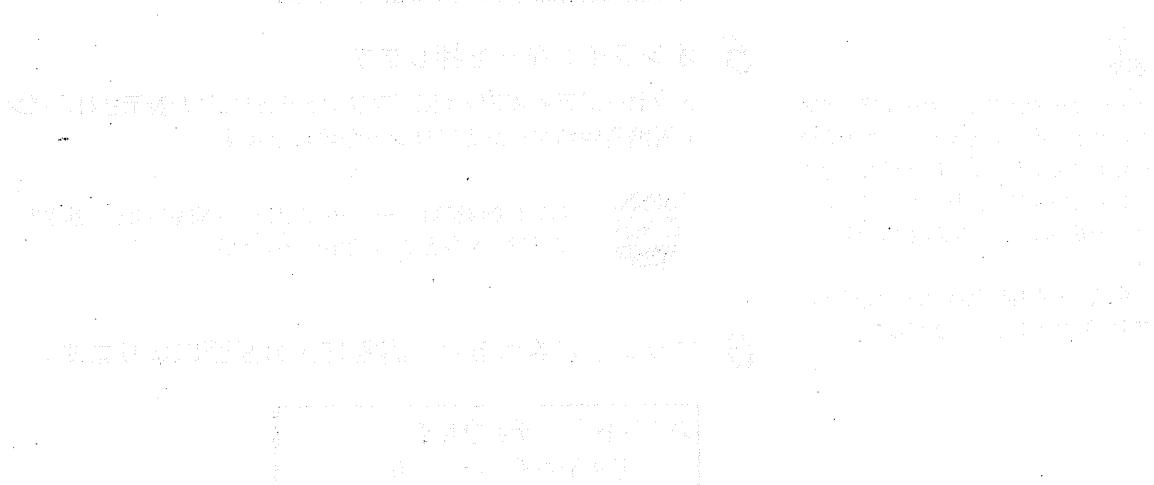
メッセージディスプレイに‘プリントチュウ..’が表示され、バンド間調整用パターンのプリントが始まります。

バンド間調整用パターンのプリントを開始したら、途中でプリントを中止することはできません。

下矢印キーやメニューキーを押して実行させせることもできますが、その場合自動で“オンライン”に切り替わりプリントされます。プリントが終了すると、元のメニュー設定画面に戻ります。
上矢印キーを押した場合は、実行されず1つ前のメニューに戻ります。

6 プリントが終わると、調整値入力画面になります。

```
ハ゛ント゛　チョウセイ
　サイテキチ　＝　　0
```

（調整用パターンの例）

7 -8から+8まですべてのパターンを見て、中央に白スジや黒スジの入っていない一番きれいなものを選択し、右または左矢印キーを押して数値を入力します。

```
ハ゛ント゛　チョウセイ
　サイテキチ　＝　＋1
```

8 オンラインキーまたはメニューキーを押します。

入力した数値が設定され、プリンタ内部で調整されます。

●カートリッジの角度調整のしかた

1 用紙をセットします。

2 メニューキーを押して、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
ハ゛ージ゛ョン
```

3 上または下矢印キーを押して、「インジ　チョウセイ（印字調整）」メニューを表示させます。

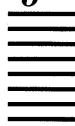
```
インシ゛　チョウセイ
　　　イイエ
```

4 右または左矢印キーを押して、「ヘッド　カクド（カートリッジの角度調整）」を表示させます。

```
インシ゛　チョウセイ
　　ヘット゛　カクト゛
```

下矢印キーやメニューキーを押して実行させることもできますが、その場合自動でオンラインに切り替わりプリントされます。プリントが終了すると、元のメニュー設定画面に戻ります。上矢印キーを押した場合は、実行されず1つ前のメニューに戻ります。

5 オンラインキーを押します。

メッセージディスプレイに‘プリントチュウ..’が表示され、カートリッジの角度調整用パターンのプリントが始まります。

カートリッジ角度調整用パターンのプリントを開始したら、途中でプリントを中止することはできません。

6 パターンを見て、どのカラーの縦罫線が傾いているかを確認します。

7 メッセージディスプレイに“オフライン”または“ポーズ”のいずれかのメッセージが表示されていることを確認します。

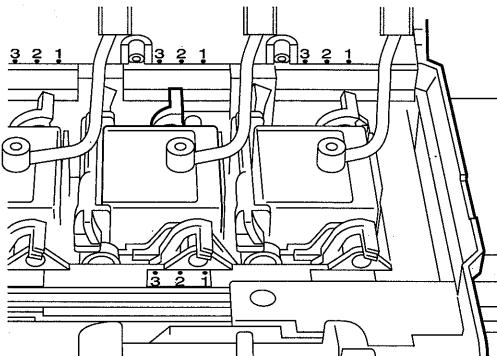
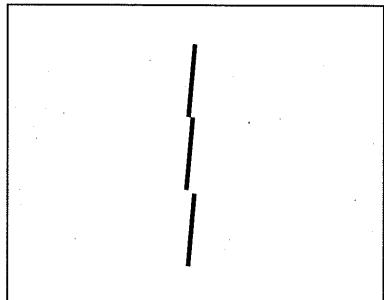
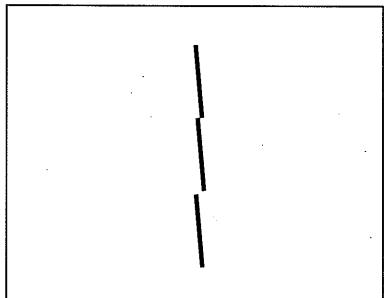
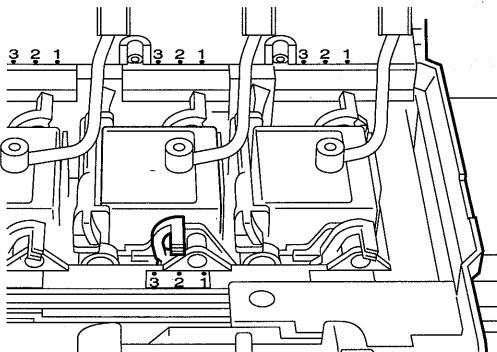
表示されていない場合は、オンラインキーを押すと表示させることができます。

ダストカバーが開いていると、キャリッジは移動しません。
また、キャリッジが移動中にダストカバーを開けると、メッセージディスプレイに'カバー　ガ　アイテイマス'と表示されます。すぐにダストカバーを閉めてください。

8 右または左矢印キーを押して、キャリッジをプラテン上に移動させます。

9 キャリッジが停止すると、メッセージディスプレイには次のメッセージが表示されます。

[ﾍｯﾄﾞ　ﾄ　ﾎﾞﾄﾙ　/　ｶ

[ﾍｯﾄﾞ ﾄ ﾎﾞﾄﾙ / ｶｯﾀｰ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ]

10 メッセージを確認した後、ダストカバーを開けます。

11 縦罫線が図のような角度で傾いている場合は、傾いているカラーの奥側のカートリッジ角度調整レバーをポジション2に動かします。

レバーをポジションに動かしたことを、カートリッジのラベルにチェックしておくと便利です。

12 縦罫線が図のような角度で傾いている場合は、傾いているカラーの前側のカートリッジ角度調整レバーをポジション2に動かします。

レバーをポジションに動かしたことを、カートリッジのラベルにチェックしておくと便利です。

前側と奥側のカートリッジ角度調整レバーのどちらか一方は、必ずポジション1（標準位置）にしておいてください。両方のレバーを同時に動かさないでください。

13 ダストカバーを閉めます。

キャリッジが右側ホームポジションに戻ります。

カートリッジのヘッドが乾燥するのを防ぐため、カートリッジの角度を調整した後は、すぐにダストカバーを閉めてください。

14 再度カートリッジの角度調整用パターンをプリントし、縦罫線の傾きが直ったかどうか確認します。

直らなかった場合は、カートリッジ角度調整レバーをポジション3に動かして、もう一度パターンをプリントしてください。

調整レバーをポジション3からポジション2に戻したい場合、またはポジション2からポジション1（標準位置）に戻したい場合は、カートリッジ開閉ツマミを下に押しながら回してカートリッジの取り付け部をいったん解除し、ツマミを元に戻します。その後、調整レバーを動かしてください。

15 自動ヘッド調整を行います。
（→自動ヘッド調整のしかた：P.5-10）

●最高のプリントを得たいとき

プリントする前にあらかじめ以下の順番で調整を行うと、最高のプリントを得ることができます。

1. カートリッジの角度調整
2. 自動ヘッド調整
3. 手動ヘッド調整
4. バンド間調整

■セッテイ　リスト（設定リスト）

セッテイ リスト ─┬─ イイエ
　　　　　　　　└─ ハイ

プリンタの設定状態を確認するためにプリントします。
メニューの設定状態を保持することができるので便利です。
また、故障かなと思ったとき、設定リストの内容を担当サービスに連絡することができます。

●イイエ
設定リストをプリントしません。

●ハイ
設定リストをプリントします。

設定リストをプリントするときは、カートリッジを4色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）取り付けてください。

●設定リストのプリントのしかた

1 用紙をセットします。

2 メニューキーを押して、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
ハ゛ーシ゛ョン
```

3 上または下矢印キーを押して、「セッテイ リスト (設定リスト)」メニューを表示させます。

```
セッテイ　リスト
　　　　　イイエ
```

4 右または左矢印キーを押して、「ハイ」を表示させます。

```
セッテイ　リスト
　　　　　ハイ
```

5 オンラインキーを押します。

メッセージディスプレイに‘プリントチュウ..’が表示され、設定リストのプリントが始まります。
（→設定リストの例：付録-15）

設定リストのプリントを開始したら、途中でプリントを中止することはできません。

■Language(ゲンゴ)（言語設定）

Languagre(ｹﾞﾝｺﾞ) ─┬─ ｶﾀｶﾅ
　　　　　　　　　└─ English

メッセージディスプレイに表示する言語を設定します。

●カタカナ
メッセージディスプレイにカタカナで表示します。

●English
メッセージディスプレイに英語で表示します。

第6章

用紙の選択と取り扱い

この章では、本プリンタで使用できる用紙の種類とサイズ、用紙の取り扱い方法、保管方法について説明します。

用紙の種類とサイズ

本プリンタで使用できる用紙の種類やサイズについて説明します。
用紙についての詳細は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
本プリンタで推奨している用紙については、「消耗品」(→P.9-14)をご覧ください。

■用紙の種類

**本プリンタで使用できる用紙は普通紙、光沢紙、半光沢紙、厚口コート紙、光沢フィルム、バックプリントフィルムです。
通常は普通紙で十分きれいなプリントを得ることができますが、プリントの用途に合わせて使用する用紙をお選びください。**

● 普通紙
画像密度の低いプリントや、テストプリントを行うのに適しています。
ただし、温度や湿度に対する影響を受けやすく、他の用紙に比べて安定性は劣ります。

● 光沢紙
写真の印画紙のような光沢のある用紙です。グラフィックやフルカラーのイメージ画像が、写真のように高品質のプリントに仕上がります。

● 半光沢紙
反射をおさえた白色光沢紙で、グラフィックのプリントに適しています。
反射をおさえることにより、ソフトで落ち着いた表現が可能です。

● 厚口コート紙
表面が白くコーティングされている用紙です。POPアート、グラフィックやフルカラーのイメージ画像を、鮮明にプリントします。

● 光沢フィルム
写真の印画紙のような光沢面のあるフィルムで、光沢紙よりもさらにつやがあります。グラフィックやフルカラーのイメージ画像が、はっきりと鮮やかなプリントに仕上がります。室内における耐久性にも優れています。

● バックプリントフィルム
電飾看板用の白い半透明フィルムです。表面が写真のような、美しい光沢を持ったカラープリントに仕上がります。

■用紙のサイズ

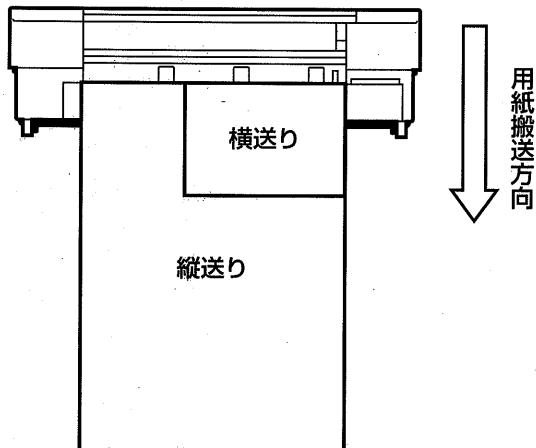
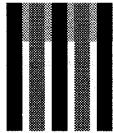
以下のサイズの用紙は使用することができます。
幅　：210mm～914mm
長さ：210mm～1,250mm

本プリンタで使用できる定形サイズの用紙は以下の通りです。

〈カット紙〉

	用紙サイズ
ISO	A4, A3, A2, A1, A0*
ISO OVER	A4, A3, A2, A1, A1L*,A0*
JIS	B4, B3, B2, B1*
ANSI	8.5″X11″, 11″X17″, 17″X22″, 22″X34″, 34″X44″ *
Archtectual	9″X12″, 12″X18″, 18″X24″, 24″X36″, 30″X42″ *, 36″X48″ *

＊は、縦送りのみのプリントが可能です。

使用できるロール紙の最大幅は、914mmです。
プリントできる長さは、1回のプリントにつき最大18mまでです。

〈ロール紙〉

	用紙サイズ
ISO	A1, A0
Archtectual	24″, 36″

ロール紙は、外径が100mm以下、2 inch（50.8mm）芯のものをご使用ください。

用紙の縦送り、横送りはそれぞれ下図の通りです。

用紙の取り扱いと保管方法

用紙を取り扱う際の注意と用紙の保管方法について説明します。高品質の画像を得るためにも用紙を取り扱う際には十分注意してください。

■用紙の取り扱い上の注意

弊社推奨のロール紙は、外側がプリントする面になっています。

用紙を取り扱う際には次のことに注意してください。

- 用紙はプリントする面を下にして取り付けてください。コート紙はコーティングされている面、普通紙は包装紙の開封面がプリント面です。
- 普通紙がカールしている場合は紙づまりの原因となりますのでカールを上向きにしてプリンタに取り付けてください。
- 用紙を取り扱う際は用紙の端を持つようにしてください。プリントされる部分に皮膚の脂が付くとインクののりが悪くなる場合があります。特にフィルムを取り扱う際は十分注意してください。
- **プリント後の用紙は、必ずインクが乾燥していることを確認してから取り扱ってください。**
- **光沢紙は用紙の特性上インクが乾燥しにくいので、湿度70%以下の環境で使用してください。**

■用紙の保管方法

用紙を保管する際には次のことに注意してください。

- いったん開封した用紙は、直射日光を避けるため、包装紙にしっかり包んで横にして保管してください。
- ロール紙は、立てかけると用紙の端が傷むため、必ず横にして保管してください。
- プリント後の用紙は、インクが色あせたり変色したりするのを防ぐため、必要以上に長時間直射日光にさらさないようにしてください。
- プリント後の光沢フィルムなどを用紙に挟んで保管する場合、インクが完全に乾燥していないとプリント面に用紙が接着することがあるので注意してください。

用紙は温度や湿度が上昇すると、強度が低下します。また、温度や湿度の変化に伴い、絶対寸法も変わります。これらは、プリント中の用紙のズレ、シワの発生、破れなどの原因になります。

第７章

用紙のセット

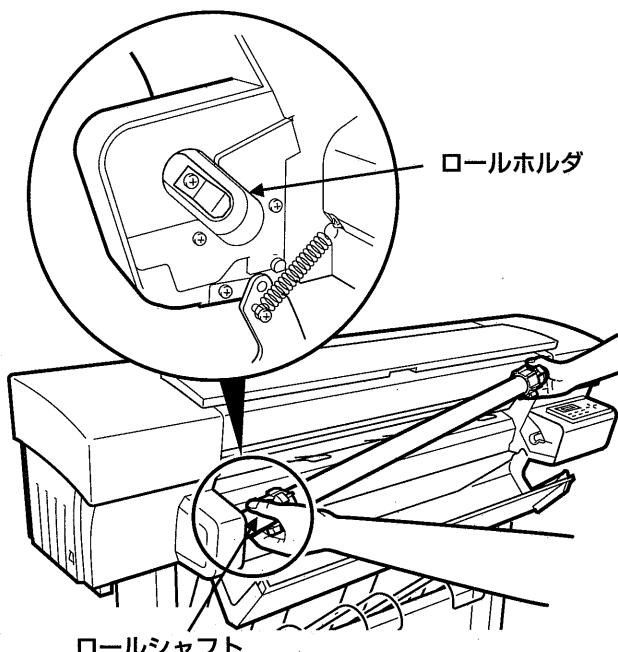
この章では、ロール紙やカット紙のセット方法、ロール紙の交換目安および交換方法について説明します。

ロール紙のセット

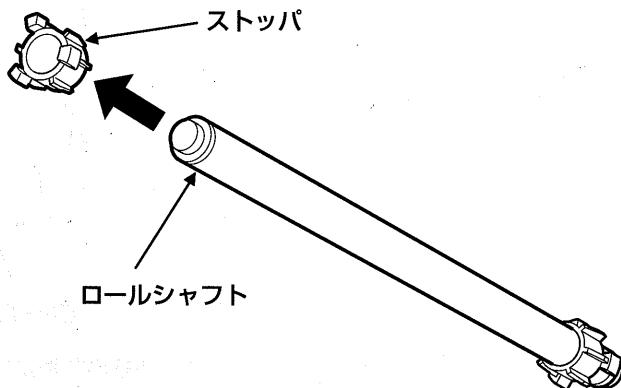
ロール紙のセット方法について説明します。

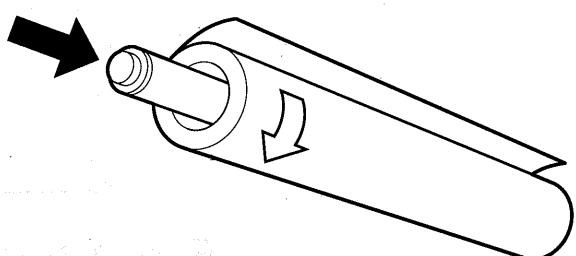
●高品質の画像を得るため、弊社推奨の用紙をご使用ください。
●折れ曲がりやしわのある用紙は、画像不良の原因となりますので使用しないでください。
●ロール紙の芯と用紙の端がずれていないことを確認してください。
●プラテン上にインクが付着している場合には、水をよく絞った布で拭き、さらに乾拭きした後に用紙をセットしてください。

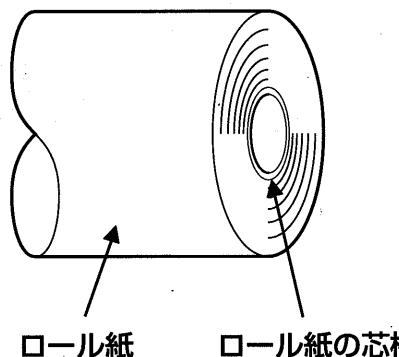
■ロール紙のセット方法

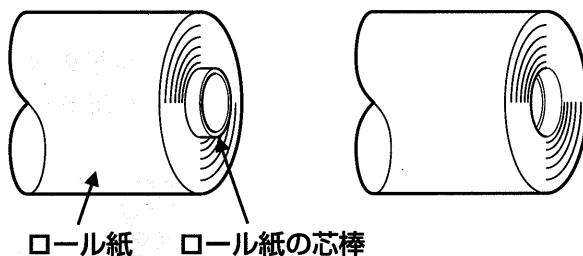
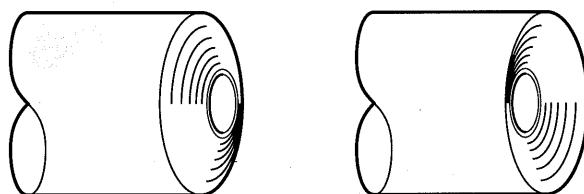
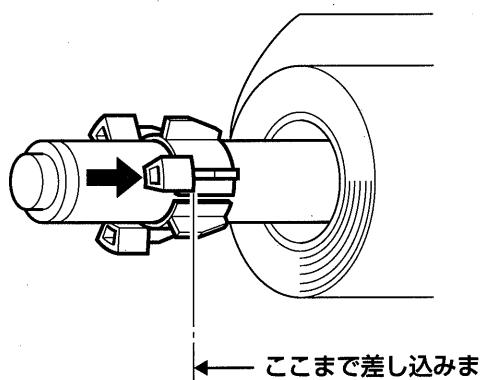
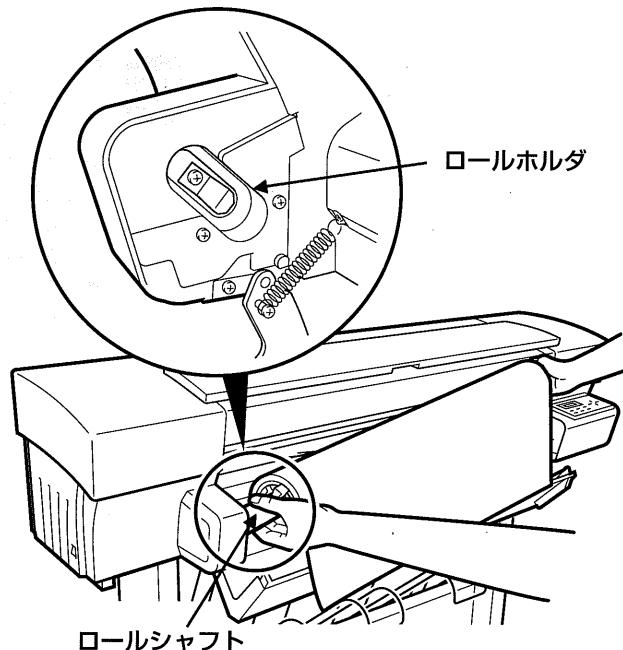
以下の手順にしたがってロール紙をセットしてください。

ロール紙の種類、サイズについては、「用紙の種類とサイズ」（→P.6-2）をご覧ください。

1 ロール紙カバーを開けます。

2 ロールホルダからロールシャフトを取り外します。

プリンタの右側から取り外してください。

ロールシャフト右側のストッパは固定されています。

3 ロールシャフトの左側ストッパを外します。

4 ロール紙の巻き方向に注意して、図のように新しいロール紙をロールシャフトに差し込みます。

ご注意

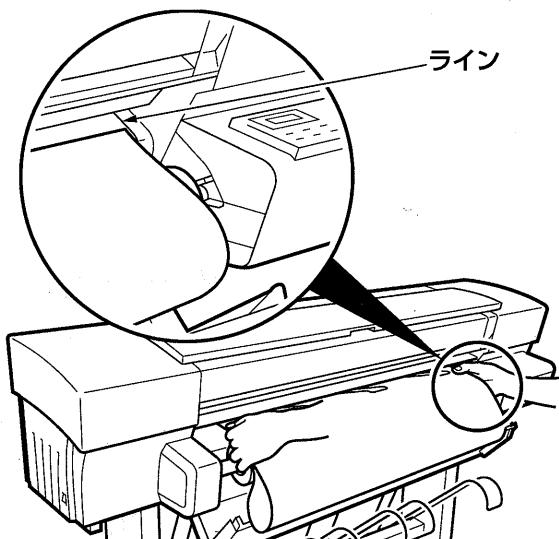
- ロール紙は、内径が2inch(50.8mm)のものをご使用ください。
- ロールシャフトに固定されているストッパを右側にしてロール紙に差し込んでください。

このとき、ロール紙の断面がきちんと整っていることを確認してください。

<きちんと断面が整っている状態>

<ロール紙の芯棒がロール紙の断面からずれている>

<ロール紙の巻き取りが乱れている>

5 ロールシャフトに固定されている右側のストッパにロール紙が突き当たるまで差し込んだ後、手順3で外したストッパで図のように固定します。

6 ロールシャフトに固定されているストッパを右側にしてロールホルダに取り付けます。

プリンタの左側から取り付けてください。

7 ロール紙／カット紙選択キーを押して、ロール紙を選択します。

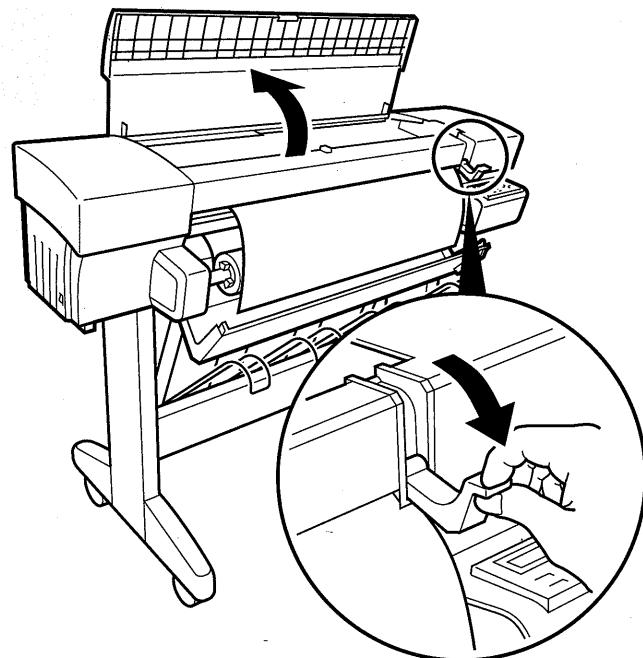
ロール紙表示が点灯し、メッセージディスプレイに‘ヨウシ　ヲ　セット　シテクダサイ’が表示されます。

ダストカバーが閉じていることを確認してください。ダストカバーが開いていると、用紙を挿入することができません。

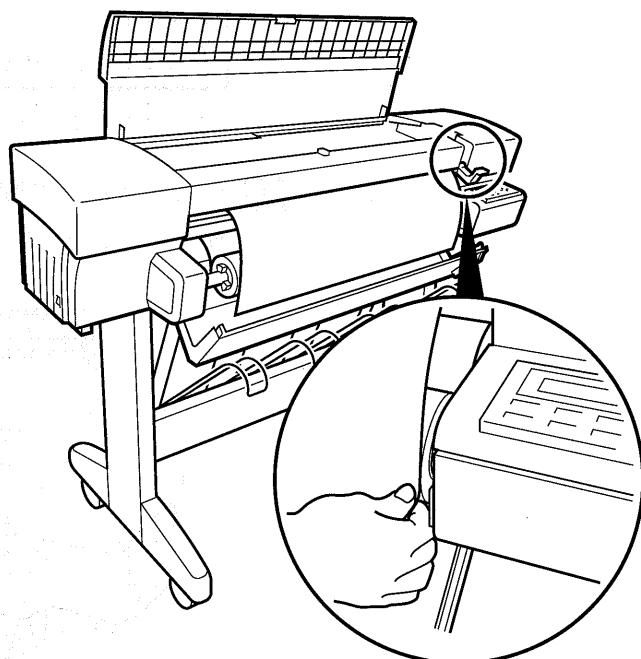
8 用紙の左右両端を持ち、下段にある右の縦のラインに合わせて用紙の先端が突き当たるまでまっすぐに挿入します。

ご注意

- プリントする面に手の油分などが付くと、インクののりが悪くなる場合があります。プリントする面はなるべく触らないようにご注意ください。
- 用紙を挿入するとき、ロール紙の左右断面が整っていることを確認してください。
- 用紙を挿入する時にたるみがでたら、プリントする面に触れないよう巻き戻しを行ってください。
- 用紙が左側に寄っていると、左端部分のプリント画像が欠けることがあります。用紙を挿入する際は必ず、用紙の右端をラインに合わせて挿入してください。

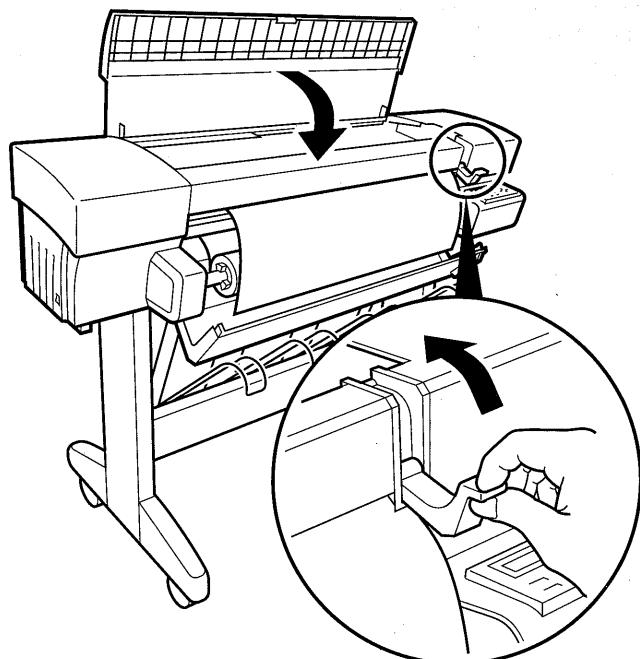
その後、用紙は引き込まれ、メッセージディスプレイに‘ロードチュウ..’が表示されます。

用紙は、プリントする面（外側）を下にしてセットします。

9 用紙は手前に送り出され停止し、メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

オフライン [ヨウシ　ヲ　マッスク゛ニシテク

[ヨウシ ヲ マッスク゛ニシテクタ゛サイ]

10 ダストカバーを開けます。

搬送部解除レバーを矢印の方向に下げて解除します。

11 送り出された用紙の左右両端をロール紙の両端に合わせます。

12 搬送部解除レバーを元に戻し、ダストカバーを閉めます。

メッセージディスプレイに'ロードチュウ..'が表示されます。

ダストカバーを必ず閉めてください。ダストカバーが開いていると用紙の搬送が行われません。

ロール紙の先端は自動で約8cmカットされます。

13 用紙の先端が自動的にカットされ、メッセージディスプレイに"オンライン"が表示されます。

ただし、用紙がまっすぐに送られていない場合は、先端はカットされず、プリントできる状態になりません。

メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

```
オフライン
 [ヨウシ ヲ マッスク゛ニシテク
```

[ヨウシ ヲ マッスク゛ニシテクタ゛サイ]

手順5に戻り、再度ロール紙の両端を合わせてください。

メッセージディスプレイに“オフライン”を表示させた後、下矢印キーを押すと用紙が送り出されます。ロール紙の先端を整えたいときは、用紙を送り出した後ロール紙カットキーを押してください。また、ロール紙カットキーを押さずにプリントすると、先端に余白を作ることができます。
下矢印キーで送り出された用紙は、上矢印キーを押して任意の位置まで戻すことができます。

14 ロール紙カバーを閉じます。

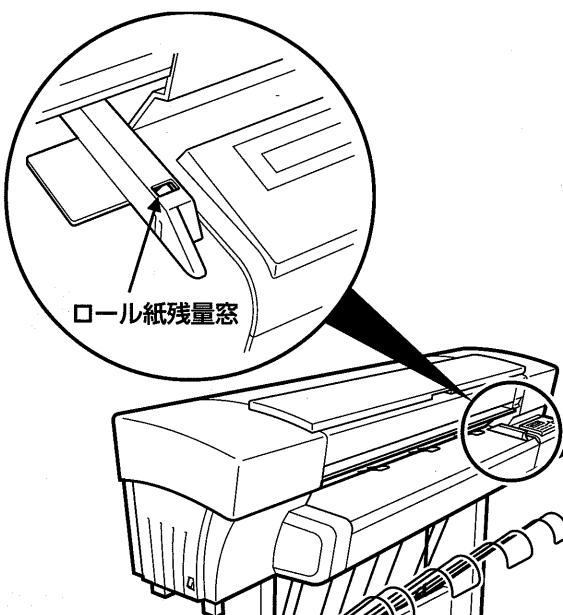
これでロール紙のセットが終了します。

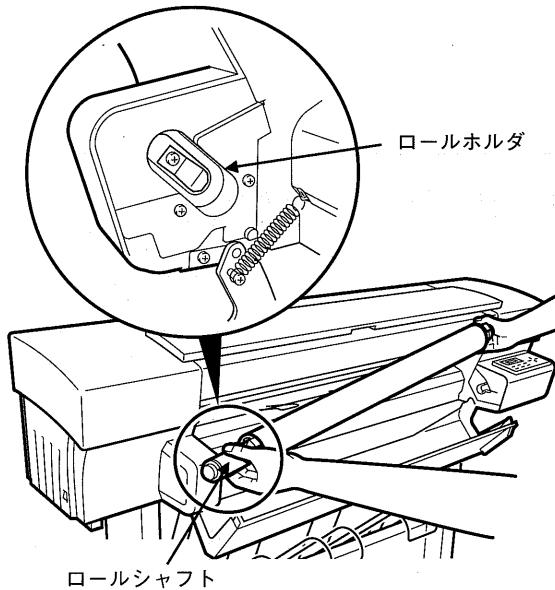
プリントの途中でロール紙がなくなると、画像が欠けてしまいます。長時間プリンタから離れてプリントを続ける場合は、ロール紙残量窓を確認してください。
（→ロール紙の交換の目安：P.7-11）

ロール紙のセット終了後、カット紙に切り替えたい場合は、ロール紙／カット紙選択キーを押してください。
このとき、ロール紙を取り外す必要はありません。

ロール紙の交換

ロール紙がなくなったときは、以下の手順にしたがってロール紙を取り付けてください。また、違うサイズや種類のロール紙に交換するときも以下の手順で行ってください。

ロール紙は外側になっている面がプリントする面です。ロール紙をセットするときは、なるべくプリント面に触れないようにしてください。プリントされる部分に手の油分などが付くと、インクののりが悪くなることがあります。

■ロール紙の交換の目安

本プリンタにはロール紙残量窓が付いており、ロール紙の残量を見ることができます。
ロール紙の残量によって、ロール紙残量窓が次のように変化するので、プリントするときや交換するときの目安としてください。

ロール紙が十分にあります。
↓

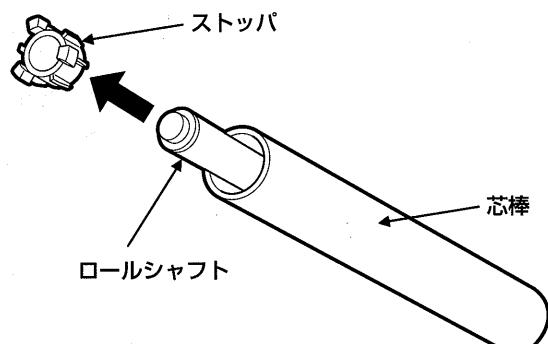
ロール紙が減ってきています。
↓
ロール紙が残り少なくなってきています。

■ロール紙の交換方法

1 ロール紙カバーを開けます。

2 ロールホルダからロールシャフトを取り外します。

プリンタの右側から取り外してください。

・ロールシャフト右側のストッパは固定されています。
・用紙の保管方法については、「用紙の取り扱いと保管方法」（→P.6-4）をご覧ください。

3 ロールシャフトの左側ストッパを外し、ロール紙の芯棒、または交換するロール紙を抜きます。

ご注意

●ロール紙を抜くときは、ロール紙の巻が乱れないように注意してください。
●プリンタから取り外したロール紙は、湿気を避けるため梱包紙にしっかりと包み横にして保管してください。用紙が湿気を含むと、高品質の画像が得られないことがあります。

4 新しいロール紙をセットします。
（→ロール紙のセット方法：P.7-2）

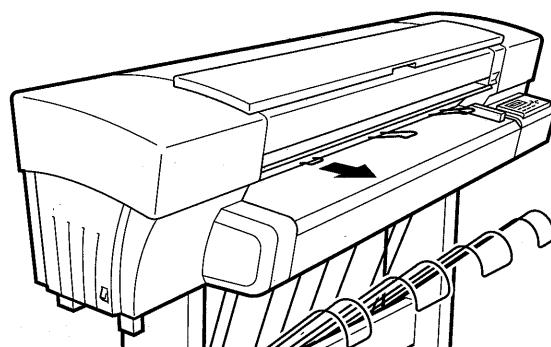
カット紙のセット

カット紙のセット方法について説明します。
用紙のセットは、操作パネルで全てのメニューを設定した後に行うのが効率的です。

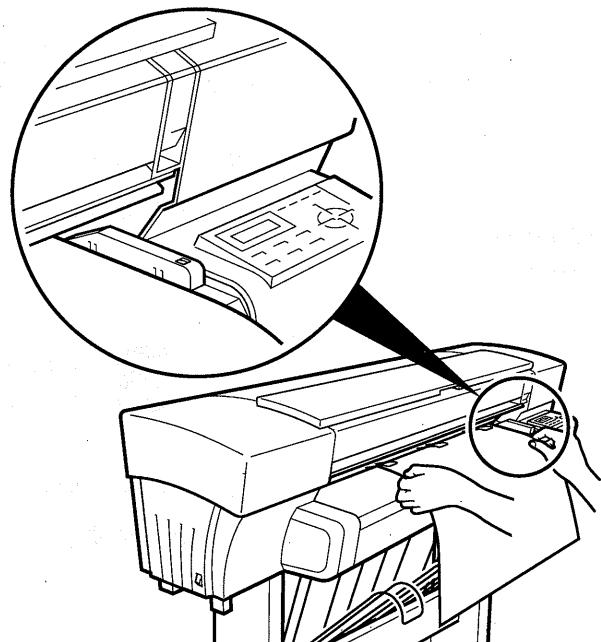
- 高品質の画像を得るため、弊社推奨の用紙をご使用ください。
- 折れ曲がりやしわのある用紙は、画像不良の原因となりますので使用しないでください。
- カールした用紙は、カールを直してからご使用ください。
- 長い用紙をセットするときは、ホコリ等の付着防止のため、用紙を床につけないようにしてください。
- プラテン上にインクが付着している場合には、水をよく絞った布で拭き、さらに乾拭きした後に用紙をセットしてください。

■カット紙のセット方法

ロール紙カバーが閉じていることを確認した後、以下の手順にしたがってカット紙をセットしてください。

ロール紙がセットされていても、カット紙を使用することができます。

1 ロール紙／カット紙選択キーを押して、カット紙を選択します。

カット紙表示が点灯し、メッセージディスプレイに‘ヨウシ　ヲ　セットシテクダサイ’が表示されます。

ダストカバーが閉じていることを確認してください。ダストカバーが開いていると、用紙を挿入することができません。

2 使用する用紙の幅に応じて、排紙ガイドを手前に引き出します。

3 用紙の左右両端を持ち、用紙ガイドに沿わせて用紙の先端が突き当たるまでまっすぐに挿入します。その後、用紙は引き込まれ、メッセージディスプレイに'ロードチュウ..'が表示されます。

用紙はプリントする面を下にしてセットします。

- プリントする面に手の油分などが付くと、インクののりが悪くなる場合があります。プリントする面はなるべく触らないようにご注意ください。
- 用紙の搬送中にダストカバーを開けると、用紙が排紙される場合があります。その場合は、再度用紙をセットしてください。
- 用紙が左側に寄っていると、左端部分のプリント画像が欠けることがあります。用紙を挿入する際は必ず、用紙の右端を用紙ガイドに沿わせて挿入してください。

4 用紙がプリント開始位置にセットされます。

用紙サイズにより、用紙の搬送動作が異なります。
下記ページをご覧ください。

<A3サイズ縦送りより短い場合：P.7-15>

<B3サイズ縦送りより長い場合：P.7-15>

◆A3サイズ縦送りより短い場合

・用紙は手前に送り出され、いったん停止した後、プリント開始位置まで戻りセットされます。

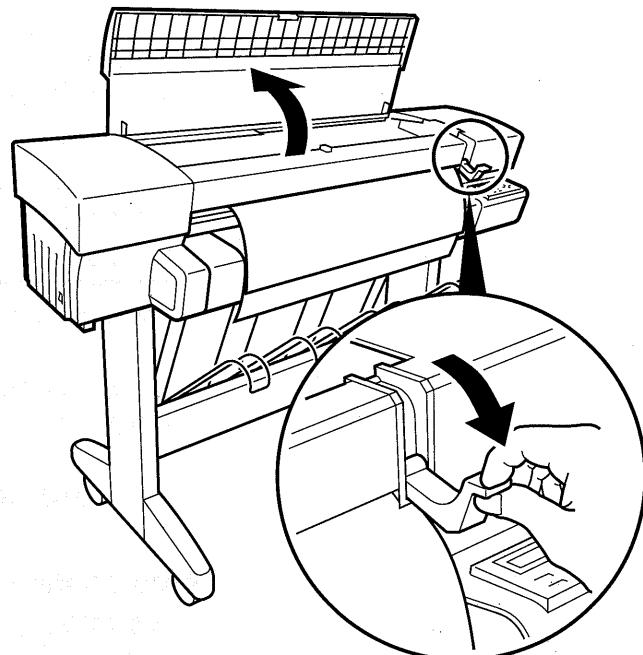
・用紙がまっすぐに送られていない場合は、プリント開始位置にセットされず排紙されます。
メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

```
オフライン
[ヨウシ　ヲ　トリノゾ゛イテクタ
```

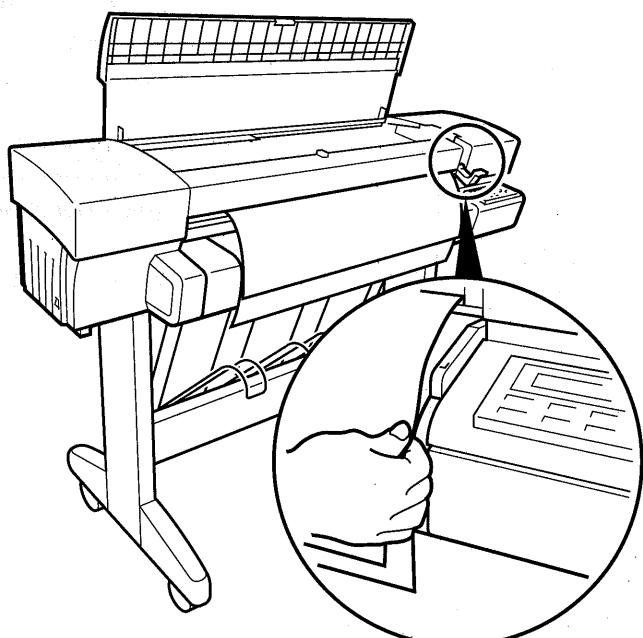
[ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ]

メッセージを確認した後、用紙の左右両端をつまんで用紙を取り除きます。

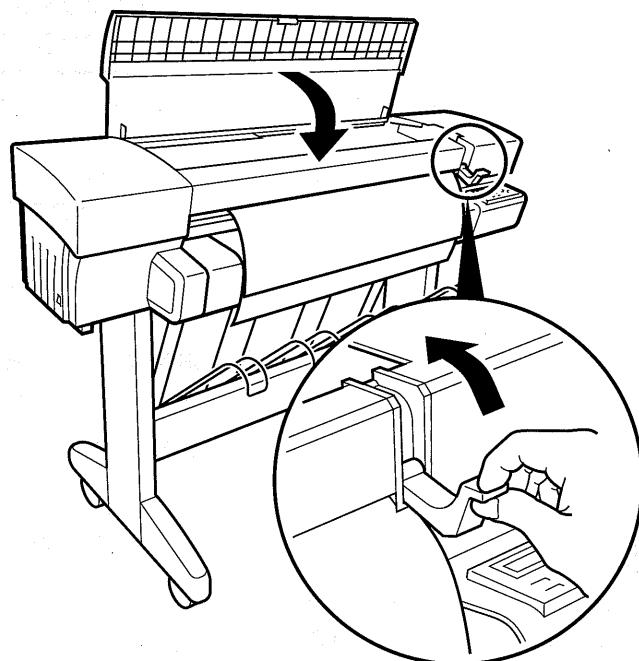
手順3に戻り、再度用紙を挿入してください。

◆B3サイズ縦送りより長い場合

・用紙は手前に送り出され、いったん停止します。その後、更に手前に送り出された後、プリント開始位置まで戻りセットされます。

・用紙がまっすぐに送られていない場合は、いったん停止した後、用紙の搬送動作は止まります。
メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

```
オフライン
[ヨウシ　ヲ　マッスク゛ニシテク
```

[ﾖｳｼ ｦ ﾏｯｽｸﾞﾆｼﾃｸﾀﾞｻｲ]

メッセージを確認した後、次のことを行ってください。

(1) ダストカバーを開けます。搬送部解除レバーを矢印の方向に下げて解除し、排紙ガイドをいったん元に戻します。

(2) 送り出された用紙の左右両端をカット紙の両端に合わせます。

(3) 搬送部解除レバーを元に戻し、排紙ガイドを再度手前に引き出した後、ダストカバーを閉めます。用紙は引き戻された後、再度手前に送り出され、メッセージディスプレイに‘ロードチュウ..’が表示されます。

ダストカバーは必ず閉めてください。
ダストカバーが開いていると、用紙の搬送が行われません。

(4) 送り出された用紙は停止した後、プリント開始位置まで戻りセットされます。

・用紙がまっすぐに送られていないと、プリント開始位置にセットされず排紙されます。
メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

```
オフライン
[ヨウシ ヲ トリノソ゛イテクタ
```

[ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞ ｲﾃｸﾀﾞｻｲ]

メッセージを確認した後、用紙の左右両端をつまんで用紙を取り除きます。

再度、手順3に戻り、用紙をセットしてください。

5 用紙のセットが終了し、メッセージディスプレイに“オンライン”が表示されるとプリントできる状態になります。

これでカット紙のセットが終了します。

メッセージディスプレイに“オフライン”を表示させた後、上または下矢印キーを押すと排紙することができます。

第8章

困ったときは

この章では、メッセージディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、紙づまりが起きたとき、プリンタが正常に動作しないとき、画像の品質に問題があるときなどの対処のしかたについて説明します。
故障かなと思ったときにお読みください。

エラーメッセージが表示されたとき

プリンタが正しく動かないときやプリントできない場合は、エラー表示が点灯し、メッセージディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージは、その内容によって次の3つに分類されます。

＜警告メッセージ＞

警告のメッセージは、データの出力が正しく行えないときや、プリンタの設定状態を確認する必要のある場合に表示されます。メッセージが表示されたら、プリンタの動作を停止させ対処方法にしたがって操作するか、そのままプリントを継続してください。

（表示例）

```
フ゜リントチュウ ＋   KCMY
[インシ゛ カ゛ クリッフ゜サレ
```

[ｲﾝｼﾞ ｶﾞ ｸﾘｯﾌﾟｻﾚﾏｼﾀ]

＜回復できるエラー＞

メッセージが表示されると、プリンタの動作が自動的にいったん停止します。
メッセージを確認し、対処方法にしたがって操作してください。
対処した後は、オンラインキーを押してメッセージディスプレイに“オンライン”を表示させてください。

（表示例）

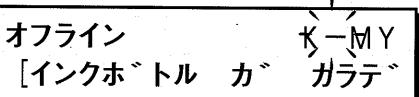
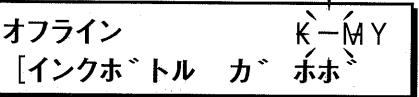
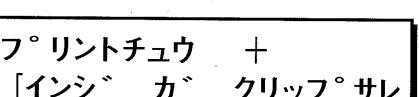
```
エラー    84      K?MY
[ヘット゛エラー ： シアン ヘ
```

[ﾍｯﾄﾞｴﾗｰ：ｼｱﾝ ﾍｯﾄﾞ ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ]

＜サービスコールエラー＞

プリンタの動作が自動的に停止します。電源スイッチをいったん切った後、もう一度入れてください。それでも正常に動作しない場合は、すみやかに電源を切り、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。このとき、メッセージディスプレイに表示される2ケタのコードナンバー（エラーコード）も連絡してください。

（表示例）

```
エラー    C0
[キャリッシ゛エラー ： テ゛ン
```

[ｷｬﾘｯｼﾞｴﾗｰ：ﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｦ ｷｯﾃｸﾀﾞｻｲ]

■メッセージ一覧と対処方法

以下のメッセージは、下段に表示されるメッセージの頭文字を50音順に並べて記載しています。
また、メッセージ中の２ケタのコードナンバーは、同じエラーの中でもプリンタの状態が異なることを示しています。

●警告メッセージ

メッセージ	原　因	対処方法
オフライン　K－MY [インクホ゛トル　カ゛　カラテ゛ [インクボ゛トル ガ゛ カラテ゛ス：シアン]	シアンインクタンクのインクがなくなりました。	「－（横線）」表示しているカートリッジとインクタンクを交換してください。 （→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた：P.3-5） 交換しないで続けてプリントしたい場合は、「カートリッジを使ってプリントする」（→P.3-18）をご覧ください。
オフライン　K－MY [インクホ゛トル　カ゛　ホホ゛ [インクボ゜トル ガ゛ ホホ゛ カラテ゛ス：シアン]	シアンインクタンクのインクが少なくなっています。	「c（小文字）」表示しているカートリッジとインクタンクを交換してください。 （→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた：P.3-5） 交換しないで続けてプリントしたい場合は、オンラインキーを押してください。
フ゜リントチュウ　＋ [インシ゛　カ゛　クリッフ゜サレ [インジ゛ ガ゛ クリップ゜サレマシタ]	プリンタにセットされている用紙サイズより大きいサイズのデータを受信しました。	プリンタはプリント動作を続けます。プリントをやり直したい場合は、プリントを中止して新しく用紙をセットしてください。 （→プリントを中止する：P.4-9） または、データのサイズを小さくしてください。

メッセージ	原　因	対処方法
オフライン　　　　　KCMY ［カスタマサポート ヲ ヨンデ [カスタマサポート ヲ ヨンデクダサイ：ハイインク ガ ホボイッパイデス]	廃インクタンクがいっぱいになってきています。	お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。 続けてプリントしたい場合は、オンラインキーを押してください。
プリントチュウ　　　KCMY ［カラーデータ ヲ ジュシン [カラーデータ ヲ ジュシンチュウ]	プリンタがモノクロモードに設定されていて、カラーデータを受信しました。	プリンタはプリント動作を続けてブラックのデータのみをプリントし、他の色のデータはプリントされません。プリントを中止してプリンタの設定をカラーモードにしてから、再度プリントしてください。 （→プリントを中止する：P.4-9） （→「カラー／モノクロ モード」：P.5-5）
ジドウ ヘッド チョウセイ ［キャリッジ ヲ イチバン [キャリッジ ヲ イチバン ヒクイイチニ セットシテクダサイ]	カートリッジ高さ調整レバーが◉の位置（右）にセットされていないのに、自動ヘッド調整が選択されています。	カートリッジ高さ調整レバーを◉の位置（右）にセットして、再度自動ヘッド調整を行ってください。 （→カートリッジの高さ調節：P.8-20） （→自動ヘッド調整のしかた：P.5-10）
プリントチュウ　？ ［コマンド エラー ： フセイ [コマンド エラー：フセイナ コマンドガアリマス]	理解できない命令のあるデータを受信しました。	コンピュータ側で本プリンタ対応のドライバを選択してください。

メッセージ	原　因	対処方法
シ゛ト゛ウ ヘット゛ チョウセイ [フ゛ラックヘット゛ ヲ イレル [フ゛ラックヘット゛ ヲ イレルカ ←→ キー ヲ オシテ キャンセル]	ブラックカートリッジが取り付けられていないのに、調整用パターンのプリントを選択しています。	ブラックカートリッジを取り付けて、再度調整用パターンのプリントを選択するか、右または左矢印キーを押してプリントを中止してください。 （→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた：P.3-5） （→「インジ　チョウセイ（印字調整）」：P.5-9）
オフライン　K_MY [ヘット゛ カ゛ アリマセン ： [ヘット゛ カ゛ アリマセン：シアン]	シアンカートリッジが取り付けられていません。	「＿（下線）」表示しているカートリッジを取り付けてください。 （→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた：P.3-5） 取り付けないで続けてプリントしたい場合は、オンラインキーを押してください。
オフライン　____ [ヘット゛ カ゛ アリマセン ： [ヘット゛ カ゛ アリマセン：フ゛ラック, シアン, マセ゛ンタ゛, イエロー]	カートリッジが一つも取り付けられていません。	カートリッジを取り付けてください。 （→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた：P.3-5）
[ヨウシ カ゛ チイサスキ゛マス [ヨウシ カ゛ チイサスキ゛マス：オオキナヨウシ ニ カエテクタ゛サイ]	小さすぎる用紙をセットしていて、調整用パターンのプリントを選択しています。	プリントサイズに合った用紙をセットして、再度調整用パターンのプリントを選択してください。 （→第7章　用紙のセット） （→「インジ　チョウセイ（印字調整）」：P.5-9）

●回復できるエラー

メッセージ	原　因	対処方法
エラー　　　　42 ［カッターエラー　：　ヨウシ　ヲ [カッターエラー：ヨウシ ヲ トリノゾイテクダサイ]	カッターの寿命、または用紙のシワなどが原因で、正常にカットすることができませんでした。	用紙を取り除いてください。 （→紙づまりが起きたとき：P.8-10） カッターが摩耗している場合は、カッターを交換してください。 （→カッターの交換：P.9-2）
オフライン ［カットイチ　エラー　：　ヨウシ [カットイチ エラー：ヨウシ ヲ オクッテクダサイ(↓ キー)]	カットできる位置まで用紙が搬送されていないのに、ロール紙カットキーが押されました。	下矢印キーを押して用紙を送った後、ロール紙カットキーを押してください。
エラー　　　　00 ［カバー　ガ　アイテイマス [カバーガ アイテイマス：カバー ヲ トジテクダサイ]	プリンタの動作中に、ダストカバーが開けられました。	すぐにダストカバーを閉じてください。
エラー　　　XX　　K?MY ［ヘッドエラー　：　シアン　ヘ [ヘッドエラー：シアン ヘッド ヲ コウカンシテクダサイ]	シアンカートリッジのヘッド部分に異常が発生しました。	「？」表示しているカートリッジをいったん取り外し、取り付け直してください。 それでも状態が変わらない場合は、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。 （→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた：P.3-5）
エラー　　　　09 ［ヘッドチョウセイ　エラー　： [ヘッドチョウセイ エラー：↓ キー ヲ オシテクダサイ]	自動ヘッド調整が正常に行われませんでした。	下矢印キーを押して、メッセージディスプレイに“オンライン”を表示させます。 その後、自動ヘッド調整をやり直してください。それでも状態が変わらない場合は、すみやかに電源を切り、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

メッセージ	原　因	対処方法
エラー　XX [ヨウシカ゛　ツマリマシタ　: [ヨウシカ゛ ツマリマシタ : トリノゾ゛イテクダ゛サイ]	用紙の搬送が正常に行われませんでした。	用紙を取り除いてください。 （→紙づまりが起きたとき：P.8-10） その後、用紙の紙片などがないことを確認し、再度用紙をセットしてください。 （→第7章　用紙のセット）
エラー　XX [ヨウシ　ノ　イチカ゛　フセイテ [ヨウシ ノ イチカ゛ フセイテ゛ス : ヨウシ ヲトリノゾ゛イテクダ゛サイ]	正しい位置に用紙がセットされていません。	用紙を取り除いてください。 （→紙づまりが起きたとき：P.8-10） その後、ロール紙はラインに合わせて、カット紙は用紙ガイドに沿わせて用紙をセットしてください。 （→第7章　用紙のセット）
エラー　5E [ヨウシ　ノ　ハハ゛カ゛　フセイ [ヨウシ ノ ハハ゛カ゛ フセイテ゛ス : ヨウシ ヲ トリノゾ゛イテクダ゛サイ]	幅の広すぎる用紙、または狭すぎる用紙がセットされています。	用紙を取り除いてください。 （→紙づまりが起きたとき：P.8-10） その後、本プリンタで使用できるサイズの用紙をセットしてください。 （→用紙のサイズ：P.6-3） （→第7章　用紙のセット）
エラー　53 [ロール　カ゛　オワリマシタ　: [ロール カ゛ オワリマシタ : ヨウシ ヲ トリノゾ゛イテクダ゛サイ]	ロール紙がなくなりました。	新しくロール紙をセットしてください。 （→ロール紙のセット：P.7-2）

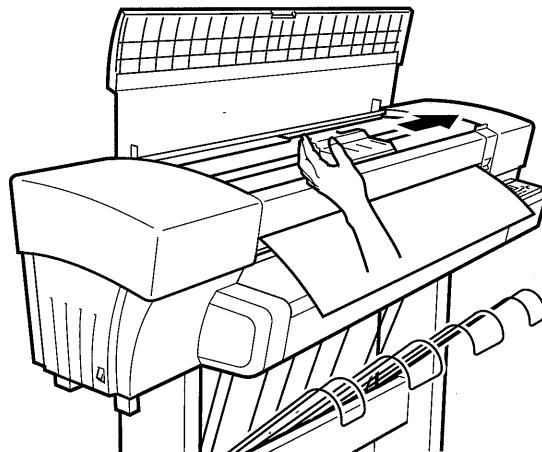
●サービスコールエラー

メッセージ	原　因	対処方法
エラー　　C1 [X－モータエラー　：デ゛ンケ [X-モータエラー：デ゛ンゲ゛ン ヲ キッテクダ゛サイ]	プリンタ内部のエラーが発生しました。	いったん電源を切り、3秒以上待ってからもう一度電源を入れてください。 正常に動作しない場合は、すみやかに電源を切り、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
エラー　　XX [インターナル　エラー　：　デ゛ [インターナル エラー：デ゛ンゲ゛ン ヲ キッテクダ゛サイ]		
エラー　　C0 [キャリッジ゛エラー　：　デ゛ン [キャリッジ゛エラー：デ゛ンゲ゛ン ヲ キッテクダ゛サイ]		
エラー　　C4 [サービ゛スステーション　エラー [サービ゛スステーション エラー：デ゛ンゲ゛ン ヲ キッテクダ゛サイ]		
エラー　　XX [センサーエラー　：　デ゛ンゲ゛ [センサーエラー：デ゛ンゲ゛ン ヲ キッテクダ゛サイ]		
エラー　　XX [ナイフ゛ツウシンエラー　：　テ [ナイフ゛ツウシンエラー：デ゛ンゲ゛ン ヲ キッテクダ゛サイ]		
エラー　　C8 [ハイインクタンク　カ゛　イッハ [ハイインクタンク カ゛ イッパ゜イデ゛ス：デ゛ンゲ゛ン ヲ オトシ カスタマサポ゜ート ニ デ゛ンワシテクダ゛サイ]	廃インクタンクがいっぱいになりました。	お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

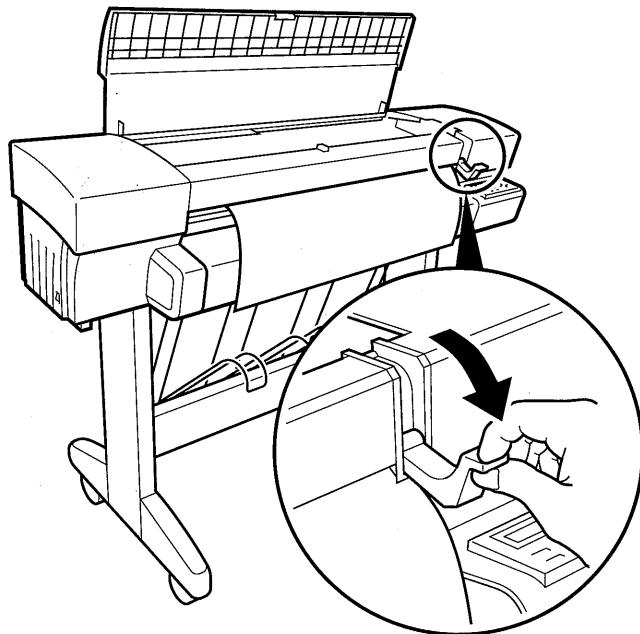
<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>原　因</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>エラー　　　C7
[ヨウシキリカエエラー　:　デ
[ヨウシキリカエエラー : デンゲン ヲ キッテクダサイ]</td><td rowspan="2">プリンタ内部のエラーが発生しました。</td><td rowspan="2">いったん電源を切り、3秒以上待ってからもう一度電源を入れてください。
正常に動作しない場合は、すみやかに電源を切り、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>エラー　　　CA
[ヨウシガイド　エラー　:
[ヨウシガイド エラー : デンゲン ヲ キッテクダサイ]</td></tr>
</table>

紙づまりが起きたとき

用紙の搬送中やプリント中に紙づまりが起きると、次のメッセージが表示され、エラー表示が点灯します。以下の手順にしたがって、用紙を取り除いてください。（→エラーメッセージが表示されたとき：P.8-2）

```
エラー　　　XX
[ヨウシカ゛　ツマリマシタ　:
```

[ﾖｳｼ ｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ：ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ]

用紙は破れないように確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると再び用紙がつまったり、機械の故障の原因となったりします。

■紙づまりの処理方法

1 ダストカバーを開けます。

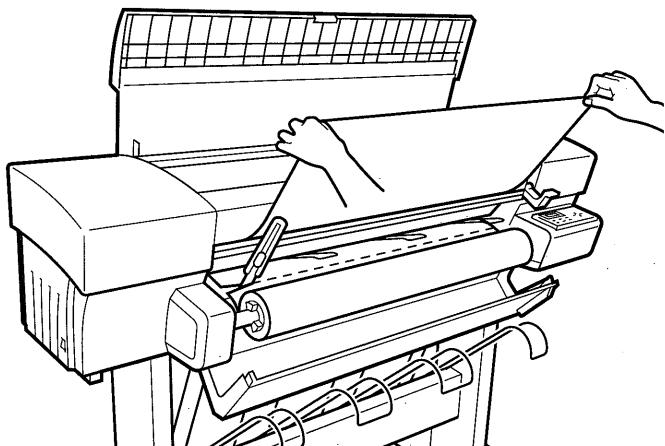
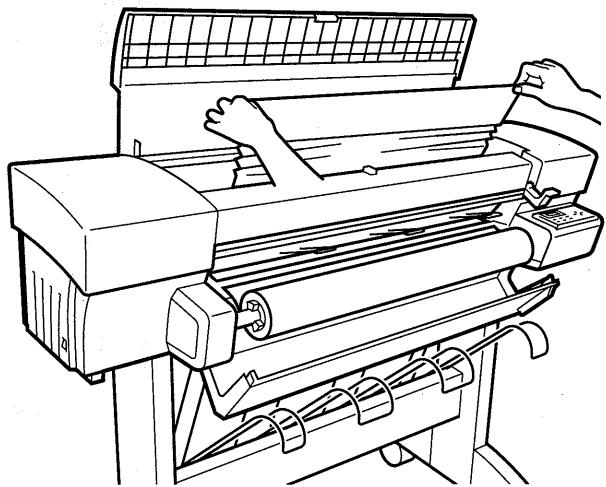
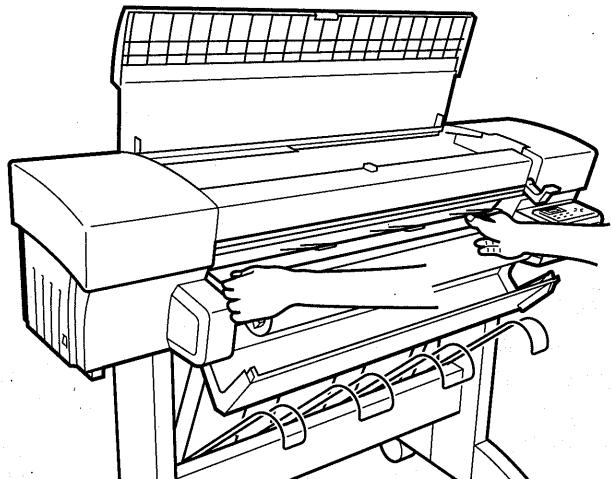
2 キャリッジが右側ホームポジションにあることを確認します。もし、キャリッジがホームポジションに戻っていない場合は、ホームポジションまで手で移動させます。

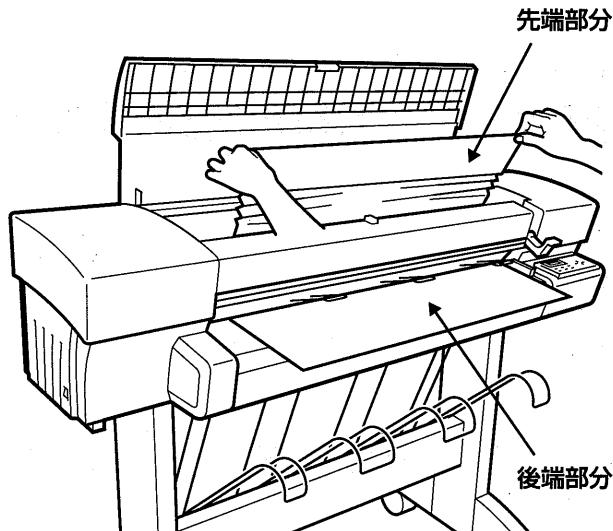
3 搬送部解除レバーを下げます。

キャリッジがホームポジションにないときは、搬送部解除レバーを下げないでください。機械の故障の原因になります。

4 用紙を取り除きます。

次の手順でロール紙を取り除いてください。

カット紙の取り除きかたは、P.8-13をご覧ください。

カッターの寿命または用紙のシワなどが原因で、正常にカットすることができずに紙づまりになった場合は、カッター用溝にカッターを当てて用紙をカットすることができます。
（→カッター用溝：P.1-15）

◆ロール紙の場合

（1）ロール紙挿入口に近いところでロール紙をカットして、つまっている用紙をロール紙から切り離します。

（2） 先端が見えているときは、上から手で用紙を取り除きます。

（3） 先端が見えない場合は、ロール紙挿入口から、用紙を手前に引いて取り除きます。

◆カット紙の場合

用紙の先端または後端部分を持ち、ゆっくり取り除きます。

5 搬送部解除レバーを元に戻し、ダストカバーを閉めます。

メッセージディスプレイに‘ヨウシ　ヲ　セット　シテクダサイ’が表示されます。

プリンタが正常に動作しないとき

プリンタが正常に動作しないときの原因と対処方法について説明します。
対処しても正常に動作しない場合は、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

■電源を入れても初期化動作を始めない

右の表の項目に問題がない場合は、電源を入れなおしてください。それでもプリンタが動作を始めない場合には電源を切り、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

原因	対処方法
電源コードが接続されていない。	電源コードを確実に接続してください。
コンセントに電源がきていない。	適切なコンセントに電源プラグを差し込んでください。

■コンピュータからデータを送ってもプリントされない

原因	対処方法
メッセージディスプレイに“オンライン”が表示されていない。	オンラインキーを押して、オンライン状態にしてください。
インタフェースケーブルが接続されていない。	インタフェースケーブルを接続してください。 （→インタフェースケーブルの接続：P.2-2）
インタフェースの通信モードの設定が合っていない。	パラレルインタフェースの通信モードを切り替えてください。 （→パラレルインタフェースの通信モードを切り替える：P.2-3）

■用紙をセットしても引き込まれていかない

原因	対処方法
プリンタで選択されている用紙（ロール紙／カット紙）とセットしている用紙が合っていない。	ロール紙／カット紙選択キーを押して、セットする用紙を選んでください。

■セットしたカット紙が巻き込まれてしまう

原因	対処方法
排紙ガイドを引き出さないでB3サイズ縦送りより長いカット紙をセットしている。	用紙のサイズに合わせて排紙ガイドを引き出してください。 （→カット紙のセット：P.7-13）

■プリント後、用紙がカットされない

原因	対処方法
「オートカット」メニューの設定が「イイエ」になっている。	「オートカット」メニューを「ハイ」に設定してください。 （→「オートカット」：P.5-4）

■きれいにカットされない、カッターが動作しない

原因	対処方法
カッターが摩耗している。	カッターを交換してください。 （→カッターの交換：P.9-2）
カッターがセットされていない。	カッターを取り付けてください。 （→カッターの交換：P.9-2）

きれいにプリントされないとき

画像にスジやこすれの跡が出たり、インクがかすれたりするなど、きれいにプリントされないときの原因と対処方法について説明します。

プリンタドライバで設定している用紙の種類とプリンタにセットしている用紙の種類を合わせてください。
この2つが合っていないと、画像の品質が低下する原因になります。

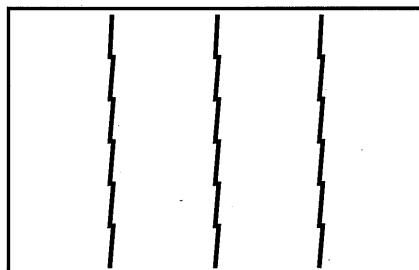
■インクが出ない、画像がかすれる

原因	対処方法
インクタンク内のインクがなくなっている。	該当する色のカートリッジとインクタンクを交換してください。（→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた:P.3-5）
カートリッジのヘッド部分が目づまりしている。	ヘッドクリーニングを行ってください。（→ヘッドクリーニング：P.9-6）
カートリッジのヘッド寿命。	該当する色のカートリッジをいったん取り外し、取り付け直してください。それでも状態が変わらない場合は、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。（→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた:P.3-5）
クリーナブレードにほこりが付着している。	クリーナブレードが汚れていないか確認してください。（→クリーナブレードの交換：P.9-8）
プリントモードを高速やモノクロモードで標準に設定していて、「インジシュウハスウ（印字周波数）」メニューを「10.0kHz」に設定している。	「インジシュウハスウ（印字周波数）」メニューを「6.75kHz」に設定するかプリントモードを変更してください。（→「インジシュウハスウ（印字周波数）」：P.5-6）（→プリントモードの選択：P.4-4）
チューブ接続針を取り外すときに回したチューブコックを元に戻していない。	チューブコックを元に戻してください。（→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた:P.3-13）

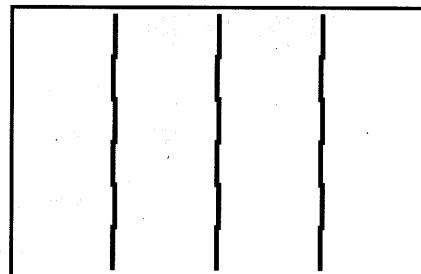
■インクがにじむ

原因	対処方法
にじみやすい用紙を使用している。	弊社推奨の用紙を使用してください。 (→用紙の種類とサイズ:P.6-2)
プリントした用紙と「ヨウシシュルイ（用紙種類）」メニューの設定が合っていない。	使用する用紙に合わせて「ヨウシシュルイ（用紙種類）」メニューを設定してください。 （「ヨウシシュルイ（用紙種類）」：P.5-6）

■濃度がうすい

原因	対処方法
プリンタを低温の環境で使用している。	本プリンタの推奨使用環境で使用してください。 (→設置場所のご注意:P.1-10)
カートリッジのヘッド寿命。	該当する色のカートリッジをいったん取り外し、取り付け直してください。それでも状態が変わらない場合は、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。 (→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた:P.3-5)

■横方向に白スジが出る

原因	対処方法
インクが出ていない。	「インクが出ない、画像がかすれる」（→P.8-16）をご覧ください。
「バンド（バンド間調整）」メニューの設定が合っていない。	バンド間調整を行ってください。（→バンド間調整のしかた：P.5-13）

■横方向に黒スジが出る

原因	対処方法
「バンド（バンド間調整）」メニューの設定が合っていない。	バンド間調整を行ってください。（→バンド間調整のしかた：P.5-13）

■縦の罫線がずれている

縦の罫線がずれている

原因	対処方法
カートリッジの角度がずれている。	カートリッジの角度を調整してください。（→カートリッジの角度調整のしかた：P.5-15）
必要時以外にカートリッジ高さ調整レバーを左方向に動かしている。	カートリッジ高さ調整レバーを◎の位置（右）にセットしてください。（→カートリッジの高さ調節：P.8-20）

縦の罫線がずれている

原因	対処方法
「ヘッド（ジドウ）（自動ヘッド調整）」が行われていない。	「ヘッド（ジドウ）（自動ヘッド調整）」を行ってください。 （→自動ヘッド調整のしかた：P.5-10）

■画像がこすれる

原因	対処方法
カートリッジ高さ調整レバーの位置が適切な位置に調整されていない。	カートリッジ高さ調整レバーの位置を調整してください。 （→カートリッジの高さ調節：P.8-20）

●カートリッジの高さ調節

ベタ部分の多い高濃度の画像をプリントすると、使用する用紙の種類や厚さによって、用紙が波打ってプラテン上から浮き上がり、カートリッジのヘッド部分に接触することがあります。接触すると、画像の品質が低下するだけでなく、カートリッジのヘッド部を傷つける原因にもなります。これを防ぐため、キャリッジ上のカートリッジ高さ調整レバーを動かしてカートリッジのヘッド部分と用紙の間の距離を調整します。

●カートリッジ高さ調整レバーが適切な位置に調整されていないと、カートリッジのヘッド部分と用紙が接触してヘッド部分が傷ついたり、きれいな画像が得られないことがあります。
●プリント中にレバーの位置を変更しないでください。画像にズレが生じる場合があります。

＜カートリッジ高さ調整レバーの使いかた＞

プリントする画像の内容や使用する用紙に合わせて、カートリッジ高さ調整レバーを3段階で調整します。

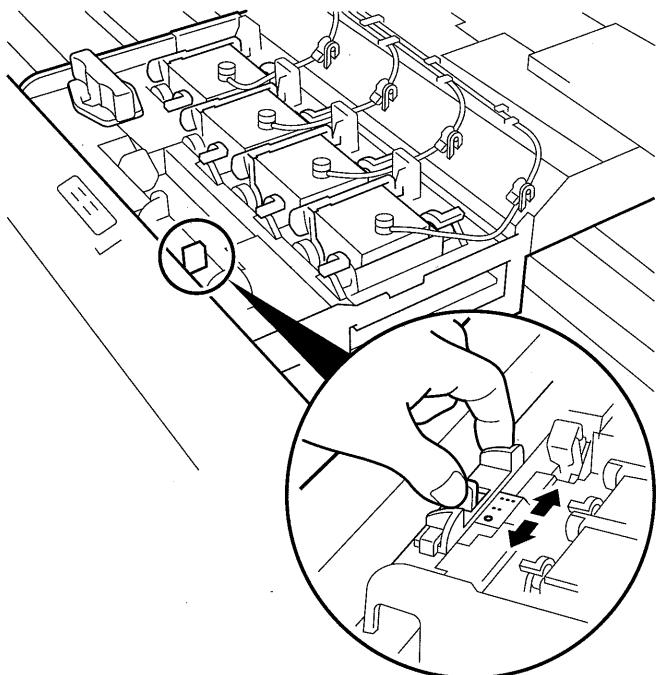
◉の位置（右）　：通常はこの位置に合わせておきます。
⁚ の位置（中央）：用紙とヘッドの距離が少し遠くなります。
　◉の位置で用紙が波打ってヘッド部に接触する場合、この位置に合わせます。
⁝ の位置（左）　：用紙とヘッドの距離が一番遠くなります。
　⁚ の位置でも改善されない場合、この位置に合わせます。

次の手順にしたがって調整してください。

1 メッセージディスプレイに“オフライン”が表示されていることを確認します。

表示されていない場合は、オンラインキーを押すと表示させることができます。

2 右または左矢印キーを押して、キャリッジをプラテン上に移動させます。

ダストカバーが開いていると、キャリッジは移動しません。
また、キャリッジが移動中にダストカバーを開けると、メッセージディスプレイに‘カバー　ガ　アイテイマス’と表示されます。すぐにダストカバーを閉めてください。

3 キャリッジが停止すると、メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

オフライン KCMY
[ヘットﾞ ト ホﾞトル / カ

[ﾍｯﾄﾞ ﾄ ﾎﾞﾄﾙ / ｶｯﾀｰ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ]

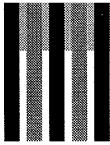
4 メッセージを確認した後、ダストカバーを開けます。

5 キャリッジにあるカートリッジ高さ調整レバーを調節します。

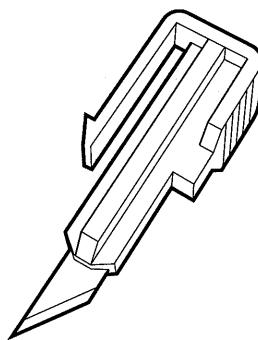
レバーは、マークが表示されている位置に必ず合わせてください。

6 ダストカバーを閉めます。

キャリッジが右側ホームポジションに戻ります。

カートリッジのヘッドが乾燥するのを防ぐため、カートリッジの高さを調節した後はすぐにダストカバーを閉めてください。

第9章

保守と点検

この章では、カッターの交換、ヘッドクリーニング、クリーナブレードの交換、日常の清掃、消耗品について説明します。

カッターの交換

ロール紙を使用しているときにのみカッターは使用できます。カッターの切れ具合が悪くなったときに交換してください。ここでは、カッターを取り扱うときの注意や交換のしかたについて説明します。

■カッターの取り扱い上の注意

カットの品質は、カッターの刃の状態に大きく左右されます。
カッターを取り扱う場合は、次のことに注意してください。

注意 ●カッターの刃で指などを切るおそれがありますので、刃の表面は触らないでください。

● カッターの刃の表面を布などで拭いたり、水や液体などをつけたりしないでください。

● カッターを分解しないでください。

● カッターを指でつまんで、用紙や物をカットしないでください。

■カッターの交換のしかた

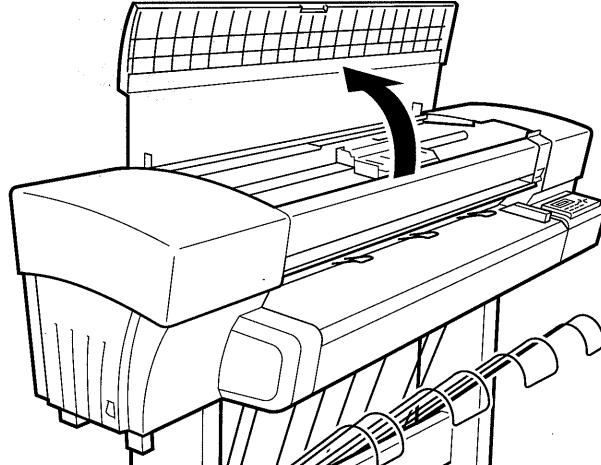
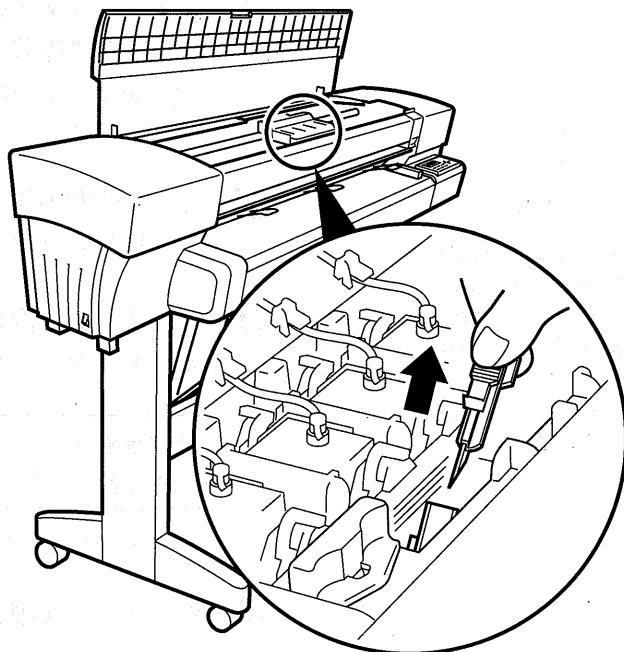
ダストカバーが開いていると、キャリッジは移動しません。
また、キャリッジが移動中にダストカバーを開けると、メッセージディスプレイに‘カバー　ガ　アイテイマス’と表示されます。すぐにダストカバーを閉めてください。

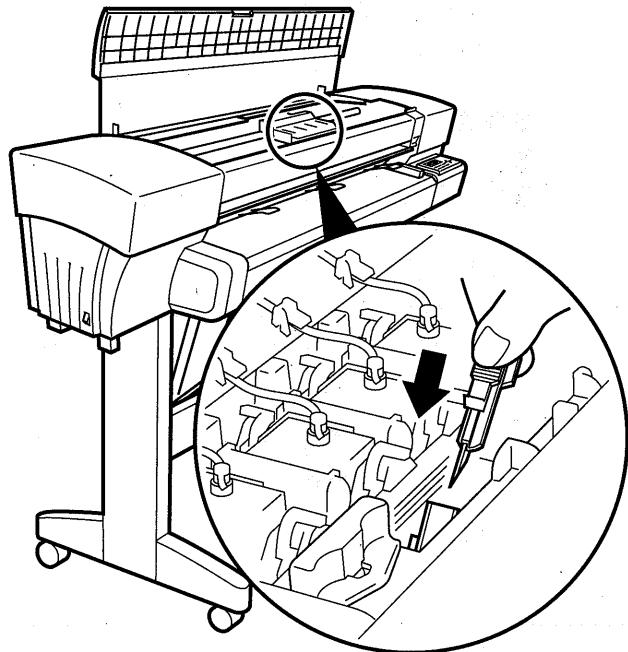
1 メッセージディスプレイに“オフライン”が表示されていることを確認します。

表示されていない場合は、オンラインキーを押すと表示させることができます。

2 右または左矢印キーを押して、キャリッジをプラテン上に移動させます。

3 キャリッジが停止すると、メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

［ﾍｯﾄﾞ ﾄ ﾎﾞﾄﾙ / ｶｯﾀｰ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ］

4 メッセージを確認した後、ダストカバーを開けます。

5 カッターのツマミを持ち、上に引き上げてカッターを取り外します。

注意 カッターの刃で指などを切るおそれがあるので、刃の表面は触らないでください。

カッターを軽くつまみ、やさしく上に引っ張ったときにカッターが取れなければ、正しくセットされています。

6 新しいカッターを図のような向きで取り付けます。

カッターのフックをカッターホルダの溝に合わせて、カチッという音が聞こえるまで斜めに差し込みます。

7 ダストカバーを閉めます。

キャリッジが右側ホームポジションに戻ります。

ご注意

カートリッジのヘッドが乾燥するのを防ぐため、カッターを交換した後はすぐにダストカバーを閉めてください。

ヘッドクリーニング

本プリンタは、カートリッジのヘッド部分のノズルにホコリやゴミなどが付着するのを防いだり、ノズルの目づまりが起きないように定期的に自動でヘッドクリーニングを行っていますが、次のようなことが発生した場合は、メニュー設定により必要に応じてヘッドクリーニングを行ってください。
（→ヘッドクリーニング：P.5-5）

●画像が欠ける
●白いスジが出る
●特定の色のインクがプリントされない

ヘッドクリーニングを2回くらい行ってもプリントの結果が改善されない場合は、クリーナブレードの汚れが原因と考えられます。クリーナブレードの交換を行ってください。（→クリーナブレードの交換：P.9-8）

●ヘッドクリーニングはインクを多く消費しますので、必要なとき以外はヘッドクリーニングを行わないでください。

■ヘッドクリーニングのしかた

1 メッセージディスプレイに“オフライン”または“ポーズ”のいずれかのメッセージが表示されていることを確認します。

表示されていない場合は、オンラインキーを押すと表示させることができます。

2 メニューキーを押して、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
ハ゛ージ゛ョン
```

3 上または下矢印キーを押して、「ヘッドクリーニング」メニューを表示させます。

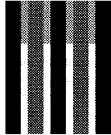
ヘット゛クリーニンク゛ 　　　イイエ

4 右または左矢印キーを押して、ヘッドクリーニングを行いたいカートリッジを選択します。

ヘット゛クリーニンク゛ 　　　フ゛ラック

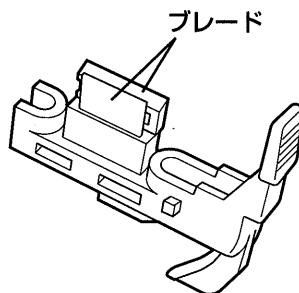
5 オンラインキーを押します。

メッセージディスプレイに‘クリーニングチュウ..’が表示され、ヘッドクリーニングが始まります。

ご注意 ヘッドクリーニング動作を開始したら、途中でヘッドクリーニングを中止することはできません。

下矢印キーやメニューキーを押して実行させることもできます。ヘッドクリーニングが終了すると、元のメニュー設定画面に戻ります。
上矢印キーを押した場合、実行されず1つ前のメニューに戻ります。

クリーナブレードの交換

クリーナブレードは、カートリッジのヘッド部についた余分なインクを拭きとるものです。クリーナブレードにホコリなどが付着すると、ヘッド部のワイピングがきちんと行われず、インクの出が悪くなる原因となります。本プリンタには、このクリーナブレードがブラックカートリッジ用とカラーカートリッジ用に各１個ずつ用意されています。

ヘッドクリーニングを行ってもプリントの結果が改善されない場合、クリーナブレードの汚れが原因と考えられます。
ブラックカートリッジ用とカラーカートリッジ用のクリーナブレードの汚れを確認してください。汚れているようであれば、それぞれ新しいクリーナブレードと交換してください。

ヘッドクリーニングを行ってもプリントの結果が改善されず、クリーナブレードも汚れていない場合は、新しいカートリッジに交換してください。
（→カートリッジ／インクタンクの交換のしかた：P.3-5）

■クリーナブレードの取り扱い上の注意

プリントの品質は、クリーナブレードの状態に大きく左右されます。クリーナブレードを取り扱う場合は、次のことに注意してください。

- ブレード面を指で触らないでください。手にインクが付き、落ちにくくなります。また、手の油分がブレードに付き、ヘッド部を傷つけ、画像かすれの原因になります。
- ブレード部分に不純物（ホコリなど）が付かないようにしてください。ヘッド部を傷つけ、画像かすれの原因になります。

■クリーナブレードの交換のしかた

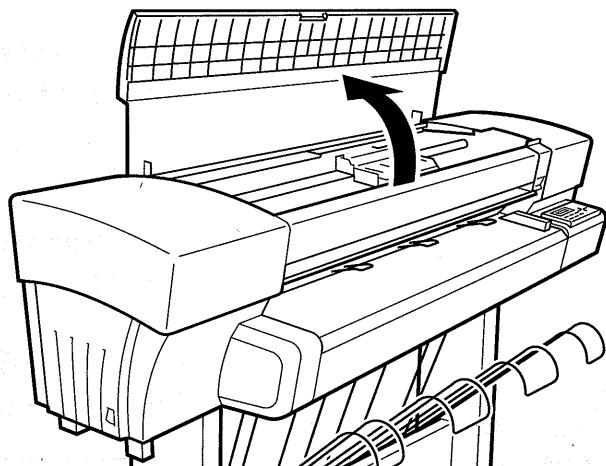
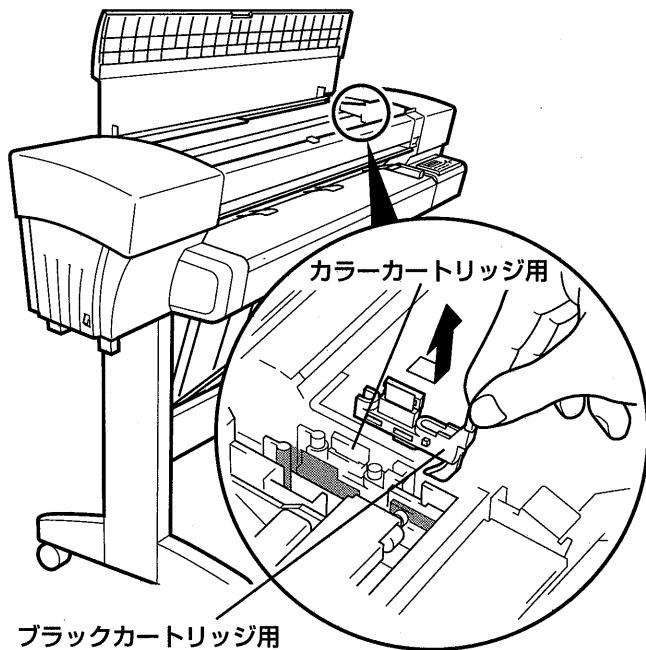
1 メッセージディスプレイに"オフライン"が表示されていることを確認します。

表示されていない場合は、オンラインキーを押すと表示させることができます。

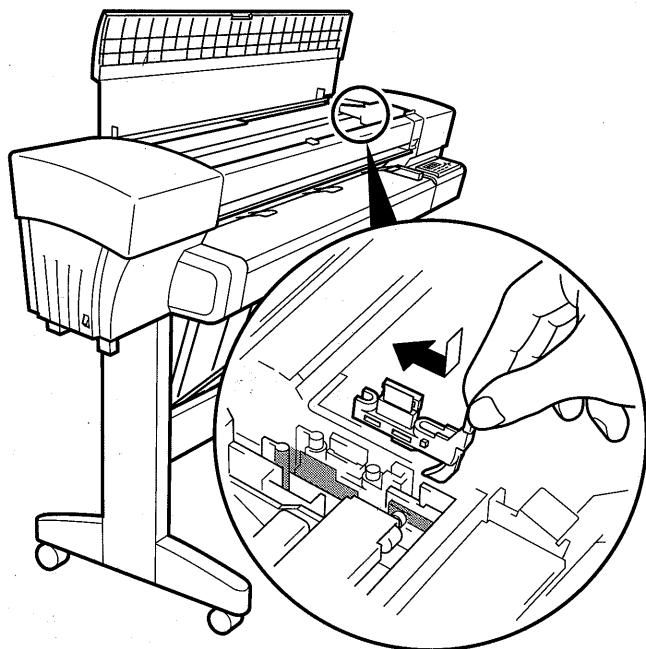
2 右または左矢印キーを押して、キャリッジをプラテン上に移動させます。

3 キャリッジが停止すると、メッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ダストカバーが開いていると、キャリッジは移動しません。
また、キャリッジが移動中にダストカバーを開けると、メッセージディスプレイに'カバー　ガ　アイテイマス'と表示されます。すぐにダストカバーを閉めてください。

[ﾍｯﾄﾞ ﾄ ﾎﾞﾄﾙ / ｶｯﾀｰ ｦ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ]

4 メッセージを確認した後、ダストカバーを開けます。

5 クリーナブレードのツマミを持ち、矢印の方向に手前に引いた後、上に持ち上げて取り外します。

ブラックカートリッジ用は左側、カラーカートリッジ用は右側に取り付けられています。

手にインクが付き落ちにくくなるおそれがあるので、ブレード面は触らないでください。

クリーナブレードを軽くつまみ、やさしく手前に引っ張ったときにクリーナブレードが取れなければ、正しくセットされています。

6 新しいクリーナブレードを図のような向きで取り付けます。

クリーナブレードの突起部分を取り付け部の溝に合わせて、カチッという音が聞こえるまで差し込みます。

7 ダストカバーを閉めます。

キャリッジが右側ホームポジションに戻ります。

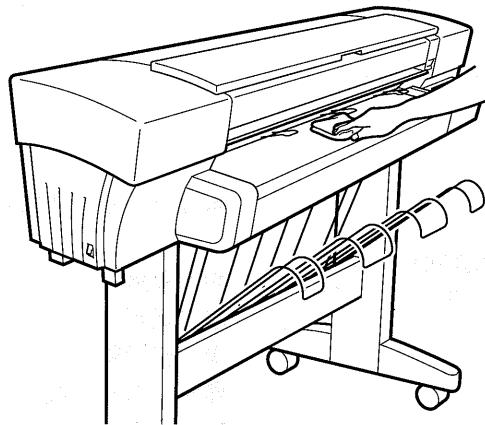
カートリッジのヘッドが乾燥するのを防ぐため、クリーナブレードを交換した後はすぐにダストカバーを閉めてください。

日常の清掃

1ヵ月に一回程度、または必要に応じて次の箇所を清掃してください。

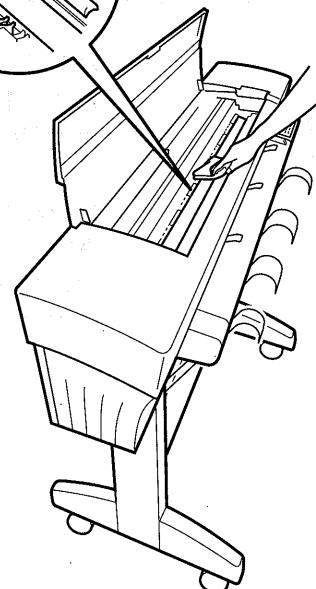
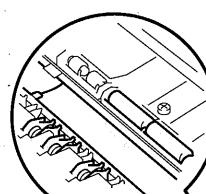
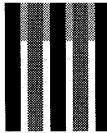
警告

- 清掃のときは、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 機械を分解したり、改造したりしないでください。内部には高温の部分があり、火災や感電の原因になります。また、感電の原因にもなります。
- 機械の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

注意

- 機械内部にクリップやホチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機械内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 清掃など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。
- プリント中は機械の中に手を入れないでください。内部で機械が駆動しているため、けがの原因になることがあります。
- プリント後、BJカートリッジの金属部分にはさわらないでください。熱くなっているため、やけどの原因になることがあります。

有機溶剤、スプレー清浄剤などは使用しないでください。
これらのものを使用した場合、プリンタ表面の色が落ちたり、外装が溶けたりすることがあります。

■ロール紙カバー

水を含ませてよくしぼった布で拭いた後、乾拭きします。

■プラテン

水を含ませてよくしぼった布で拭いた後、乾拭きします。

プラテン以外の部品に触れないように注意して清掃してください。プラテン以外の部品に触れると、紙づまりの原因やプリントの画像品質が低下する原因になります。

消耗品

本プリンタには次のような消耗品が用意されています。
用紙、インクタンクはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。
詳しくはお求めになった販売店にお問い合わせください。

■用紙

用紙についての詳細は、「第6章　用紙の選択と取り扱い」をご覧ください。

本プリンタで推奨している用紙は次の通りです。

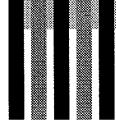
●普通紙
●光沢紙
●半光沢紙
●厚口コート紙
●光沢フィルム
●バックプリントフィルム

●高品質の画像を得るためになるべく弊社推奨の用紙をご使用ください。
●開封後の用紙は、湿気を避けるため、包装紙にしっかりと包んで保管してください。

本プリンタで使用できる用紙の種類については、「用紙の種類」（→P.6-2）をご覧ください。

■BJカートリッジ／インクタンク

カートリッジおよびインクタンクについての詳細は、「BJカートリッジ／インクタンクの選択と取り扱い」（→P.3-2）をご覧ください。

本プリンタには、４色のBJカートリッジとインクタンクが用意されています。インクタンク内のインクがなくなったら、本プリンタ専用のカートリッジ／インクタンクと交換してください。

●W7000用サプライキットBlack
●W7000用サプライキットCyan
●W7000用サプライキットMagenta
●W7000用サプライキットYellow

付　録

プリンタの仕様

名称：	ＢＪ－Ｗ７０００	
形式：	スタンドスタッカータイプ	
プリント方式：	バブルジェット方式	
プリントモード：	高速モード 標準モード 高品位モード	
最大プリント速度（A0サイズ）： *高速モード 時	モノクロ	カラー
	5.6分	7.8分
解像度：	360 x 360 dpi （モノクロ・カラー）	
サポート・プログラミング言語：	SRL (SELEX RASTER LANGUAGE)	
DRAM（標準）：	8MB	

用紙サイズ：

最大用紙長 （ロール紙の場合プリント長）	カット紙	1,250mm
	ロール紙	18m
最大用紙幅		914mm

用紙タイプ：	普通紙、光沢紙、半光沢紙、厚口コート紙、 光沢フィルム、バックプリントフィルム

マージン：

（単位：mm）

		モノクロ			カラー		
プリントモード		高速	標準	高品位	高速	標準	高品位
カット紙	先端	30	30	36(37)	30	36(37)	36(37)
	後端	18	18	24(25)	26	32(33)	32(33)
	左右	5	5	5	5	5	5
ロール紙	先端	35	35	41(42)	35	41(42)	41(42)
	後端	9	9	9	9	9	9
	左右	5	5	5	5	5	5

＊ モノクロモード時 … () 内は「ヨウシ シュルイ（用紙種類）」メニューが「コートシ」または「コウタクシ／フィルム」のとき

＊ カラーモード時 … () 内は「ヨウシ シュルイ(用紙種類)」メニューが「コウタクシ／フィルム」のとき

カートリッジ／インクボトル： 名称	W7000用 サプライキットBlack （ブラック）	W7000用 サプライキットCyan （シアン）	W7000用 サプライキットMagenta （マゼンタ）	W7000用 サプライキットYellow （イエロー）
インク補給	チュービング方式			
カートリッジタイプ	ヘッド／インクタンク一体型、128ノズル 10、8、6.75kHz（印字周波数）			
色	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー			
容量	44ml（カートリッジ）、330ml（インクタンク）			

項目	仕様
動作環境：	温度　15℃～30℃ 湿度　20%～80%
最適動作環境：	温度　17.5℃～27.5℃ 湿度　25%～75%
保管環境：	温度　5℃～35℃ 湿度　10%～90%
電源電圧：	100V～240V
周波数：	50Hz／60Hz
最大消費電力：	150W以下
音響ノイズ： プリント時 スタンバイ時	 50dB以下 35dB以下

項目	仕様
外形寸法： 本体（スタンド含む）	 （幅）1,500mm x （奥行）760mm x （高さ）1,200mm
質量： 本体（スタンド含む）	 約82kg

インタフェースの仕様

■パラレルインタフェース

本プリンタのパラレルインタフェースはIEEE 1284準拠のコンパチブルモード、ニブルモードおよびECPモードに対応しています。パラレルインタフェースコネクタは、IEEE 1284-B Receptacle準拠の36ピン（アンフェノール36ピン）のメス型コネクタになっています。

<ピン構成>

Pin #	Source	Compatible	Nibble	ECP
1	H	nStrobe	HostClk	HostClk
2	Bi-Di	Data 1(Least Significant Bit)		
3	Bi-Di	Data 2		
4	Bi-Di	Data 3		
5	Bi-Di	Data 4		
6	Bi-Di	Data 5		
7	Bi-Di	Data 6		
8	Bi-Di	Data 7		
9	Bi-Di	Data 8(Most Significant Bit)		
10	P	nAck	PtrClk	PeriphClk
11	P	Busy	PtrBusy	PeriphAck
12	P	PError	AckDataReq	nAckReverse
13	P	Select	Xflag	Xflag
14	H	nAutoFd	HostBusy	HostAck
15		Not defined		
16		Logic Gnd		
17		Chassis Gnd		
18	H	Peripheral Logic High		
19		Signal Ground (nStrobe)		
20		Signal Ground (Data 1)		
21		Signal Ground (Data 2)		
22		Signal Ground (Data 3)		
23		Signal Ground (Data 4)		
24		Signal Ground (Data 5)		
25		Signal Ground (Data 6)		
26		Signal Ground (Data 7)		
27		Signal Ground (Data 8)		
28		Signal Ground (PError, Select, nAck)		
29		Signal Ground (Busy, nFault)		
30		Signal Ground (nAutoFd, nSelectIn, nInit)		
31	H	nInit	nInit	nReverseRequest
32	P	nFault	nDataAvail	nPeriphRequest
33		Signal Ground		
34		Not defined		
35	P	Peripheral Logic High		
36	H	NSelectIn	IEEE1284 active	IEEE1284 active

SRL(Selex Raster Language)

ここでは、本プリンタがサポートしている画像制御系コマンドについて説明します。

■基本仕様

●画像制御系コマンド

<基本書式>

- すべてのコマンドはESC(1b) hexで始まります。
  “ESC” は大文字でなければなりません。
- 書式中の＃はパラメータを表します。
- 「小文字｜大文字」（例「x ｜ X」）表記されている場合は、以下に示す原則にしたがって大文字小文字のどちらか一方の表記が可能であることを示します。

◆ 大文字を用いる場合

そのコマンドが同一系列の命令の最終コマンドであることを表します。

◆ 小文字を用いる場合

そのコマンドと同一系列の命令が直後に継続して送られることを表します。

（例）以下の２つは同じ状態を表します。

{ ESC*p30X
  ESC*p40Y ＝ ESC*30x40Y

■画像制御系コマンド一覧

（構文中の＃はパラメータを表します。）

機能	構文と内容
画像制御モードへの移行	構文：ESC%#A 本プリンタを画像制御モードにします。 ・ パラメータの範囲　：1（固定） ・ パラメータの初期値：1（31）hex ＊ 本プリンタは、本コマンドがないとコマンド解析を開始しません。
主走査方向の現在書き出し位置の移動	構文：ESC*p#xIX 書き出し位置を現在位置から主走査方向へdot単位で移動します。 ・ パラメータの範囲　：-99999999～99999999 ・ パラメータの初期値：0（30）hex ＊ 書き出し位置は有効作画領域の外に移動することは可能ですが、その場合有効作画領域の外に出ている部分のデータはクリップされます。 ＊ 本コマンドを記述できる位置は、ESC*b#W（後述）コマンド以降で、次のESC*b#V（後述）の始まる前に限られます。
副走査方向の現在書き出し位置の移動	構文：ESC*p#ylY 書き出し位置を現在位置から副走査方向へdot単位で移動します。 ・ パラメータの範囲　：-99999999～99999999 ・ パラメータの初期値：0（30）hex ＊ 書き出し位置は有効作画領域の外に移動することは可能ですが、その場合有効作画領域の外に出ている部分のデータはクリップされます。 ＊ 本コマンドを記述できる位置は、ESC*b#W（後述）コマンド以降で、次のESC*b#V（後述）またはESC*rC（後述）の始まる前に限られます。 ＊ 本コマンドの前に、すでにラスタデータが転送されている状態で、本コマンドマイナス指定を行った場合は、それ以降に転送されます。副走査方向にプリント済みデータと重なる部分のデータはクリップ・破棄されます。 したがって、本コマンドによるバックフィードおよび重ね打ち指定はできません。 ＊ イメージデータ転送の最後に本コマンドを用いれば、用紙後端の余白を指定することは可能です。

（構文中の＃はパラメータを表します。）

機能	構文と内容
データ圧縮方法の指定	**構文：ESC*b#mlM** データの圧縮方法を指定します。 ・パラメータの範囲　：0（30）hex～2（32）hex 0：データを圧縮しません。 1：データをランレングス方式で圧縮します。 2：データをTIFF Rev.4パックビット符号化で圧縮します。 ・パラメータの初期値：0 ＊ 一度指定された圧縮方式は、再度本コマンドで指定されるか、ESC*rCで排紙されるまで有効です。
ビットマップデータの転送	**構文：ESC*b#V** パラメータで指定されたバイト数の１色１ライン分のビットマップデータを転送します。 ・パラメータの範囲　：０～9999　単位：バイト (30)hex～(39)(39)(39)(39)hex ・パラメータの初期値：なし ＊ 有効作画領域外に指定されたデータはクリップされます。 ＊ パラメータで指定したバイト数分は、コマンドが含まれていてもすべてビットマップデータとして扱われます。 ＊ ESC*b#VとESC*b#Wの転送順の組み合わせにより、CMY、BkCMY、Bkの各モードが決定されます。
ビットマップデータの転送	**構文：ESC*b#W** パラメータで指定されたバイト数の１色１ライン分のビットマップデータを転送します。 書き出し位置を次のラインの先頭に更新します。 ・パラメータの範囲　：０～9999　単位：バイト (31)hex～(39)(39)(39)(39)hex ・パラメータの初期値：なし ＊ 有効作画領域外に指定さえたデータはクリップされます。 ＊ パラメータで指定したバイト数分は、コマンドが含まれていてもすべてビットマップデータとして扱われます。 ＊ ESC*b#VとESC*b#Wの転送順の組み合わせにより、CMY、BkCMY、Bkの各モードが決定されます。

（構文中の＃はパラメータを表します。）

機能	構文と内容
データの転送終了の宣言	構文：ESC*rC イメージデータの転送終了を宣言します。 ・パラメータ　　　　：なし ＊ 本プリンタは本コマンドを受信すると排紙します。 ＊ 圧縮方法をESC*b0M（データを圧縮しない）と同等にします。

■データの転送手順例
（カラー（BkCMY）モード、パックビッツ圧縮の場合）

ESC%1A	画像制御モードへの移行
ESC*p#X	主走査方向の書き出し位置の移動
ESC*p#Y	副走査方向の書き出し位置の移動
ESC*b2M	パックビッツ圧縮モードの指定
ESC*b#V<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	ブラックの1ライン目のデータ
ESC*b#V<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	シアンの1ライン目のデータ
ESC*b#V<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	マゼンタの1ライン目のデータ
ESC*b#W<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	イエローの1ライン目のデータ
ESC*b#V<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	ブラックの2ライン目のデータ
ESC*b#V<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	シアンの2ライン目のデータ
ESC*b#V<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	マゼンタの2ライン目のデータ
ESC*b#W<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	イエローの2ライン目のデータ
・	
・	
・	
ESC*b#V<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	ブラックの最終ラインのデータ
ESC*b#V<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	シアンの最終ラインのデータ
ESC*b#V<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	マゼンタの最終ラインのデータ
ESC*b#W<1 ライン分のビットマップ圧縮データ>	イエローの最終ラインのデータ
ESC*p#Y	副走査方向位置指定（後端余白指定）
ESC*rC	データ転送終了の宣言

<参考>
本プリンタはESC*b#V<データ>とESC*b#W<データ>の転送されてくる順番から、BkCMY、CMY、Bkの各モードを以下のように識別しています。

V⇒V⇒V⇒W⇒V⇒V⇒V⇒W…と続く場合	BkCMYと識別します。
V⇒V⇒W⇒V⇒V⇒W…と続く場合	CMYと識別します。
W⇒W⇒W⇒W…　と続く場合	Bkと識別します。

用語集

BJカートリッジ

バブルジェット式のカートリッジのことで、プリント時の音が小さく、高品質のプリントを得ることができます。ノズル部分のヘッド部とインクが一体になっています。

dpi(dots per inch)

画像の解像度を表す単位で、1インチの幅に打てるドットの数です。この値が大きいほど画像をなめらかにプリントします。

inch（インチ）

長さの単位で、1インチは約25.4mmです。

SRL(Selex Raster Language)

本プリンタでサポートしているコマンドの総称です。

イメージコントローラ

画像データを制御するボードです。

イメージデータ

画像を点の集合で表すデータをいいます。

インクタンク

330mlのインクが入っているタンクのことで、チューブを通ってカートリッジにインクが補給されます。濃度が高く、サイズの大きい画像でも連続プリントが可能です。

インタフェース

コンピュータとプリンタなど、2種類以上の装置間で相互にデータをやりとりするための整合性をとる装置、または手順のことをいいます。

エンジンコントローラ

プリンタを制御するボードです。

カートリッジ角度調整レバー

カートリッジの角度を調整するためのレバーです。カートリッジの取り付け角度が合っていなくて、縦の直線がギザギザになるときにカートリッジの角度を調整します。

カートリッジ高さ調整レバー

カートリッジのヘッド部分とプラテンの距離を調整するためのレバーです。ベタ部分の多い高濃度の画像をプリントした場合、用紙が波打ってカートリッジのヘッド部分に接触するのを防ぎます。

カラーモード

「カラー／モノクロ　モード」メニューを「カラー」に設定している状態です。このとき、カラーモード表示が点灯し、4色を使ってプリントします。

キャッピング

カートリッジのヘッド部分が乾燥するのを防ぐため、キャリッジがホームポジションにあるときカートリッジのヘッド部分を覆う機構です。

キャリッジ

カートリッジやカッターを取り付けるための装置です。

クリーナブレード

カートリッジのヘッド部分に付いた、余分なインクや汚れを拭きとる機構です。

工場出荷時設定

本プリンタをお買い求めになったときのメニューとパラメータの設定状態です。

初期化動作

電源を入れてからプリンタが使用可能になるまでの動作です。

ドット

文字や画像を構成する点（画素）をいいます。

ドライバ

コンピュータの周辺機器を制御するソフトウェアをいいます。コンピュータに組み込んで使用します。

廃インクタンク

吸い出されたインクを溜める容器です。

バブルジェット

細いノズルを加熱することにより、ノズル内に気泡（バブル）を発生させて、その圧力によってインクを噴射させる技術です。

パラメータ

各メニュー項目を設定する選択肢、またはコマンドに特別な機能を付加する因子をいいます。

パラレルインタフェース

複数のデータ線を使って、同時に複数のビットを送るインタフェースをいいます。

パラレルインタフェースコネクタ

パラレルインタフェースケーブルを接続するコネクタです。

ファームウェア

エンジンコントローラのソフトとイメージコントローラのソフトをいいます。

プラテン

プリントするときに用紙を平らにしておくための板です。

プリントタイマー

データを受信してから、プリントを終了するまでの時間をカウントします。

ビット

情報量の単位で、2進数(Binary Digit)の略です。1桁の2進数として0か1で表します。

ヘッドクリーニング

カートリッジのノズルが目づまりするのを防ぐため、インクを強制的に吸い出す機構です。

ホームポジション

プリント動作以外のときに、キャリッジが待機している位置です。

マージン

プリント可能領域外の、用紙上の4辺の余白部分です。

メニュー

本プリンタが持っている機能で、メッセージディスプレイに表示されます。

モノクロモード

「カラー／モノクロ　モード」メニューを「モノクロ」に設定している状態です。このとき、カラーモード表示が消灯し、ブラック1色を使ってプリントします。

ロールシャフト

ロール紙をプリンタに取り付けるためのものです。

索引

五　十　音　順

英字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

メニューとパラメータ

設定リストの例

ノズルチエックパターン	：カートリッジのヘッドの状態を確認します。 白く抜けている部分がある場合は、ノズルが目づまりしているので、ヘッドクリーニングを行ってください。 （→ヘッドクリーニング：P.9-6）
各色パターン	：使用する用紙に対しての発色性を確認します。 各色とも濃度100％でプリントされます。
メニューの設定状態	：各メニューの設定状態を示します。 メニューの設定を保持することができます。
過去３回分のエラーコード	：最近発生した過去３回分のエラーコードを示します。 故障かなと思ったとき、担当サービスに連絡することができます。